

古河市高齢者福祉計画・第 9 期介護保険事業計画  
介護予防・日常生活圏域二一ス調査

結果報告書



令和 5 年 3 月

古河市

# 目 次

---

I 調査の概要 .....	1
調査の目的 .....	1
調査の方法 .....	1
報告書の留意点 .....	1
II 集計結果 .....	3
問1 あなたのご家族や生活状況について .....	3
問2 からだを動かすことについて .....	15
問3 食べることについて .....	29
問4 毎日の生活について .....	46
問5 地域での活動について .....	70
問6 たすけあいについて .....	76
問7 健康について .....	88
問8 認知症に関する相談窓口などについて .....	98
問9 生活支援、見守りについて .....	100
問10 成年後見制度について .....	109
問11 相談サービスについて .....	111
問12 人生の最期を迎える場所について .....	112
III アンケート結果のまとめ .....	115
IV 参考資料(調査票) .....	119

# I 調査の概要

## 調査の目的

古河市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画策定のため、地域の課題や高齢者のニーズを的確に把握し、その調査結果を基礎資料とすることを目的に、本調査を実施するものである。

## 調査の方法

### (1)調査対象

- ・第1号被保険者の要支援、要介護認定を受けていない一般高齢者 3,600人（無作為抽出）
- ・第1号被保険者の要支援者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者 400人（無作為抽出）

### (2)調査期間

令和4年12月23日（金）から令和5年1月5日（木）※最終締切は2月1日（水）

### (3)調査方法

郵送配付・回収

### (4)回収状況

配付数	回収数	有効回収数	有効回収率
4,000票	2,399票	2,394票	59.9%

## 報告書の留意点

### (1)集計等について

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現している。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示している。
- 「SA」は、「Single Answer」の略で、一つの質問に対して、複数の選択項目の中から一つだけ選ぶ質問形式とその回答のことを示している。
- 「MA」は、「Multiple Answer」の略で、一つの質問に対して、複数の選択項目の中から、一つもしくは複数選ぶ質問形式とその回答のことを示している。
- 百分率による集計では、回答者数（該当設問においては該当者数）を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記する。
- 複数回答（2つ以上選ぶ問）の設問では、すべての割合の合計が100%にならないことがある。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表す。
- 図表の記載にあたり調査票の設問文、グラフ及び文章中の選択肢を一部簡略化している場合がある。

## (2) 圏域について

---

古河市の日常生活圏域は、中学校区を基に、以下の4ブロックとしている。

日常生活圏域	中学校区	備考
第1地区	古河第一中学校区、古河第三中学校区	古河地区
第2地区	古河第二中学校区	古河地区
第3地区	総和中学校区、総和北中学校区、総和南中学校区	総和地区
第4地区	三和中学校区、三和北中学校区、三和東中学校区	三和地区

## (3) 2次集計

---

すべての設問について、単純集計と必要なクロス集計を行っているが、これに加えて以下の①～⑥について、2次集計を行った。

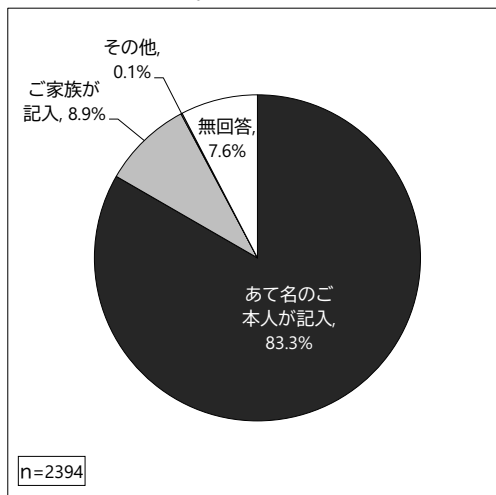
- ①運動器の機能低下
- ②口腔機能低下
- ③低栄養状態
- ④認知機能の低下
- ⑤IADL の評価
- ⑥うつ傾向

## II 集計結果

### 問1 あなたのご家族や生活状況について

#### (1) 調査票を記入されたのはどなたですか。(SA)

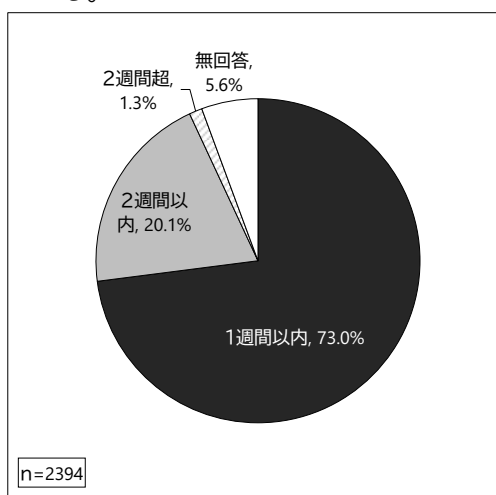
・「あて名のご本人が記入」が83.3%で最も高く、次いで「ご家族が記入」が8.9%、「その他」が0.1%となっている。



	人数	割合(%)
あて名のご本人が記入	1995	83.3
ご家族が記入	213	8.9
その他	3	0.1
無回答	183	7.6
合計	2394	100.0

#### (2) 調査票への記入日

・「1週間以内」が73.0%で最も高く、次いで「2週間以内」が20.1%、「2週間超」が1.3%となっている。



	人数	割合(%)
1週間以内	1747	73.0
2週間以内	481	20.1
2週間超	31	1.3
無回答	135	5.6
合計	2394	100.0

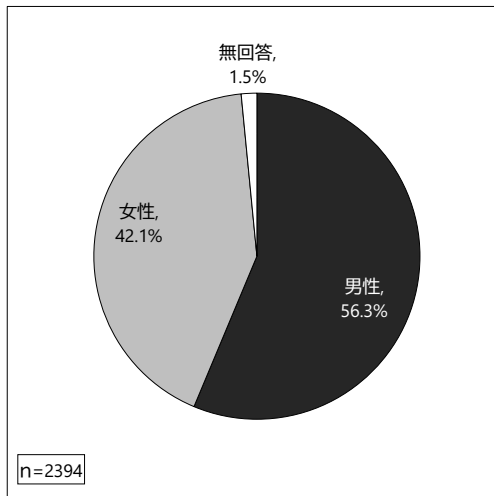
#### ※調査票到着日

- ・調査票を令和4年12月22日に発送したことから、到着日を令和4年12月23日とした。
- ・記入日と区分の対応は以下のとおり。

記入日	区分
令和4年12月23日～令和4年12月29日	1週間以内
令和4年12月30日～令和5年1月5日	2週間以内
令和5年1月6日～令和5年1月12日	2週間超
上記以外の日付、未記入	無回答

### (3) あなたの性別を教えてください。(SA)

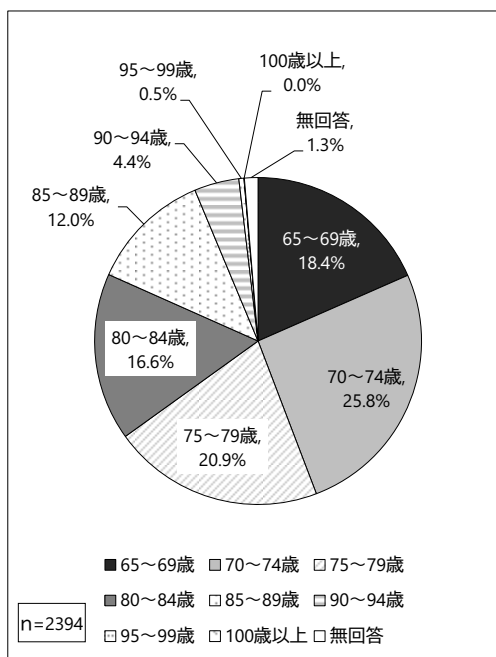
・回答者の性別は、「男性」が56.3%、「女性」が42.1%となっている。



	人数	割合(%)
男性	1348	56.3
女性	1009	42.1
無回答	37	1.5
合計	2394	100.0

### (4) あなたの年齢を教えてください。(SA)

・回答者の年齢は、「70～74歳」が25.8%で最も高く、次いで「75～79歳」が20.9%、「65～69歳」が18.4%となっている。



	人数	割合(%)
65～69歳	441	18.4
70～74歳	617	25.8
75～79歳	500	20.9
80～84歳	397	16.6
85～89歳	288	12.0
90～94歳	106	4.4
95～99歳	12	0.5
100歳以上	1	0.0
無回答	32	1.3
合計	2394	100.0

#### ■性別・年齢別実数／割合

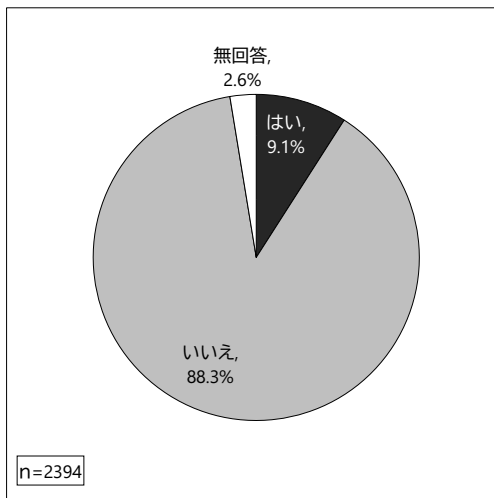
・年齢を性別で見ると、男性は「70～74歳」が最も多く29.8%、女性は「75～79歳」が最も多く22.9%となっている。また、後期高齢者となる75歳以上（「75～79歳」以降の回答割合の合計）で見ると、女性が男性より高い割合となっている。

(上段・単位:人/下段・単:%)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	無回答
男性(n=1348)	299	402	268	206	118	48	5	1	1
	22.2	29.8	19.9	15.3	8.8	3.6	0.4	0.1	0.1
女性(n=1009)	141	213	231	189	168	56	7	0	4
	14.0	21.1	22.9	18.7	16.7	5.6	0.7	0.0	0.4

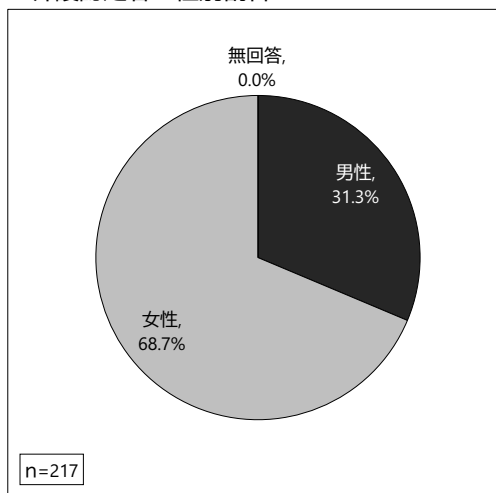
(5) あなたは介護認定を受けていますか。(SA)

- ・回答者が介護認定を受けているかについて、「はい」が9.1%、「いいえ」が88.3%となっている。
- ・介護認定者を性別で見ると、男性が31.3%、女性が68.7%で女性が男性より高い割合となっている。

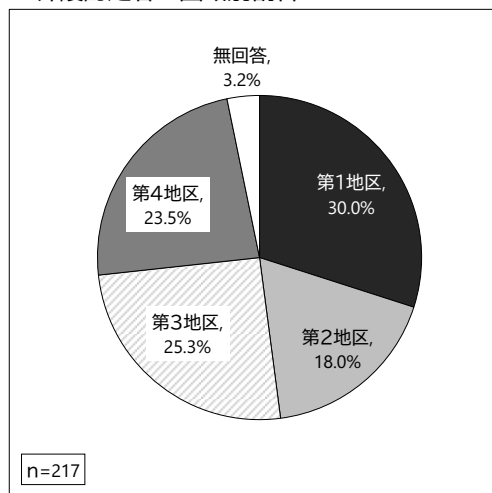


	人数	割合 (%)
はい	217	9.1
いいえ	2115	88.3
無回答	62	2.6
合計	2394	100.0

■介護認定者の性別割合



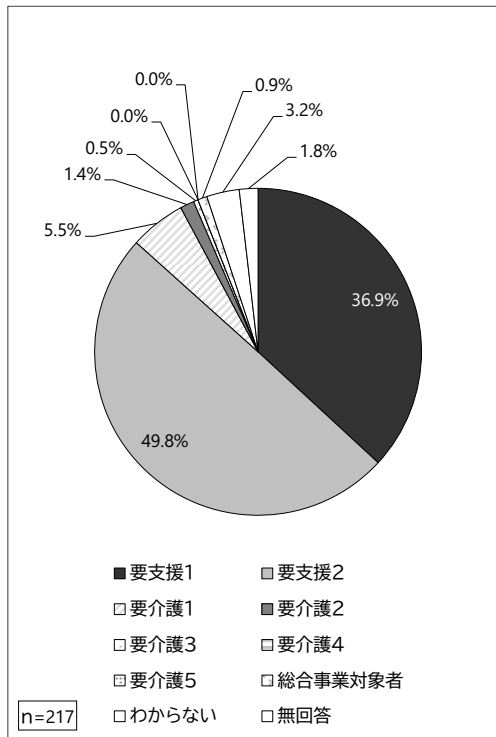
■介護認定者の圏域別割合



介護認定を受けている方のみ

(5)-① あなたの介護度はどれですか。(SA)

・回答者の介護度は、「要支援2」が49.8%で最も高く、次いで「要支援1」が36.9%、「要介護1」が5.5%となっている。



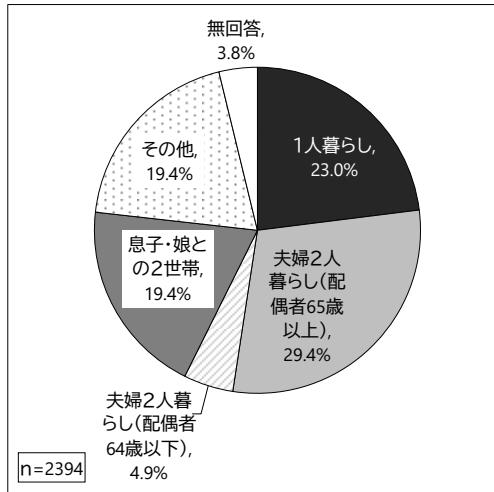
	人数	割合(%)
要支援1	80	36.9
要支援2	108	49.8
要介護1	12	5.5
要介護2	3	1.4
要介護3	1	0.5
要介護4	0	0.0
要介護5	0	0.0
総合事業対象者	2	0.9
わからない	7	3.2
無回答	4	1.8
合計	2394	100.0



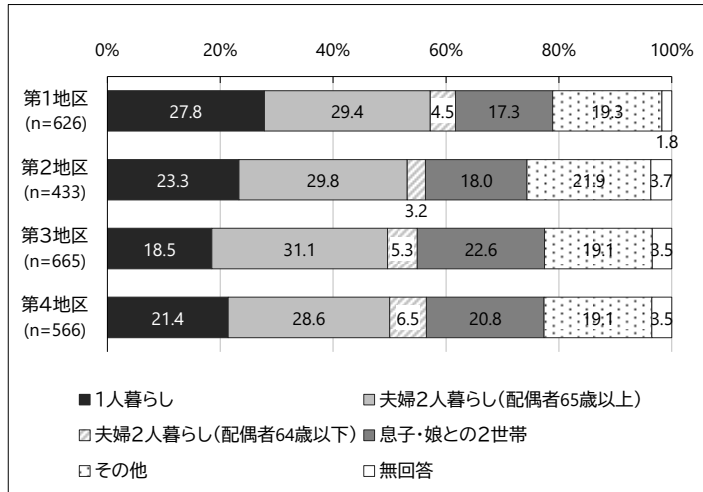
## (6) 家族構成を教えてください。(SA)

- ・回答者の家族構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が29.4%と最も高く、次いで「1人暮らし」が23.0%、「息子・娘との2世帯」と「その他」がそれぞれ19.4%となっている。
- ・圏域別の「1人暮らし」は、第1地区が27.8%でその他の地区より高く、一方、第3地区は18.5%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「1人暮らし」はすべての年齢で女性が男性より高い割合で、「85歳以上」では女性が35.0%、男性は20.0%を超えている。

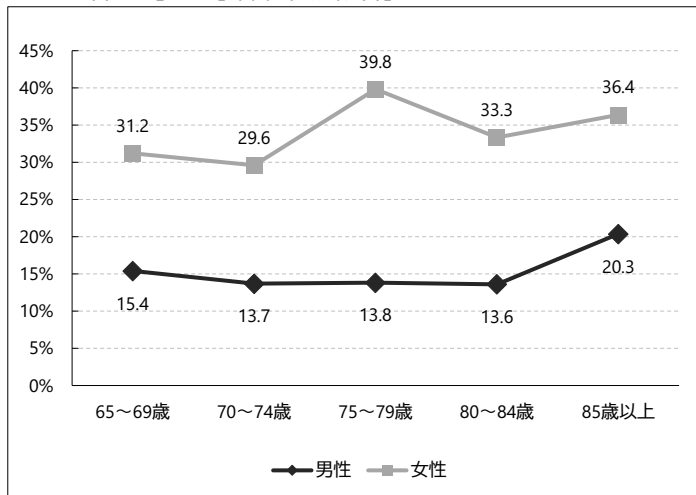
■家族構成【割合】



【圏域別割合】



■「1人暮らし」の人【年齢・性別割合】

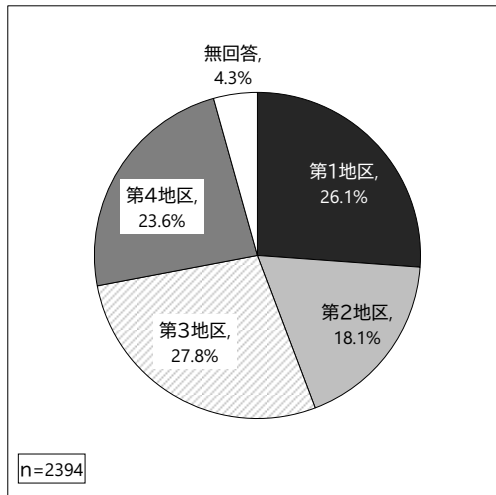


【実数】(単位:人)

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	46	55	37	28	35
女性	44	63	92	63	84

(7) あなたのお住まいを、中学校区で教えてください。(SA)

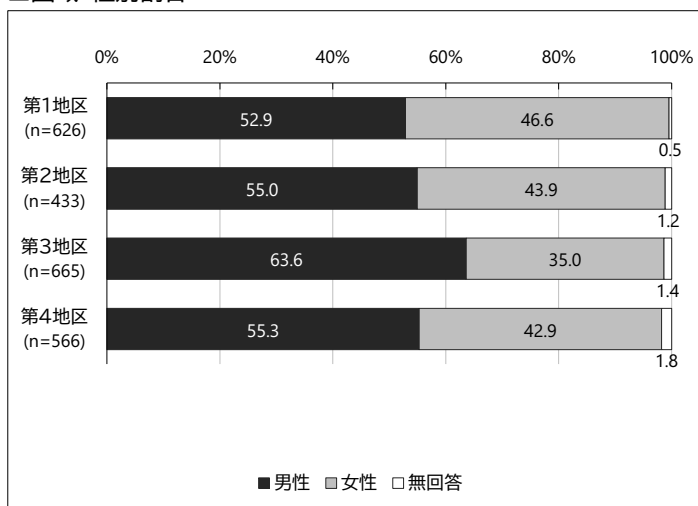
- ・回答者の中学校区別の住まいについて、圏域<sup>※</sup>別では、「第3地区」が27.8%で最も高く、次いで「第1地区」が26.1%、「第4地区」が23.6%となっている。



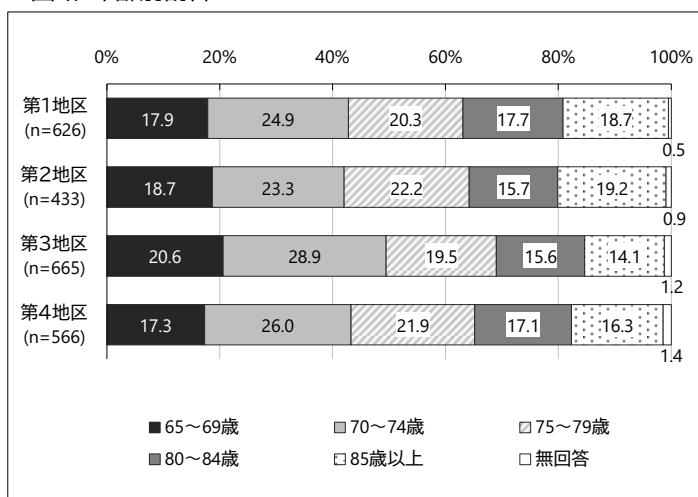
※圏域と中学校区の対応関係は下表のとおり。

中学校区	圏域	人数	割合 (%)
古河第一中学校区	第1地区	428	17.9
古河第二中学校区	第2地区	433	18.1
古河第三中学校区	第1地区	198	8.3
総和中学校区	第3地区	275	11.5
総和北中学校区	第3地区	159	6.6
総和南中学校区	第3地区	231	9.6
三和中学校区	第4地区	240	10.0
三和北中学校区	第4地区	193	8.1
三和東中学校区	第4地区	133	5.6
無回答		104	4.3
全体		2394	100.0

■圏域・性別割合



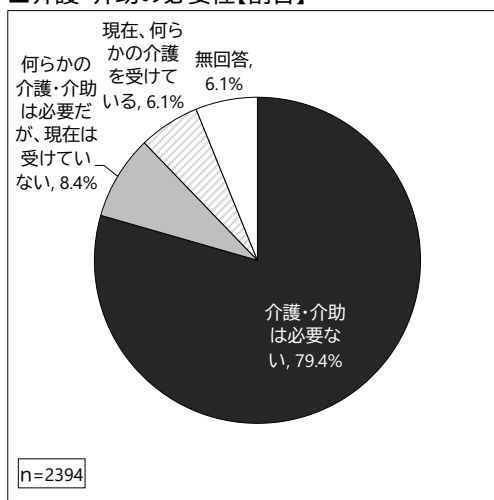
■圏域・年齢別割合



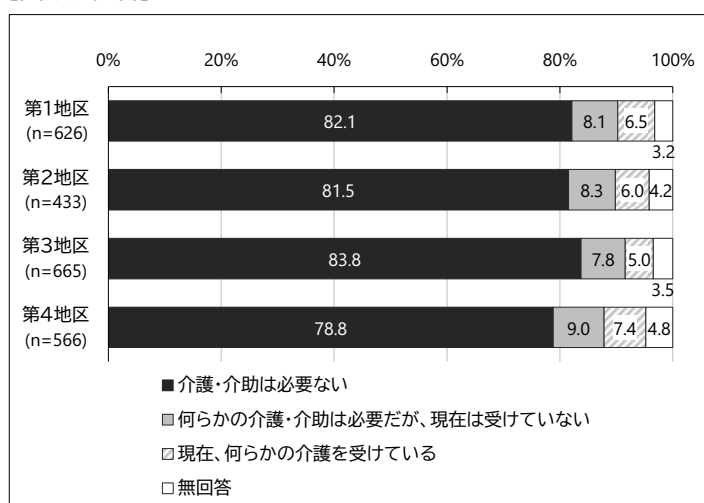
(8) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(SA)

- ・回答者の介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が79.4%で最も高くなっている。また、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」を合わせた『介護・介助が必要な人』の割合は14.5%となっている。
- ・圏域別の『介護・介助が必要な人』は、第4地区が16.4%でその他の地区より高く、一方、第3地区は12.8%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「70～74歳」をのぞく年齢で、女性が男性より高い割合となっている。また、男女ともに高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「85歳以上」では女性は35.0%、男性は30.0%を超えている。

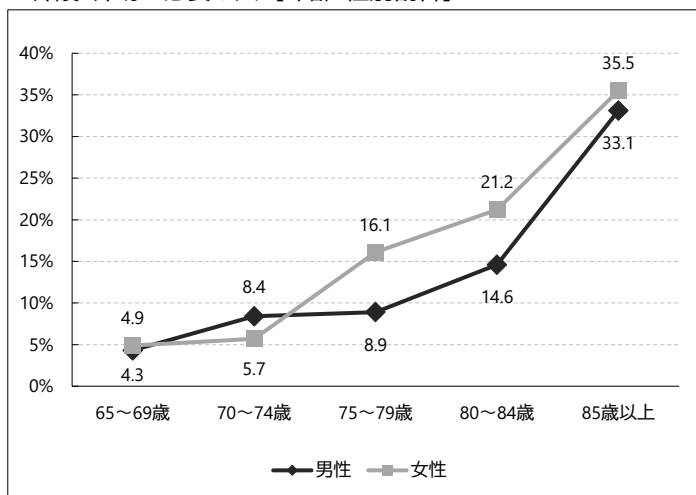
■介護・介助の必要性【割合】



【圏域別割合】



■介護・介助が必要な人※【年齢・性別割合】



※「何らかの介護は必要だが、現在は受けていない」または、「現在、何らかの介護を受けている」と回答した人

【実数】(単位:人)

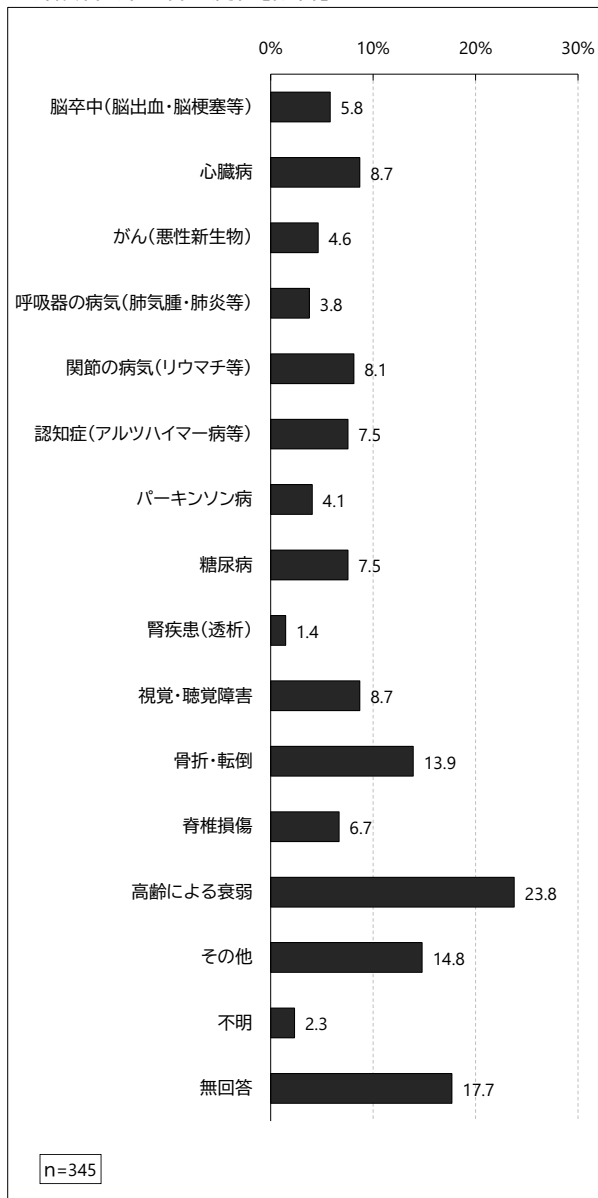
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	13	34	24	30	57
女性	7	12	37	40	82

(8)において「介護・介助は必要ない」以外の方のみ

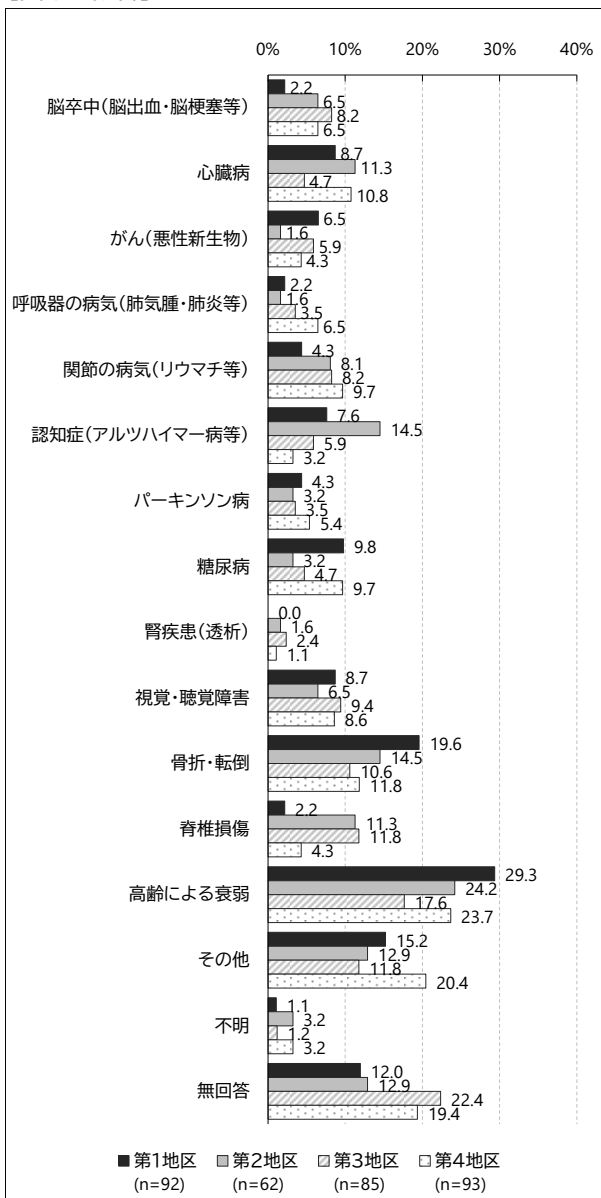
(8)-① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(MA)

- ・介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」が23.8%で最も高く、次いで「その他」が14.8%、「骨折・転倒」が13.9%となっている。
- ・圏域別の「骨折・転倒」と「高齢による衰弱」は、第1地区がそれぞれ19.6%と29.3%でその他の地区より高くなっている。また、「認知症（アルツハイマー病等）」は、第2地区が14.5%でその他の地区より高くなっている。

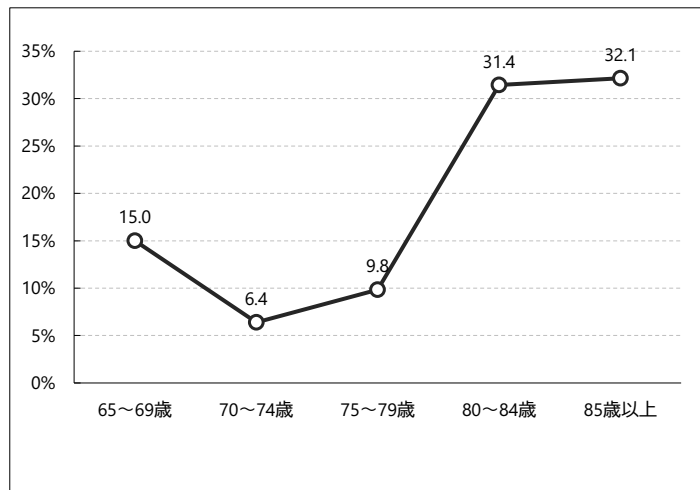
■介護者・介助者の属性【割合】



【圏域別割合】



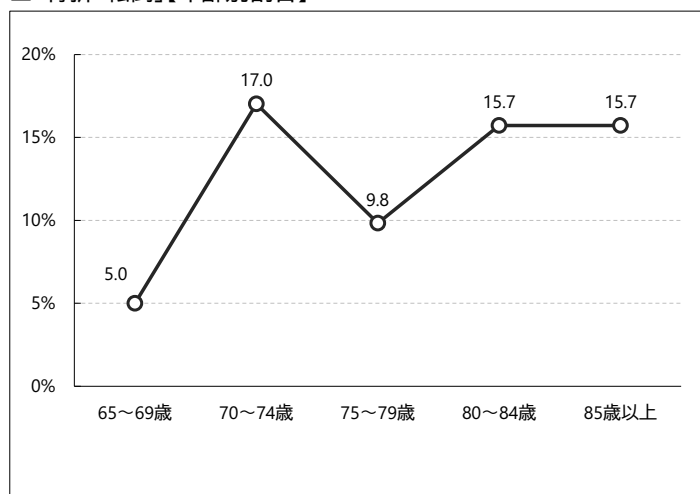
■「高齢による衰弱」【年齢別割合】



【実数】(単位:人)

65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
3	3	6	22	45

■「骨折・転倒」【年齢別割合】



【実数】(単位:人)

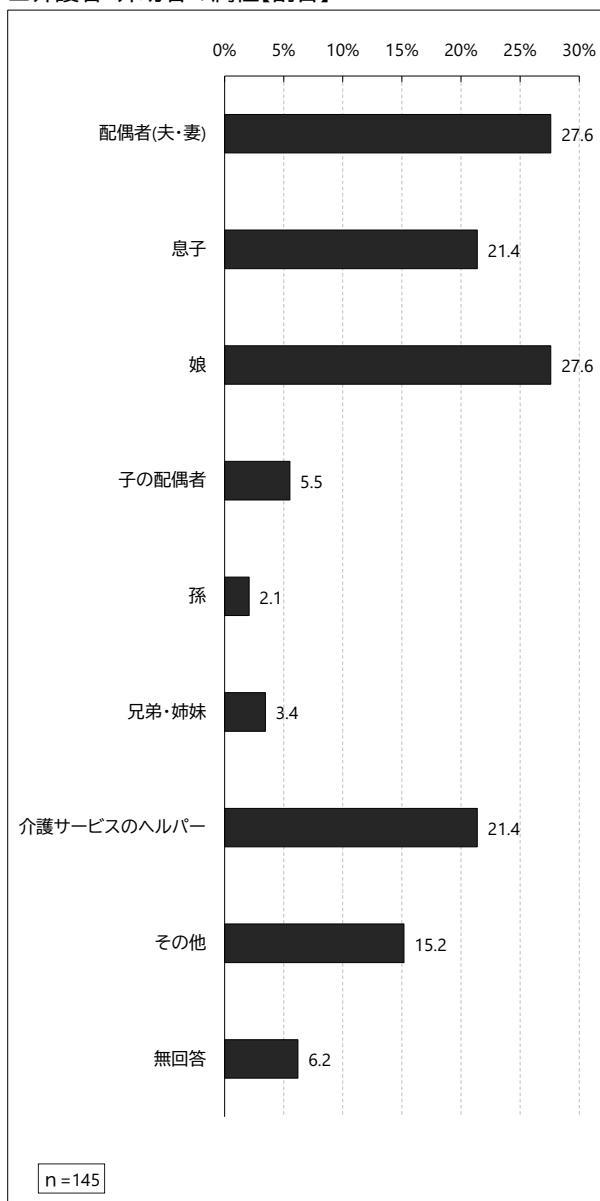
65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
1	8	6	11	22

(8)において「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ

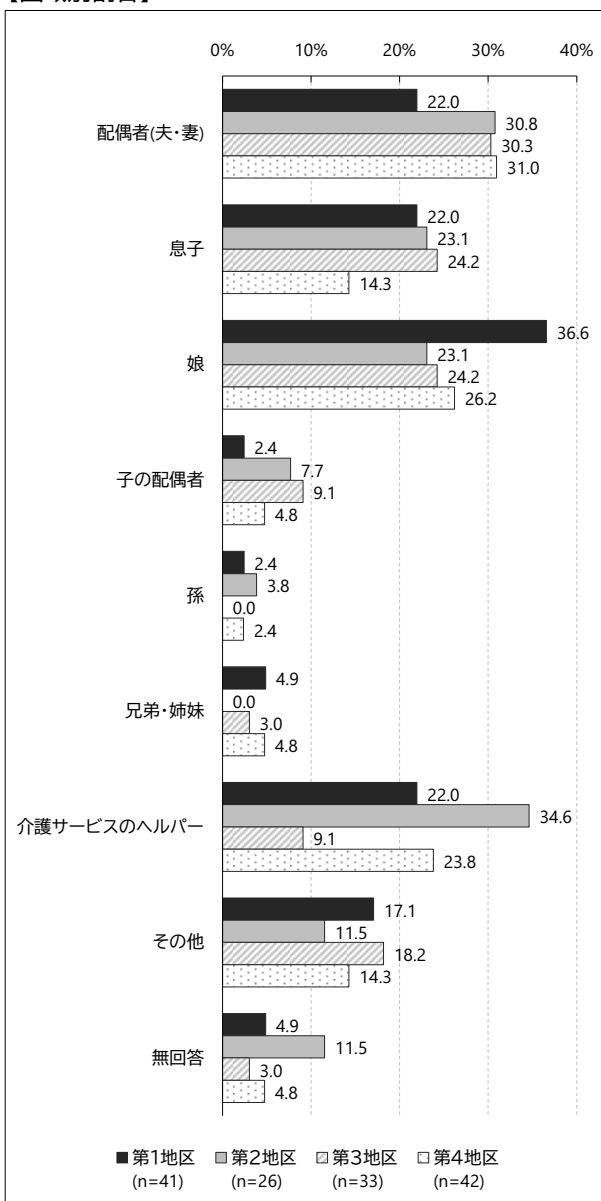
(8)-② 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(MA)

- ・主な介護、介助者は、「配偶者(夫・妻)」と「娘」がそれぞれ27.6%と高く、次いで「息子」と「介護サービスのヘルパー」がそれぞれ21.4%となっている。
  - ・圏域別の「配偶者(夫・妻)」は、第1地区が唯一30.0%を下回る低さで、その他の地区はいずれも30.0%程度で高くなっている。一方、「娘」は、第1地区が36.6%と唯一30.0%を超える高さで、その他の地区はいずれも25.0%前後と低くなっている。「息子」は、第4地区で唯一20.0%を下回る低さで、その他の地区はいずれも20.0%を超え高くなっている。
- また、「介護サービスのヘルパー」では、第2地区が唯一30.0%を超える高さで、第1地区と第4地区はいずれも20.0%台だが、第3地区は9.1%と10.0%を下回るほど低くなっている。

■介護者・介助者の属性【割合】



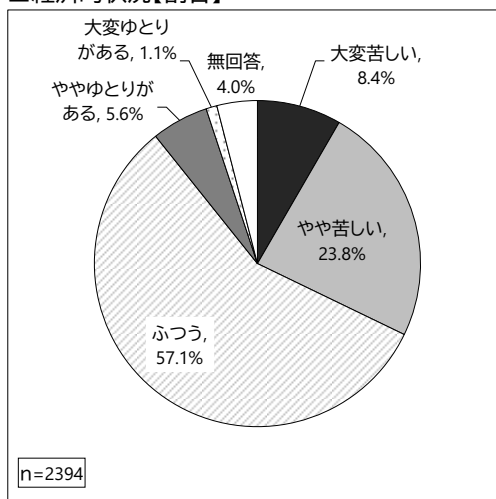
【圏域別割合】



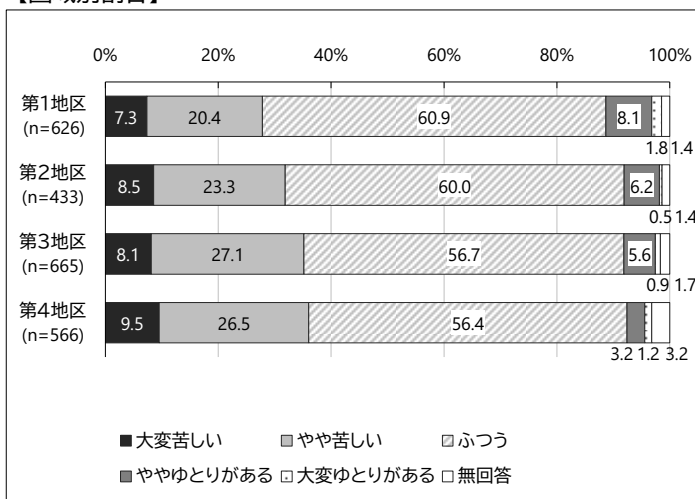
### (9) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(SA)

- ・現在の経済的な暮らしの状況は、「ふつう」が57.1%で最も高く、次いで「やや苦しい」が23.8%、「大変苦しい」が8.4%となっている。また、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『経済的に「苦しい」人』と、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を合わせた『経済的に「ゆとりがある」人』の割合でみると、『経済的に「苦しい」人』が32.2%、『経済的に「ゆとりがある」人』が6.7%となっている。
- ・圏域別の『経済的に「苦しい」人』は、第4地区が36.0%で、その他の地区より高く、一方、第1地区は27.7%で、その他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、すべての年齢で男性が女性より高くなっている。また、「70～74歳」以降は、男女ともに高齢になるほど低くなる傾向がうかがえ、「85歳以上」では、男女ともに20.0%を下回っている。

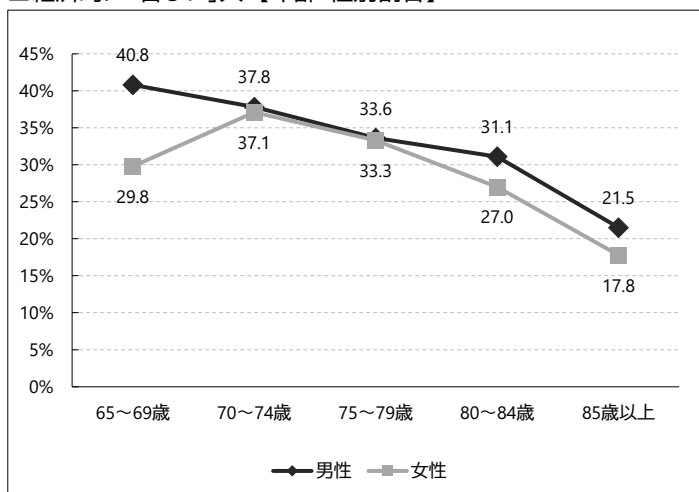
■経済的状況【割合】



【圏域別割合】



■経済的に「苦しい」人※【年齢・性別割合】



※「大変苦しい」または、「やや苦しい」と回答した人

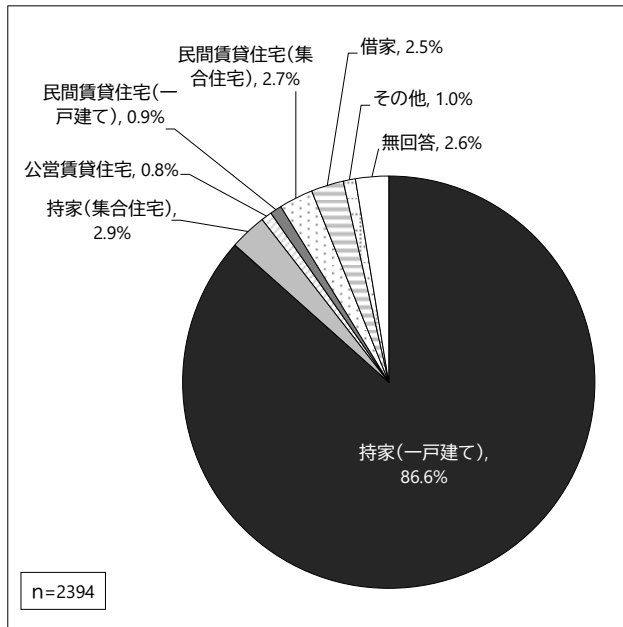
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	122	152	90	64	37
女性	42	79	77	51	41

(10) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(SA)

- ・回答者の住まいの状況について、「持家（一戸建て）」が 86.6%で最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が 2.9%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 2.7%となっている。
- ・圏域別の「持家（一戸建て）」は、第4地区が 92.4%でその他の地区より高く、一方、第1地区は 81.3%でその他の地区より低くなっている。

■住まいの状況【割合】



【圏域別割合】(単位:%)

	持家 (一戸建て)	持家 (集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅 (一戸建て)	民間賃貸住宅 (集合住宅)	借家	その他	無回答
第1地区(n=626)	81.3	7.5	0.8	1.3	4.3	2.6	1.4	0.8
第2地区(n=433)	89.6	2.1	2.5	0.7	2.1	1.6	0.9	0.5
第3地区(n=665)	92.5	0.8	0.5	0.6	1.8	3.0	0.5	0.5
第4地区(n=566)	92.4	0.5	0.0	0.7	1.4	2.5	1.1	1.4

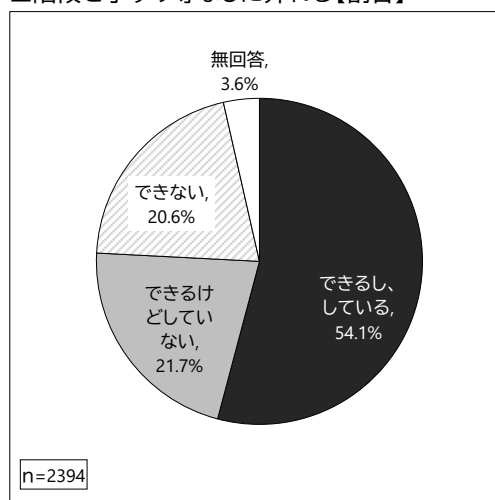


## 問2 からだを動かすことについて

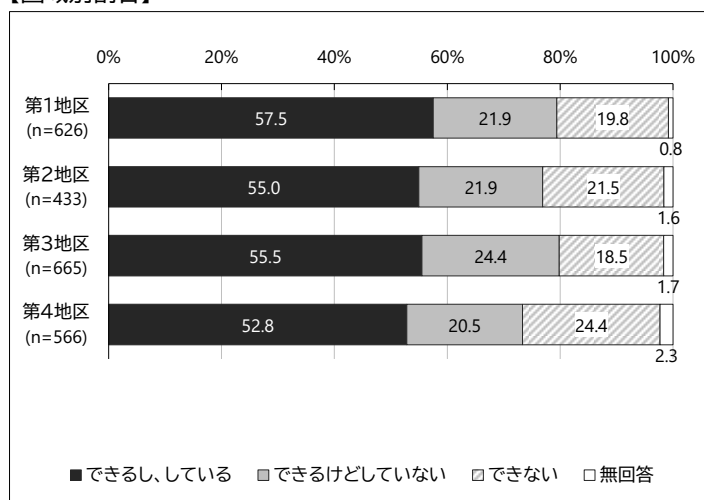
### (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(SA)

- ・階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについて、「できるし、している」が54.1%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が21.7%、「できない」が20.6%となっている。
- ・圏域別の「できない（つたわずに昇れない）」は、第4地区が24.4%でその他の地区より高く、一方、第3地区は18.5%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「できない（つたわずに昇れない）」では、すべての年齢で女性が男性より高くなっている。また、男女ともに高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「85歳以上」では女性が50.0%、男性は30.0%を超えている。

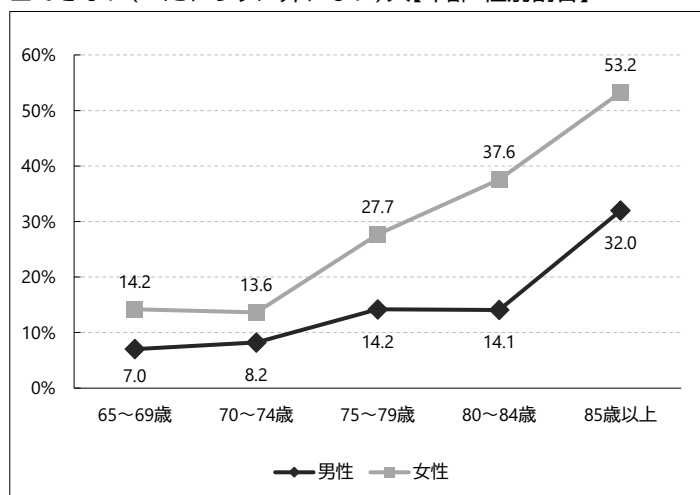
■階段を手すり等なしに昇れる【割合】



【圏域別割合】



■できない(つたわずに昇れない)人【年齢・性別割合】



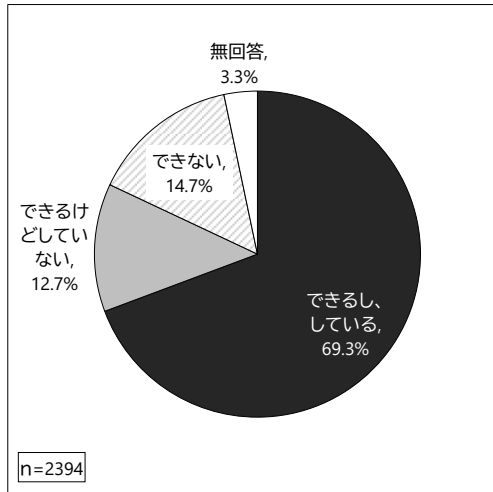
【実数】(単位:人)

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	21	33	38	29	55
女性	20	29	64	71	123

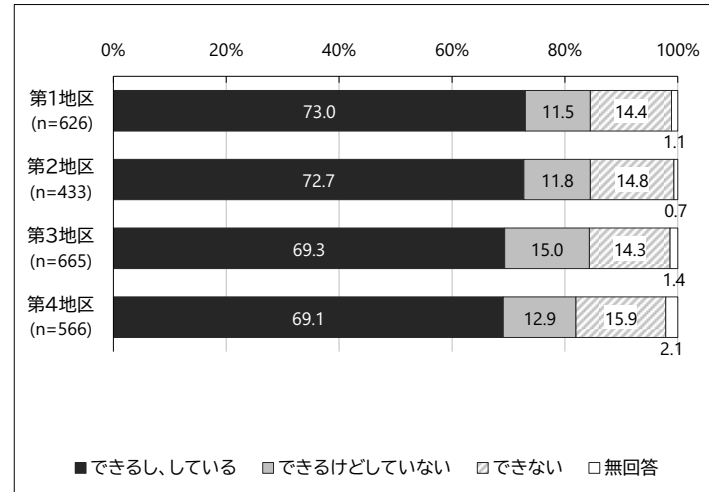
## (2) いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(SA)

- ・ いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについて、「できるし、している」が 69.3%で最も高く、次いで「できない」が 14.7%、「できるけどしていない」が 12.7%となっている。
- ・ 圏域別の「できない（立ち上がれない）」は、第4地区が 15.9%で唯一 15.0%を超えている。
- ・ 年齢別の結果を性別でみると、「できない（立ち上がれない）」では、すべての年齢で女性が男性より高くなっている。また、男女ともに高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「85歳以上」では女性が 35.0%、男性が 20.0%を超えている。

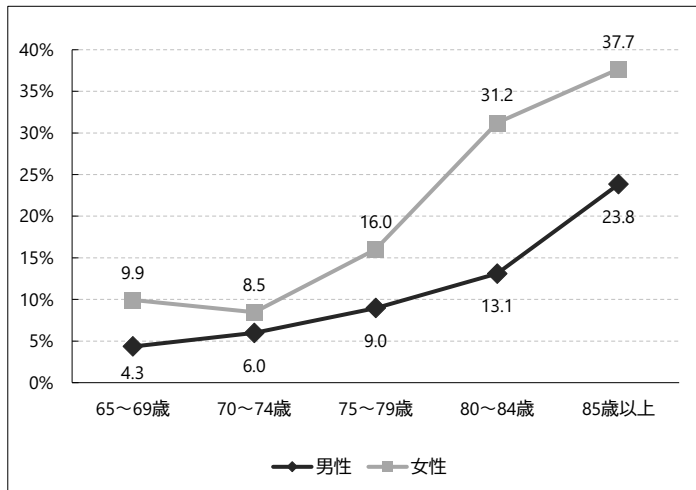
■何もなく立ち上がれる【割合】



【圏域別割合】



■できない(立ち上がれない)人年齢・性別割合】



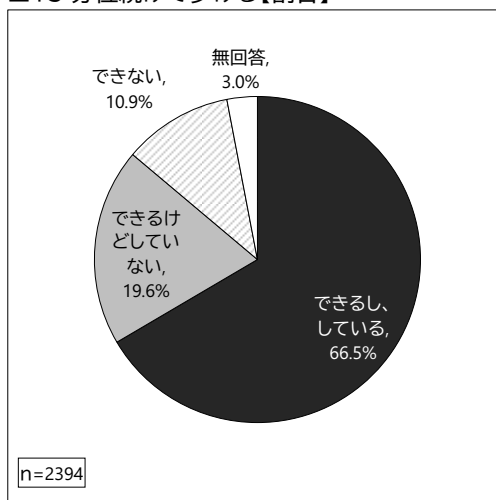
【実数】(単位:人)

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	13	24	24	27	41
女性	14	18	37	59	87

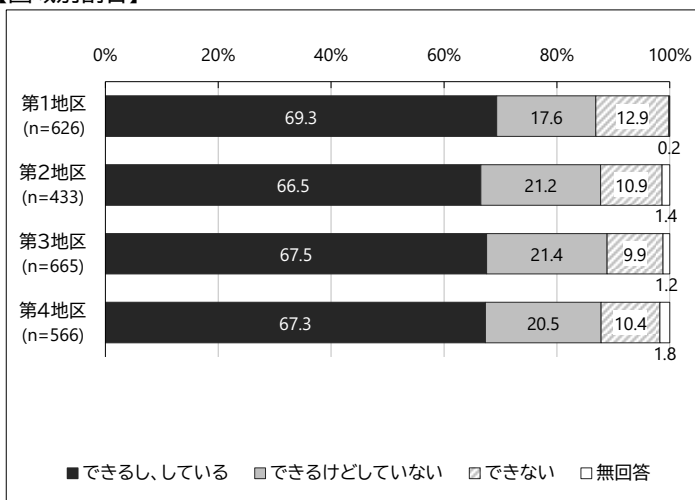
### (3) 15分位続けて歩いていますか。(SA)

- ・15分位続けて歩いているかについて、「できるし、している」が66.5%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が19.6%、「できない」が10.9%となっている。
- ・圏域別の「できない(15分位続けて歩いていない)」は第1地区が12.9%で、その他の地区より高く、一方、第3地区は9.9%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「できない(15分位続けて歩いていない)」では、すべての年齢では女性が男性より高くなっている。また、「75～79歳」以降から男女ともに高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「85歳以上」では、女性は45.0%、男性は40.0%を超えている。

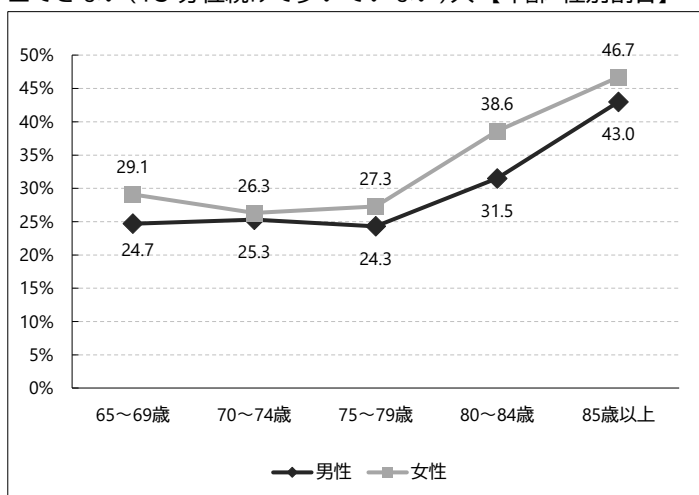
■15分位続けて歩ける【割合】



【圏域別割合】



■できない(15分位続けて歩いていない)人※【年齢・性別割合】



※「できるけどしていない」または「できない」と回答した人

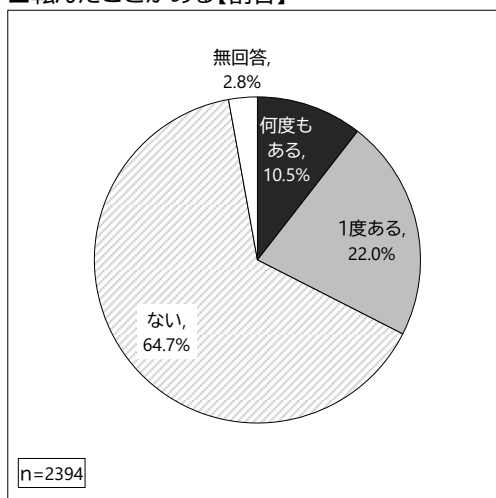
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	74	102	65	65	74
女性	41	56	63	73	108

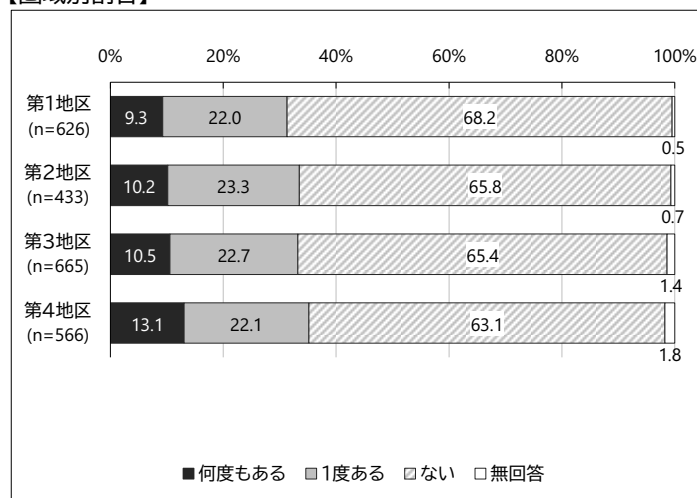
#### (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(SA)

- ・過去1年間に転んだ経験があるかについて、「ない」が64.7%で最も高く、次いで「1度ある」が22.0%、「何度もある」が10.5%となっている。また、「何度もある」と「1度ある」を合わせた『転倒リスクのある人』の割合は32.5%となっている。
- ・圏域別の『転倒リスクのある人』は、第4地区が35.2%でその他の地区より高く、一方、第1地区は31.3%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、すべての年齢で女性が男性より高くなっている。また、高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「85歳以上」では女性は50.0%近くになり、男性は45.0%を超えている。

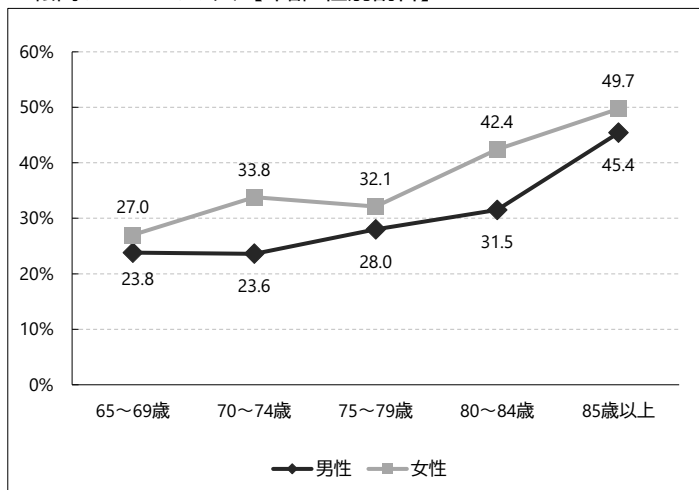
■転んだことがある【割合】



【圏域別割合】



■転倒リスクのある人※【年齢・性別割合】



※「何度もある」または「1度ある」と回答した人

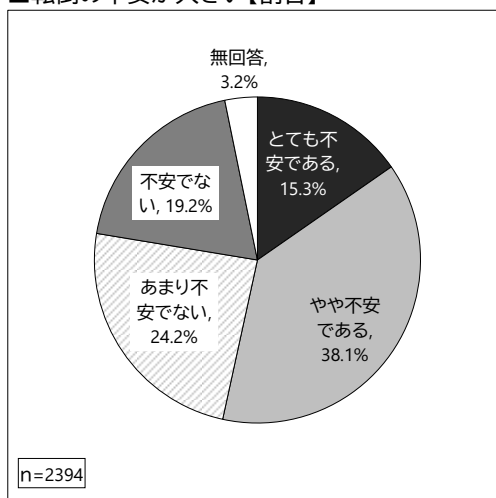
【実数】(単位:人)

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	71	95	75	65	78
女性	38	72	74	80	115

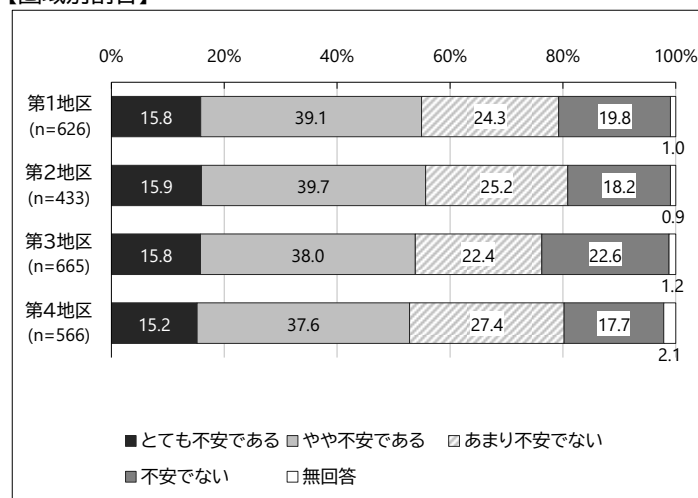
## (5) 転倒に対する不安は大きいですか。(SA)

- ・転倒に対する不安について、「やや不安である」が 38.1%で最も高く、次いで「あまり不安でない」が 24.2%、「不安でない」が 19.2%となっている。また、「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『転倒の不安が大きい人』の割合は 53.4%となっている。
- ・圏域別の『転倒の不安が大きい人』は、第2地区が 55.6%でその他の地区より高く、一方、第4地区は 52.8%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、すべての年齢で女性が男性より高くなっている。また、男女ともに高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「85歳以上」では、女性が 80.0%近くになり、男性は 65.0%を超えている。

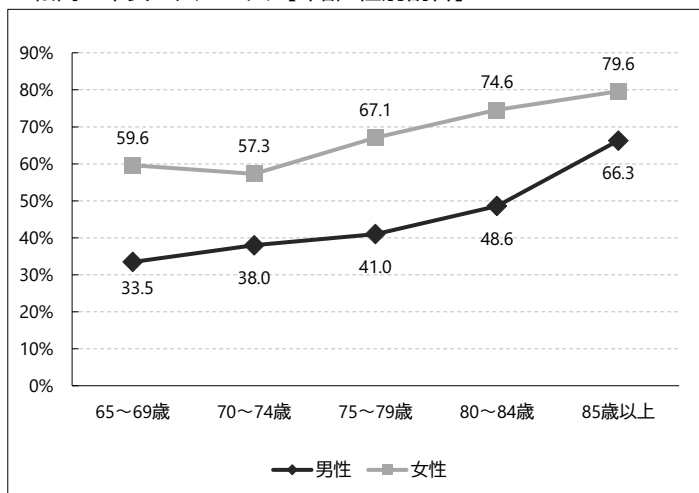
■転倒の不安が大きい【割合】



【圏域別割合】



■転倒の不安が大きい人※【年齢・性別割合】



※「とても不安である」または「やや不安である」と回答した人

【実数】(単位:人)

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	100	153	110	100	114
女性	84	122	155	141	184

## ① 運動器の機能低下

### 運動器の機能低下の定義

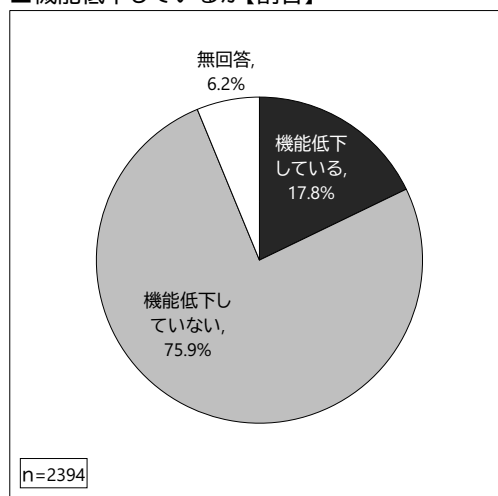
本報告書では、問2の(1)～(5)の設問で3問以上、該当する選択肢(下の表の網掛けの箇所)に回答した場合、運動器が「機能低下している」高齢者と定義した。

なお、(1)～(5)すべての設問に回答した人のみを対象とし、それ以外は「無回答」とした。

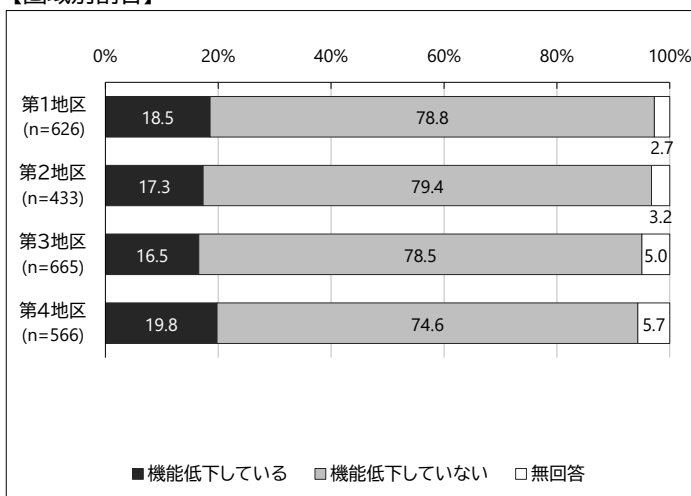
No.	設問内容	選択肢
(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(2)	いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(3)	15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
(5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

- ・運動器の機能低下に関して、「機能低下している」が17.8%に対して、「機能低下していない」が75.9%となっている。
- ・圏域別の「機能低下している」は、第4地区が19.8%でその他の地区より高く、第3地区が16.5%で、その他の地区より低くなっている。

■機能低下しているか【割合】

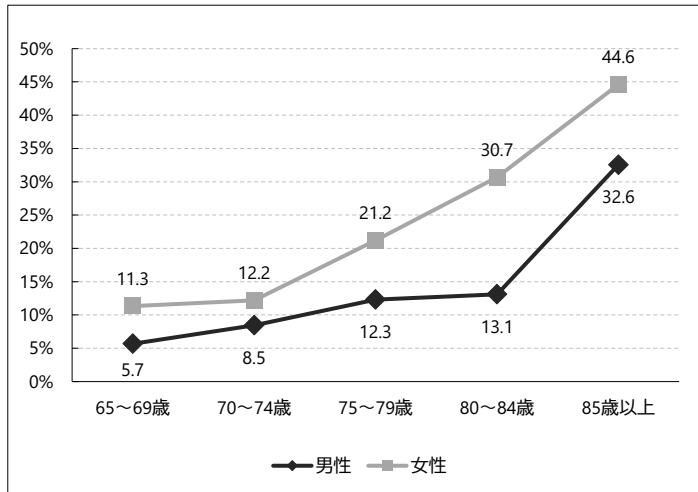


【圏域別割合】



・年齢別の結果を性別で見ると、「機能低下している（機能低下している人）」はすべての年齢で女性が男性より高くなっている。また、男女ともに高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「85歳以上」では、女性は40.0%、男性は30.0%を超えている。

■機能低下している人※【年齢・性別割合】



※問2の(1)~(5)で3問以上、該当する選択肢(前頁表の網掛けの箇所)に回答した人

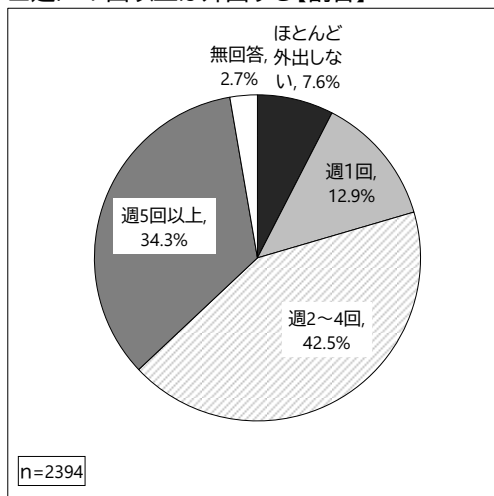
【実数】(単位:人)

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	「85歳以上」
男性	17	34	33	27	56
女性	16	26	49	58	103

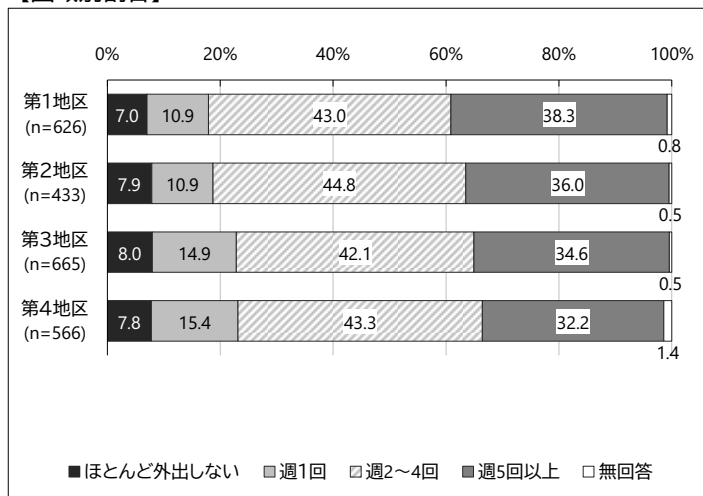
## (6) 週に1回以上は外出していますか。(SA)

- ・週に1回以上は外出しているかについて、「週2～4回」が42.5%で最も高く、次いで「週5回以上」が34.3%、「週1回」が12.9%となっている。また、「ほとんど外出しない」と「週1回」を合わせた『閉じこもり傾向のある人』の割合は20.5%となっている。
- ・圏域別の『閉じこもり傾向のある人』は、第4地区が23.2%でその他の地区より高く、一方、第1地区は17.9%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、『閉じこもり傾向のある人』は、すべての年齢で女性が男性よりも高くなっている。また、高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「85歳以上」では、女性が40.0%、男性も30.0%を超えている。

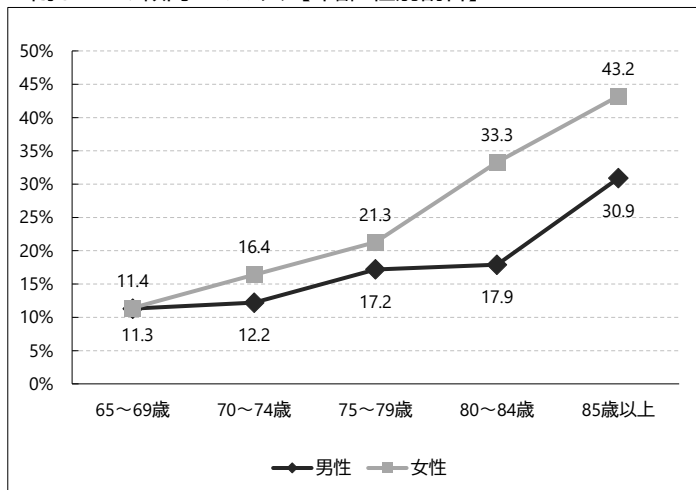
■週に1回以上は外出する【割合】



【圏域別割合】



■閉じこもり傾向のある人※【年齢・性別割合】



※「ほとんど外出しない」または「週1回」と回答した人

【実数】(単位:人)

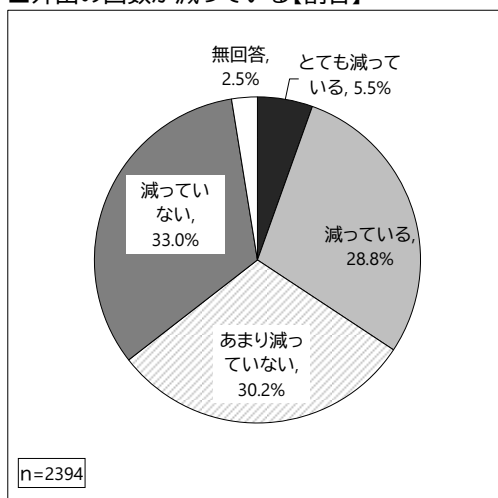
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	34	49	46	37	53
女性	16	35	49	63	100



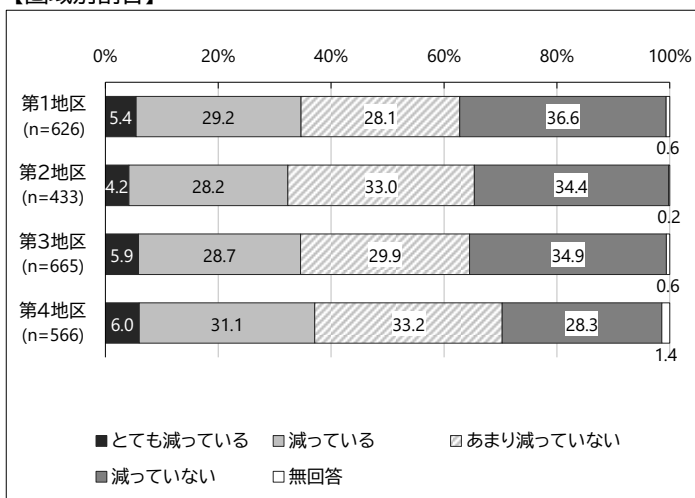
## (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(SA)

- ・昨年と比べて外出の回数が減っているかについて、「減っていない」が 33.0%で最も高く、次いで「あまり減っていない」が 30.2%、「減っている」が 28.8%となっている。また、「とても減っている」と「減っている」を合わせた『外出の回数が減っている人』の割合は 34.3%となっている。
- ・圏域別の『外出の回数が減っている人』は、第4地区が 37.1%でその他の地区より高く、一方、第2地区は 32.4%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、『外出の回数が減っている人』は、すべての年齢で女性が男性よりも高くなっている。また、高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「85歳以上」では、女性は 55.0%、男性は 45.0%を超えている。

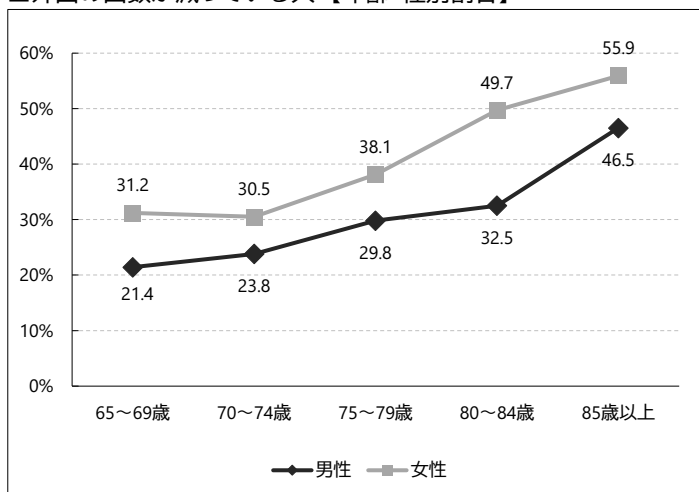
■外出の回数が減っている【割合】



【圏域別割合】



■外出の回数が減っている人※【年齢・性別割合】



※「とても減っている」または「減っている」と回答した人

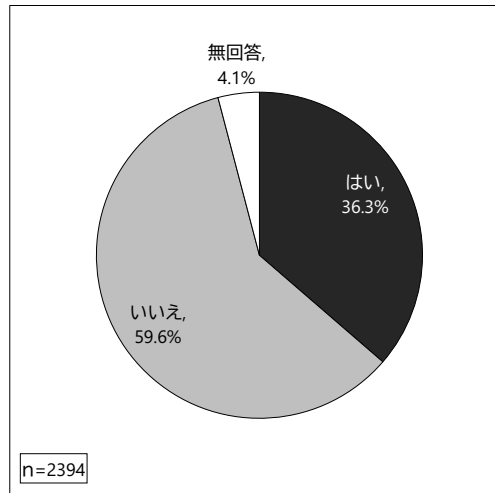
【実数】(単位:人)

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	64	96	80	67	80
女性	44	65	88	94	129

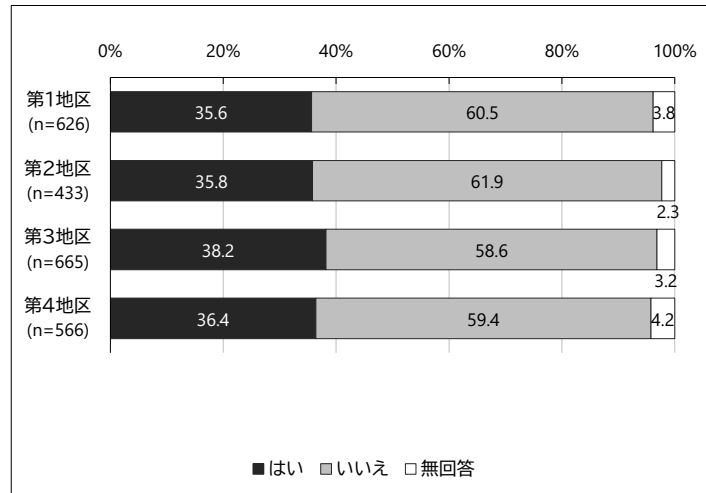
## (8) 外出を控えていますか。(SA)

- ・外出を控えているかについて、「はい」が36.3%、「いいえ」が59.6%となっている。
- ・圏域別の「はい（外出を控えている）」は、第3地区が38.2%でその他の地区より高く、一方、第1地区は35.6%でその他の地区より低くなっている。

■外出を控えている【割合】



【圏域別割合】

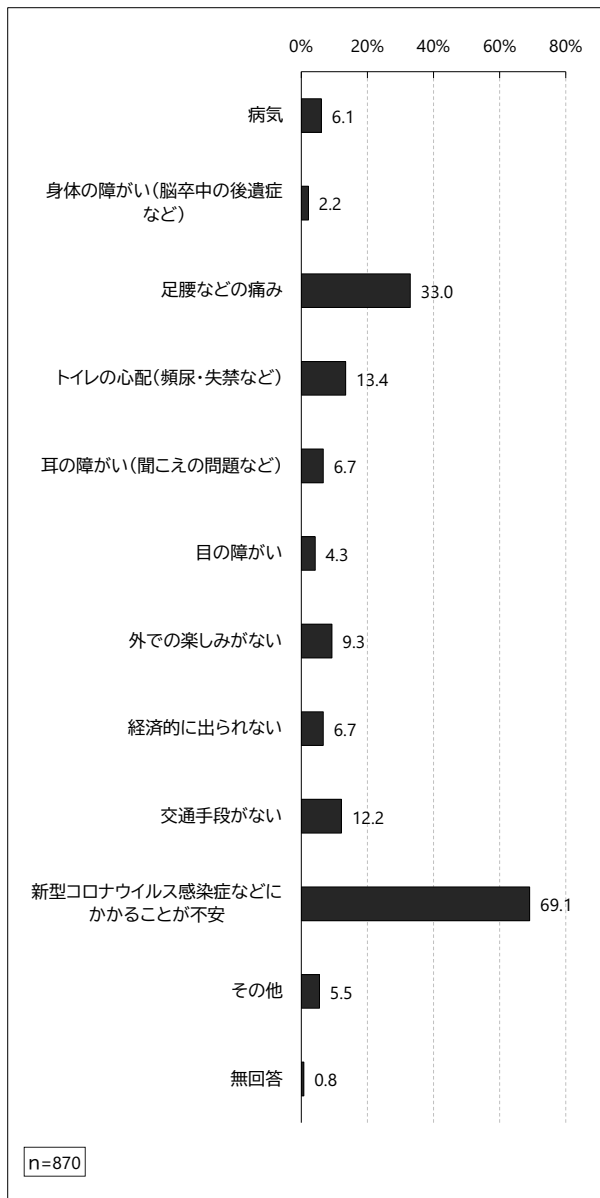


(8)で「はい」(外出を控えている)の方のみ

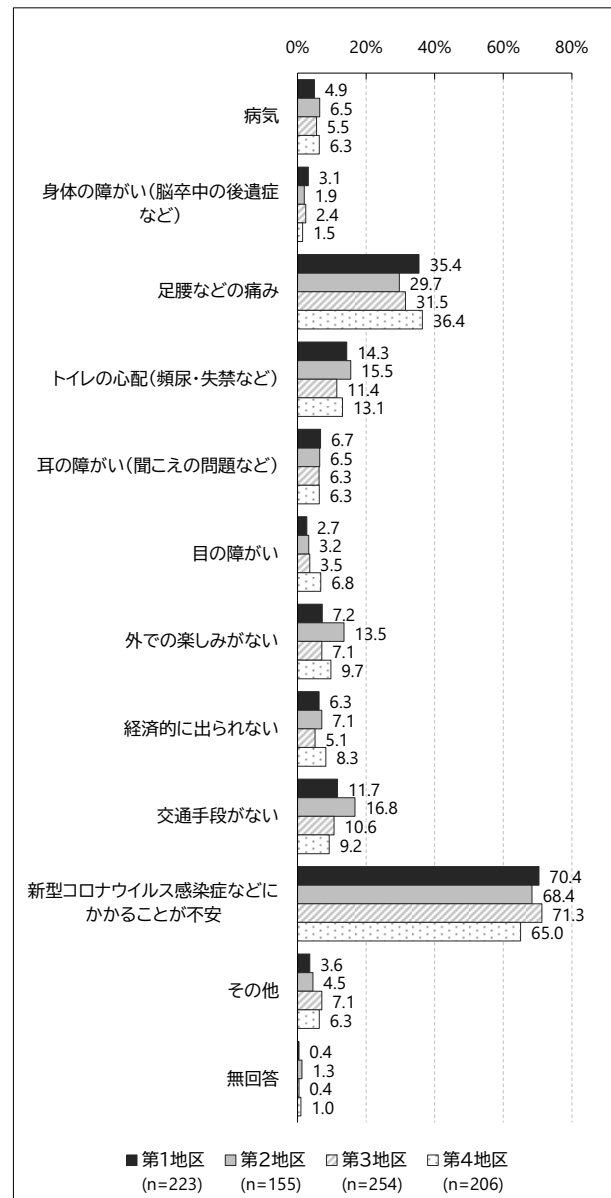
(8)-① 外出を控えている理由は、次のどれですか。(MA)

- ・外出を控えている理由は、「新型コロナウイルス感染症などにかかることが不安」が69.1%で最も高く、次いで「足腰などの痛み」が33.0%、「トイレの心配(頻尿・失禁など)」が13.4%となっている。
- ・圏域別の「新型コロナウイルス感染症などにかかることが不安」は、第1地区と第3地区がそれぞれ70.4%と71.3%で70.0%を超え、第2地区と第4地区がそれぞれ68.4%、65.0%で70.0%を下回っている。「足腰などの痛み」は、第2地区が29.7%で唯一30.0%を下回り、その他の地区はいずれも30.0%を超えている。「トイレの心配(頻尿・失禁など)」は、第2地区が15.5%で唯一15.0%を超え、その他の地区はいずれも15.0%を下回っている。
- また、「外での楽しみがない」は、第2地区が13.5%で唯一10.0%を超え、その他の地区はいずれも10.0%を下回っている。さらに、「交通手段がない」は、第2地区が16.8%で唯一15.0%を超え、その他の地区はいずれも15.0%を下回っている。

■外出を控えている理由【割合】



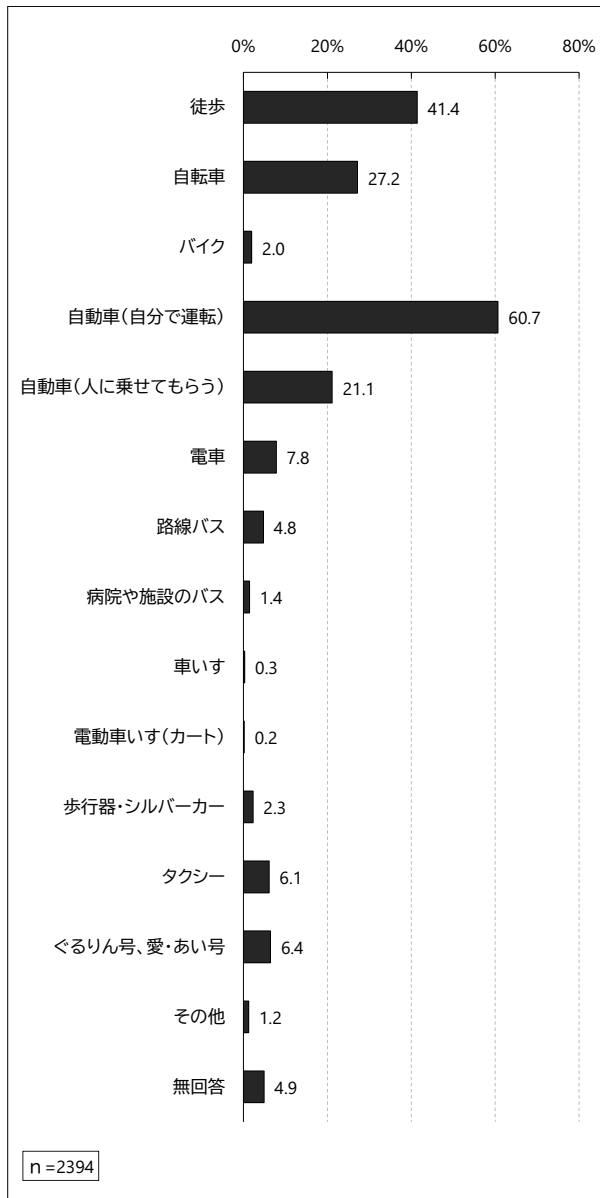
【圏域別割合】



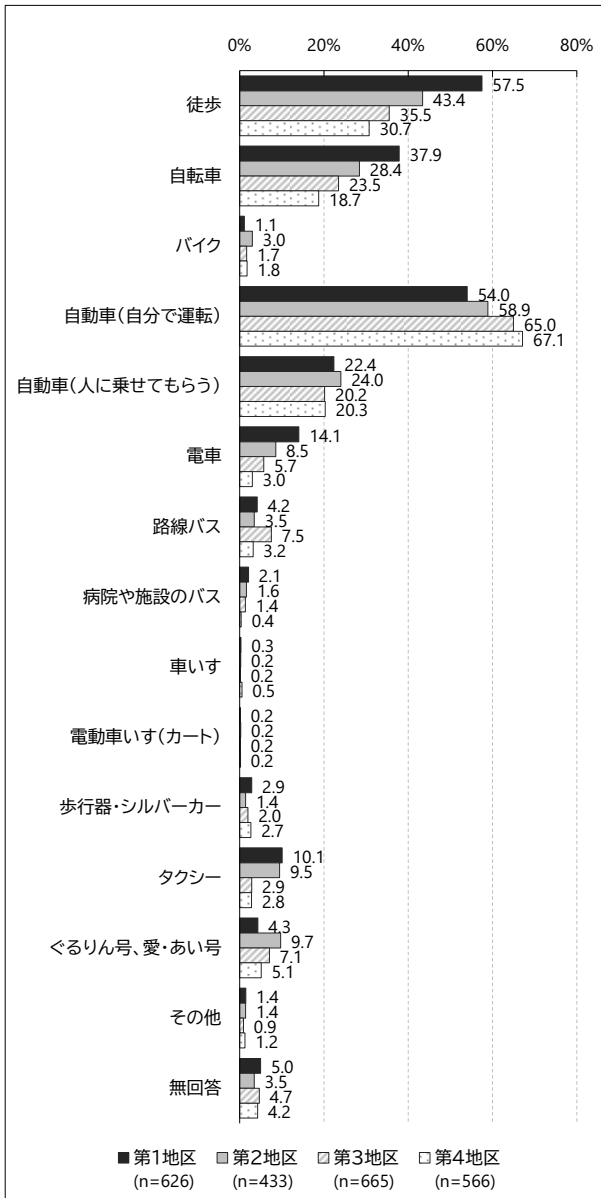
### (9) 外出する際の移動手段は何ですか。(MA)

- ・外出する際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」が60.7%で最も高く、次いで「徒歩」が41.4%、「自転車」が27.2%となっている。
- ・圏域別の「徒歩」、「自転車」、「電車」は、第1地区が「徒歩」57.5%、「自転車」37.9%、「電車」14.1%で、その他の地区より高くなっている。また、「自動車（自分で運転）」は、第4地区が67.1%でその他の地区より高くなっている。

■外出の際の移動手段【割合】

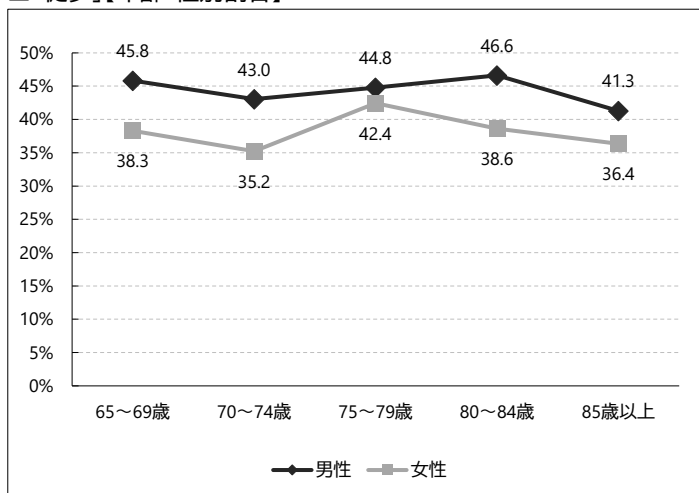


【圏域別割合】



・年齢別の結果を性別でみると、「徒歩」は、すべての年齢で男性が女性よりも高くなっている。年齢による大きな差はみられず、男性は45.0%、女性は40.0%前後となっている。「自転車」は、男性の「75～79歳」で35.0%を超え特に高いが、そのほかはおおむね30.0%前後となっている。女性は、「80～84歳」までは25.0%前後となっているが、「85歳以上」で20.0%を大きく下回っている。

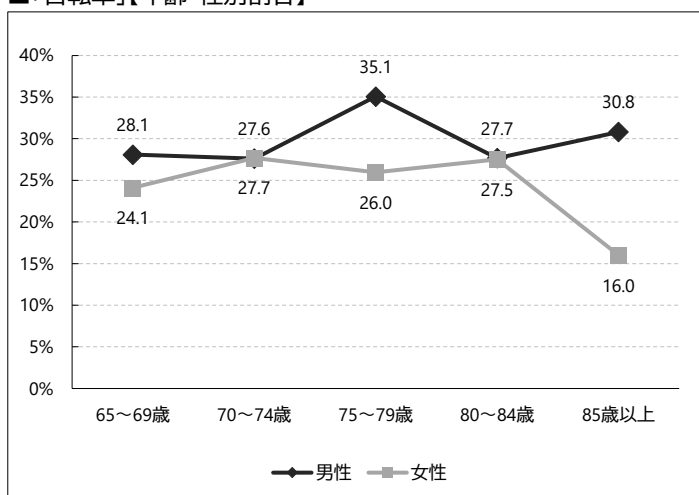
■「徒歩」【年齢・性別割合】



【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	137	173	120	96	71
女性	54	75	98	73	84

■「自転車」【年齢・性別割合】

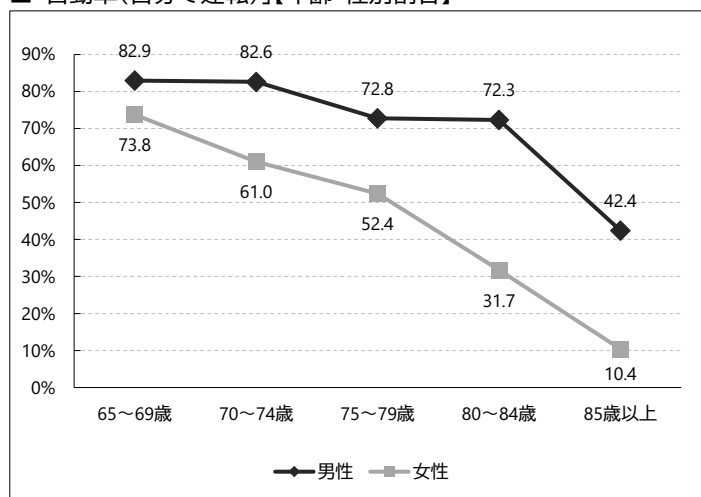


【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	84	111	94	57	53
女性	34	59	60	52	37

・「自動車（自分で運転）」は、すべての年齢で男性が女性よりも高くなっている。また、高齢になるほど低くなる傾向がうかがえ、「85歳以上」では、男性は40.0%、女性は10.0%近くまで低くなっている。

■「自動車（自分で運転）」【年齢・性別割合】



【実数】(単位:人)

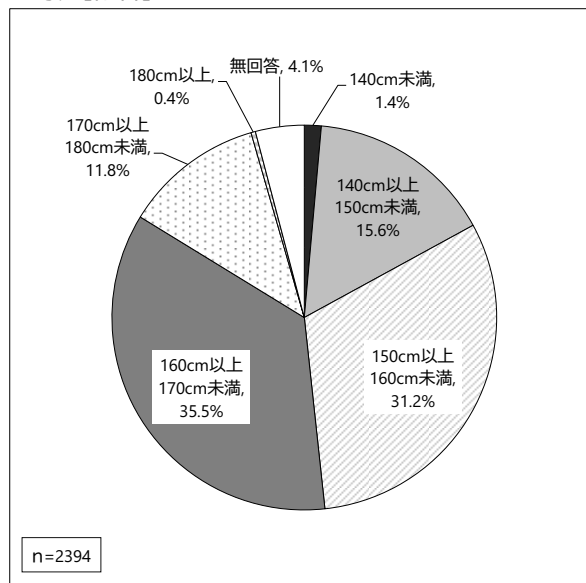
	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	248	332	195	149	73
女性	104	130	121	60	24

### 問3 食べることについて

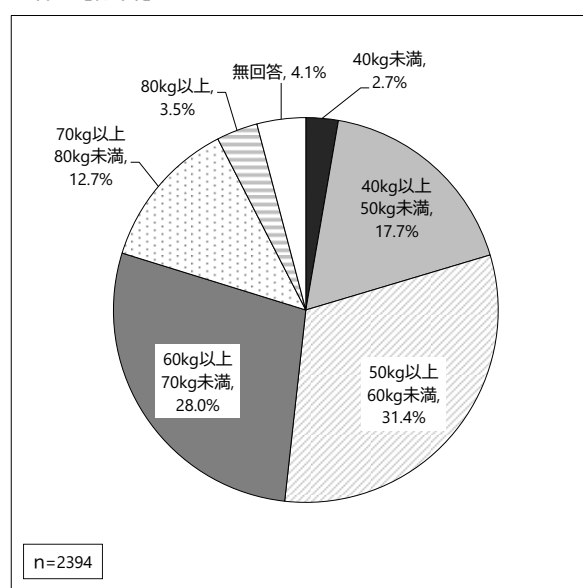
#### (1) 身長・体重を教えてください。

- ・身長及び体重に関して、身長は「160cm以上170cm未満」が35.5%で最も高く、体重は「50kg以上60kg未満」が31.4%で最も高くなっている。
- ・BMI※は「22.0超25.0未満」が34.3%で最も高く、次いで「18.5超22.0以下」が28.4%、「25.0以上」が25.6%となっている。

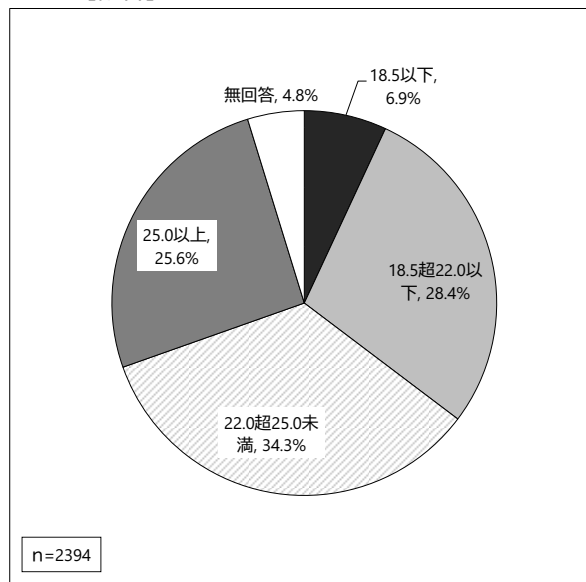
■身長【割合】



■体重【割合】

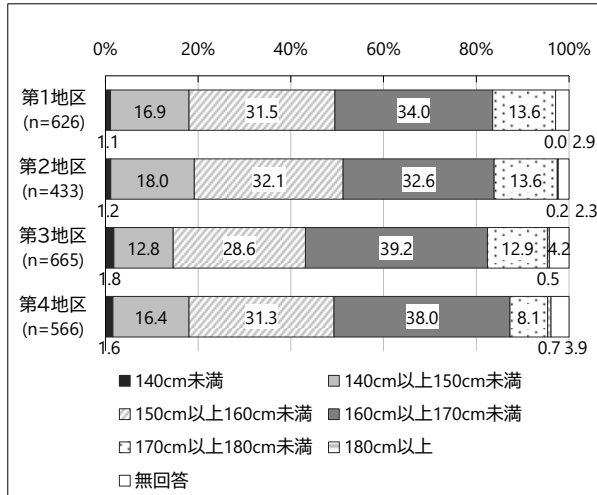


■BMI【割合】

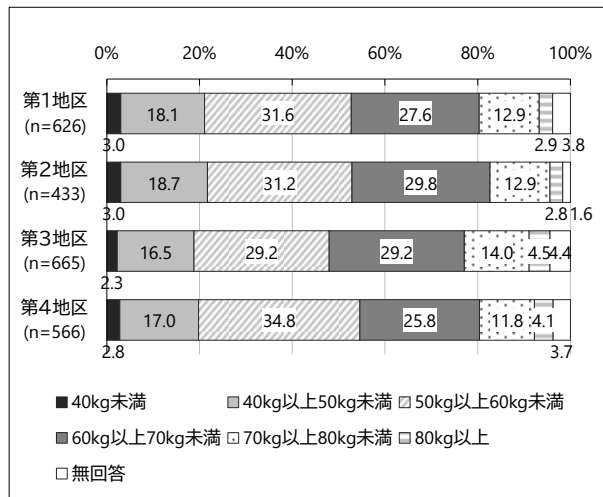


※BMIとは、体重(kg)÷身長(m)×身長(m)で算出される体重(体格)の指標であり、厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2020年版)」策定検討会報告書では、65歳以上の目標とするBMIの範囲を21.5~24.9kg/m<sup>2</sup>としている。

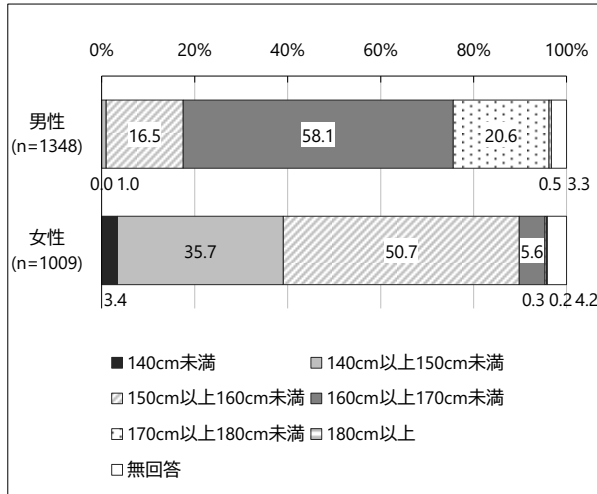
■身長【圏域別割合】



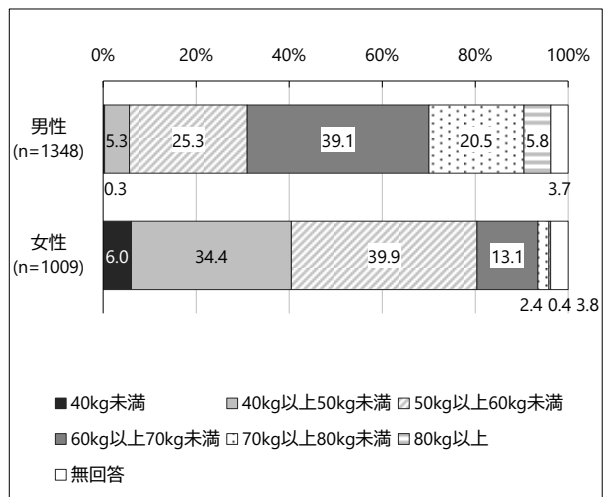
■体重【圏域別割合】



■身長【男女別割合】



■体重【男女別割合】

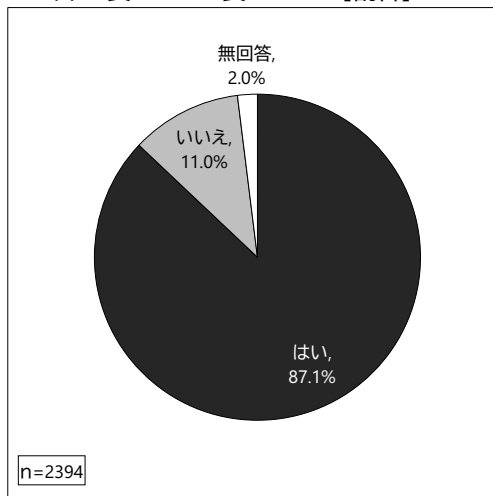




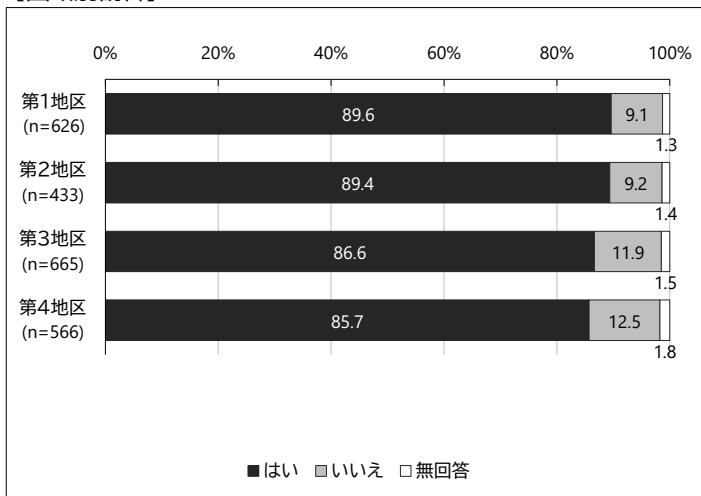
## (2) 1日3食きちんと食べていますか。(SA)

- ・ 1日3食きちんと食べているかについて、「はい」が87.1%、「いいえ」が11.0%となっている。
- ・ 圏域別の「いいえ（1日3食きちんと食べていない人）」は、第4地区が12.5%でその他の地区より高く、一方、第1地区は9.1%でその他の地区より低くなっている。
- ・ 年齢別の結果を性別で見ると、「いいえ（1日3食きちんと食べていない人）」は、「85歳以上」をのぞく年齢で男性が女性よりも高くなっている。また、高齢になるほど低くなる傾向がうかがえ、「80～84歳」以降では、男女ともに10.0%を下回っている。

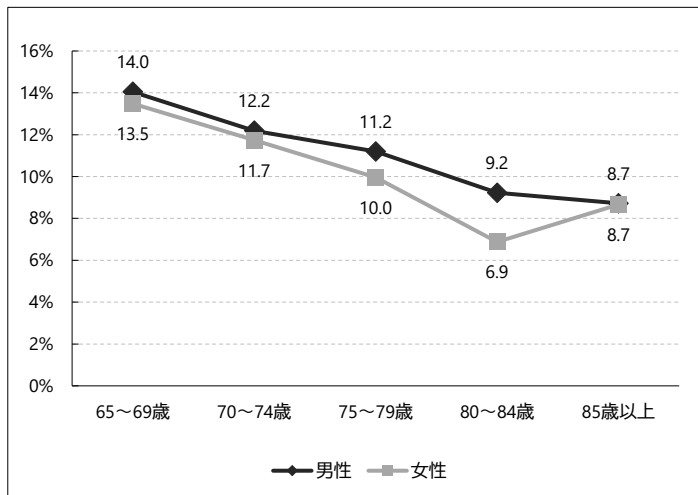
■1日3食きちんと食べている【割合】



【圏域別割合】



■いいえ(1日3食きちんと食べていない人)【年齢・性別割合】



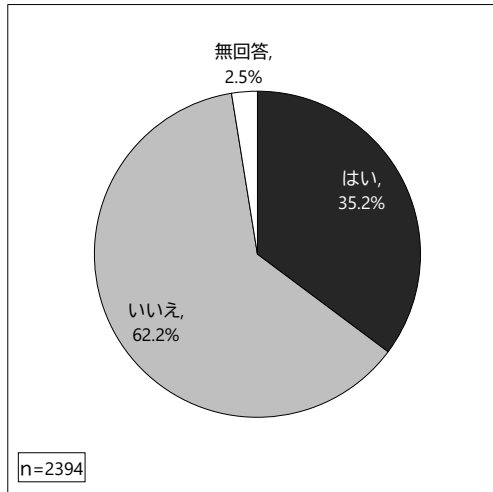
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	42	49	30	19	15
女性	19	25	23	13	20

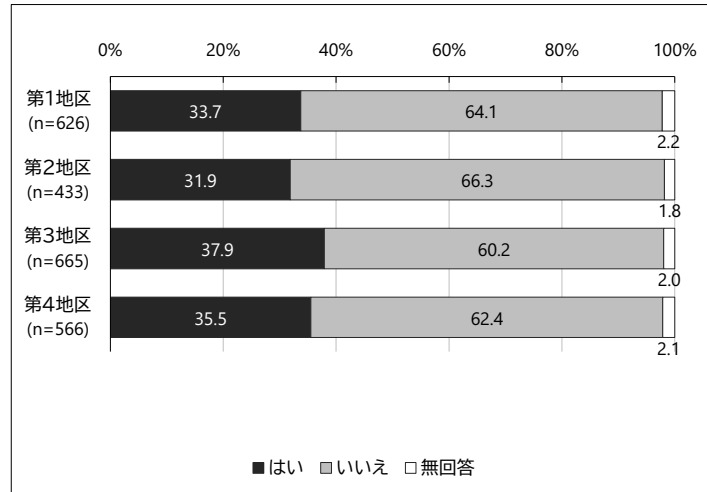
### (3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(SA)

- ・半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が35.2%、「いいえ」が62.2%となっている。
- ・圏域別の「はい」は、第3地区が37.9%でその他の地区より高く、一方、第2地区は31.9%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別で見ると、「はい(咀嚼機能の低下が疑われる人)」は、男女ともに高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、女性は「80～84歳」で、男性は「85歳以上」で40.0%を超えている。

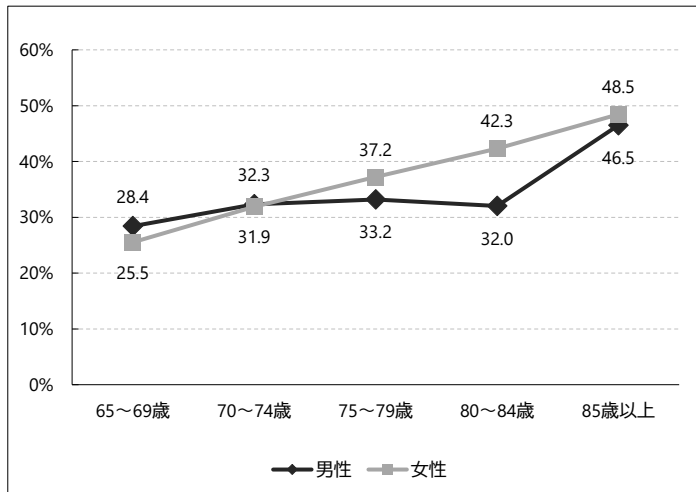
■固いものが食べにくくなった【割合】



【圏域別割合】



■はい(咀嚼機能の低下が疑われる人)【年齢・性別割合】



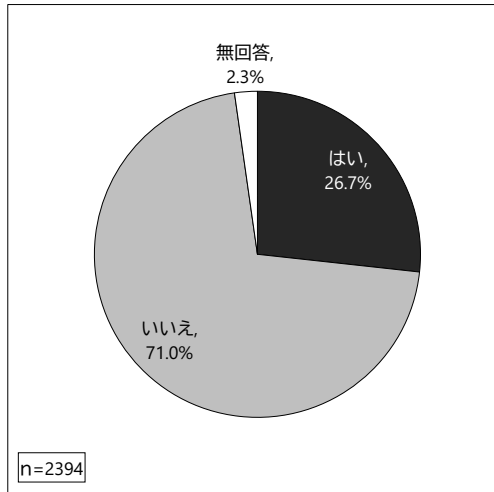
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	85	130	89	66	80
女性	36	68	86	80	112

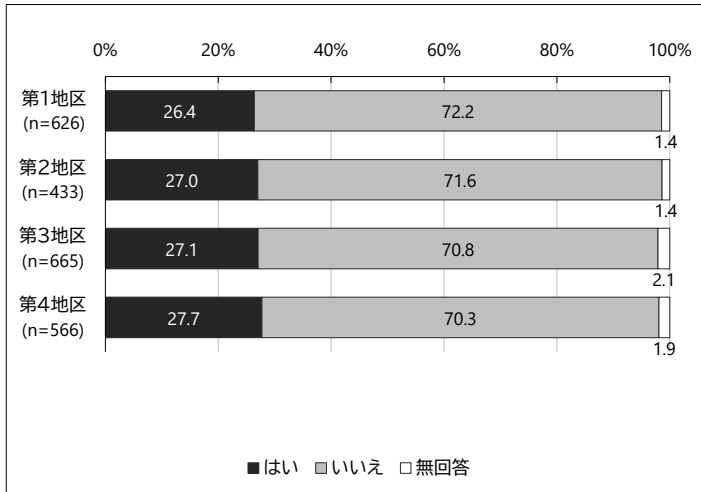
#### (4) お茶や汁物等でむせることがありますか。(SA)

- ・お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が26.7%、「いいえ」が71.0%となっている。
- ・圏域別の「はい」は、第4地区が27.7%でその他の地区より高く、一方、第1地区は26.4%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「はい(むせることがある人)」は、男性の「80～84歳」で35.0%に近くなるが、おおむね25.0%前後となっている。女性は高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「80～84歳」で33.9%と特に高くなるが、「85歳以上」では低くなり、30.0%を下回っている。

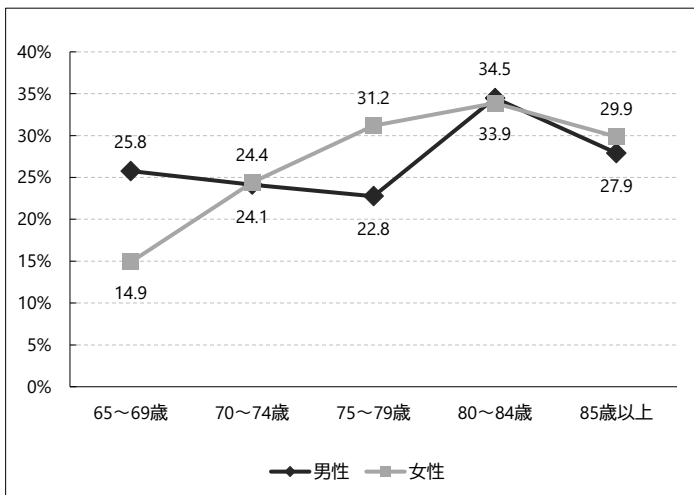
■お茶や汁物でむせることがある【割合】



【圏域別割合】



■はい(むせることがある人)【年齢・性別割合】



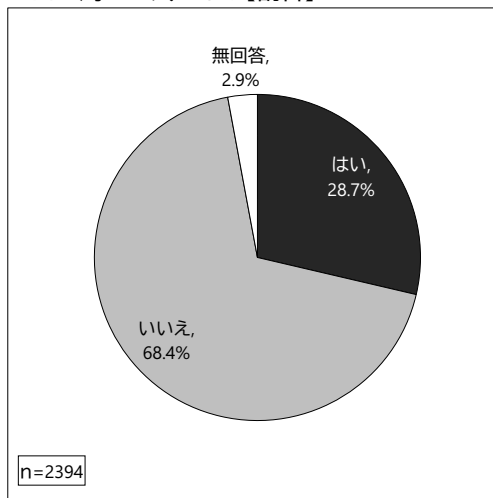
【実数】(単位:人)

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	77	97	61	71	48
女性	21	52	72	64	69

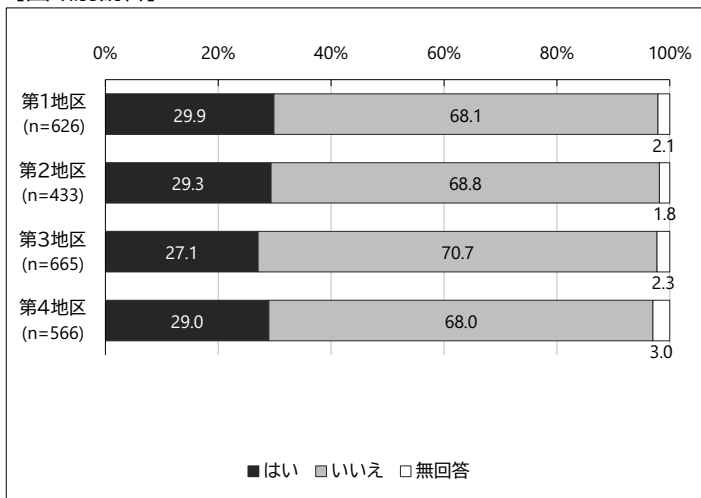
## (5) 口の渇きが気になりますか。(SA)

- ・口の渇きが気になるかについて、「はい」が28.7%、「いいえ」が68.4%となっている。
- ・圏域別の「はい（口の渇きが気になる人）」は、第1地区が29.9%でその他の地区より高く、一方、第3地区は27.1%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「はい（口の渇きが気になる人）」は、「65～69歳」をのぞく年齢で女性が男性より高くなっている。また、男性は年齢に関わらず25.0%前後となっているが、女性は高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「70～74歳」で30.0%を超え、「85歳以上」では40.0%を超えている。

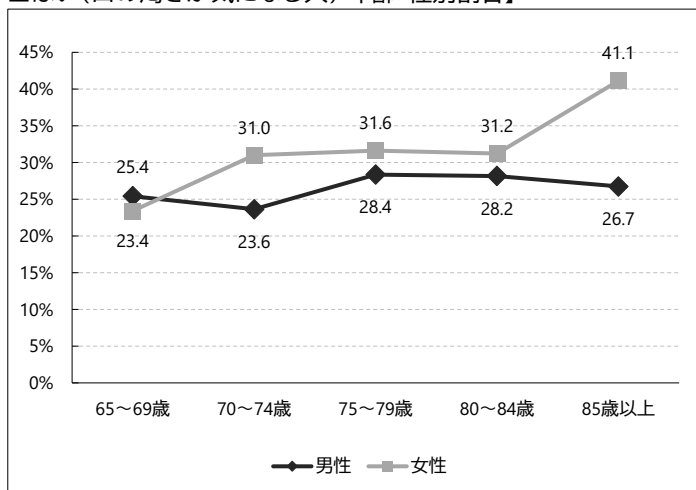
■口の渇きが気になる【割合】



【圏域別割合】



■はい(口の渇きが気になる人)【年齢・性別割合】



【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	76	95	76	58	46
女性	33	66	73	59	95

## ② 口腔機能の低下

### 口腔機能低下の定義

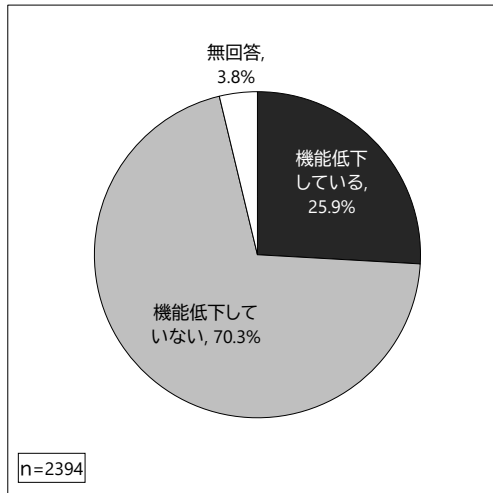
本報告書では、問3の(3)～(5)の設問で2問以上、該当する選択肢(下の表の網掛けの箇所)に回答した場合、口腔機能が「機能低下している」高齢者と定義した。

なお、(3)～(5)すべての設問に回答した人のみを対象とし、それ以外は「無回答」とした。

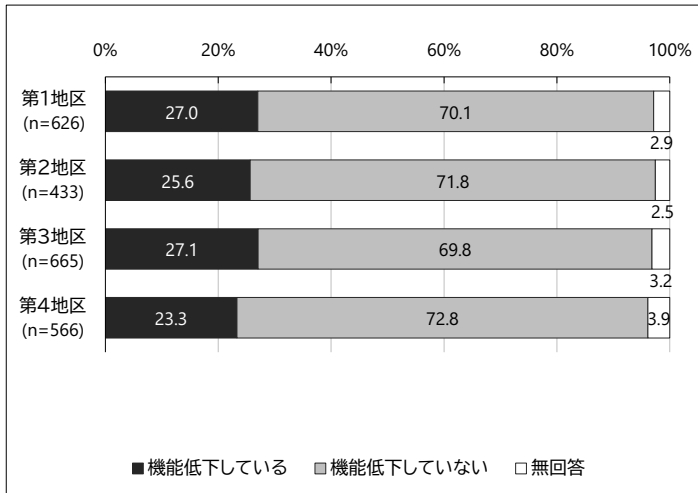
No.	設問内容	選択肢
(3)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
		2. いいえ
(4)	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
		2. いいえ
(5)	口の渇きが気になりますか	1. はい
		2. いいえ

- ・口腔機能の低下に関して、「機能低下している」が25.9%に対して、「機能低下していない」が70.3%となっている。
- ・圏域別の「機能低下している」は、第1地区と第3地区がともに27.0%を超えその他の地区より高く、一方、第4地区は23.3%でその他の地区より低くなっている。

■機能低下しているか【割合】

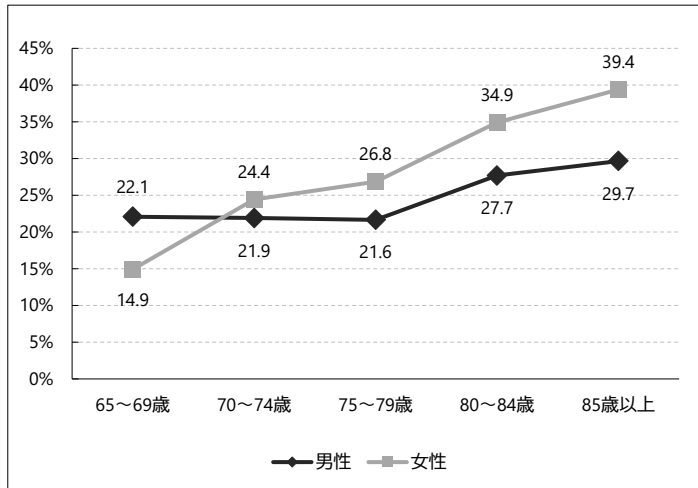


【圏域別割合】



・年齢別の結果を性別で見ると、「65～69歳」をのぞく年齢で女性が男性より高くなっている。また、男女ともに高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、女性は「80～84歳」で30.0%を超え、「85歳以上」で40.0%近くになっている。男性は「80～84歳」以降で25.0%を超えるものの、「85歳以上」でも30.0%以下にとどまっている。

■機能低下している人※【年齢・性別割合】



※問3の(3)～(5)で2問以上、該当する選択肢(前頁表の網掛けの箇所)に回答した人

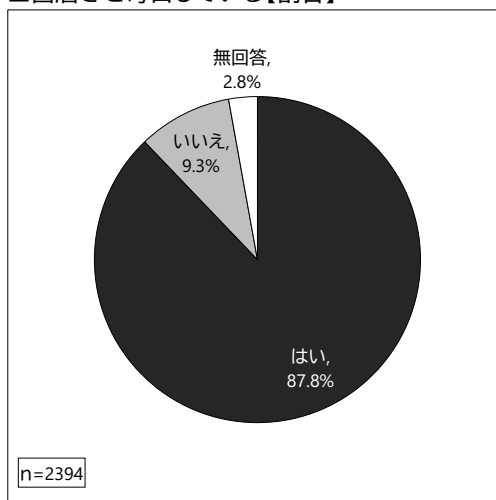
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	66	88	58	57	51
女性	21	52	62	66	91

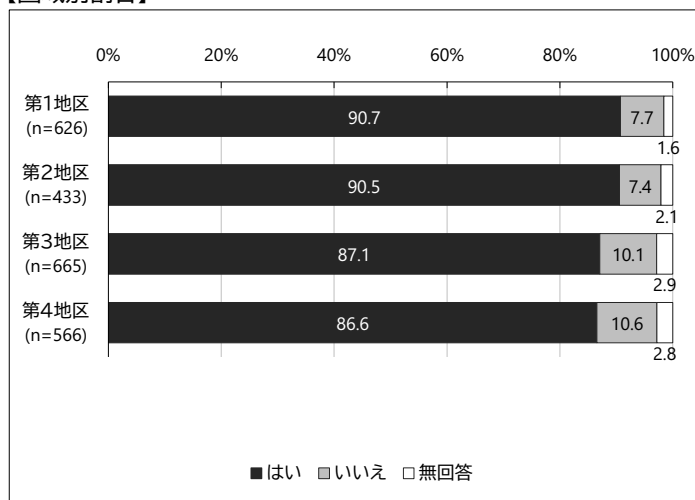
## (6) 歯磨き(人にやらしてもら場合も含む)を毎日していますか。(SA)

- ・歯磨き(人にやらしてもら場合も含む)を毎日しているかについて、「はい」が87.8%、「いいえ」が9.3%となっている。
- ・圏域別の「いいえ」は、第4地区が10.6%でその他の地区より高く、一方、第2地区は7.4%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別で見ると、「いいえ(毎日していない人)」は、すべての年齢で男性が女性より高くなっている。また、男性は「75~79歳」で10.0%を超え、「85歳以上」では15.0%を超えている。女性は、「75~79歳」と「85歳以上」で8.2%と特に高くなるが、おおむね5.0%前後となっている。

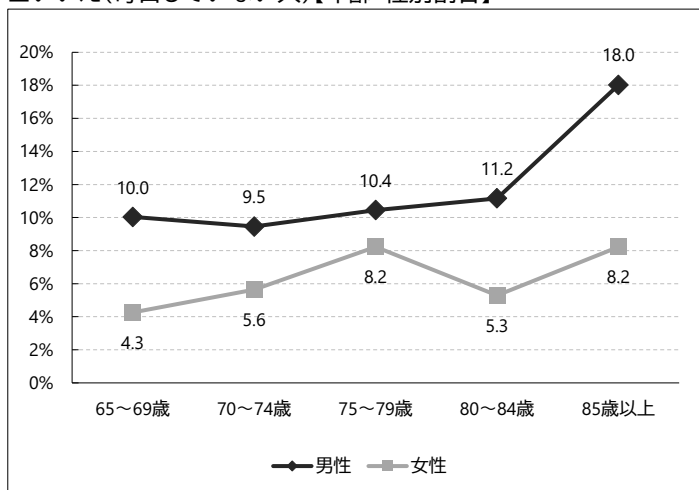
■歯磨きを毎日している【割合】



【圏域別割合】



■いいえ(毎日していない人)【年齢・性別割合】



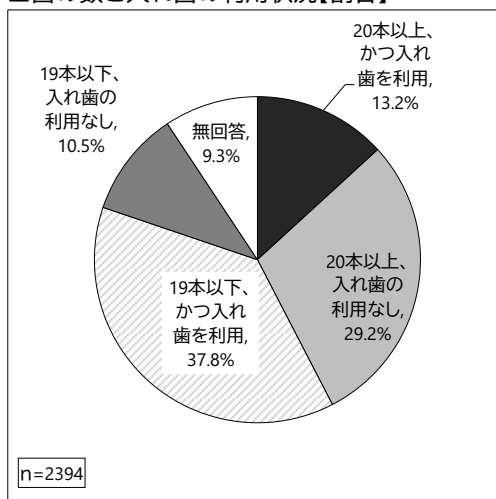
【実数】(単位:人)

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	30	38	28	23	31
女性	6	12	19	10	19

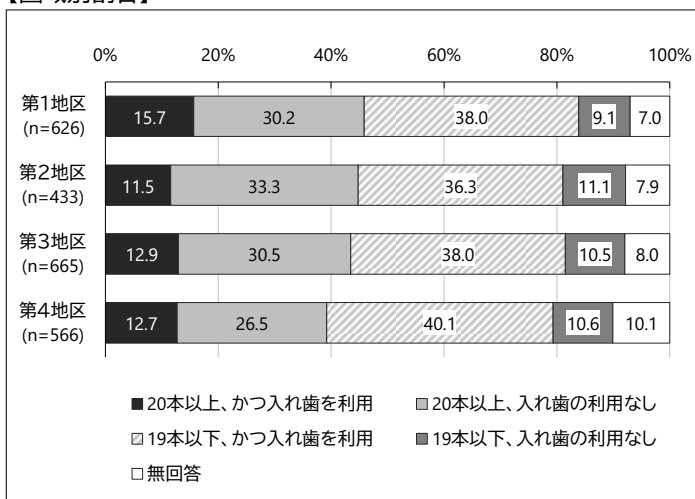
## (7) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(SA)

- ・ 歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 37.8%で最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 29.2%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 13.2%となっている。また、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」を合わせた『入れ歯を利用している人』は、51.0%となっている。
- ・ 圏域別の『入れ歯を利用している人』は、第 1 地区が 53.7%でその他の地区より高く、一方、第 2 地区は 47.8%でその他の地区より低くなっている。
- ・ 年齢別の結果を性別で見ると、『入れ歯を利用している人』は、男女ともに高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、男性は「75～79 歳」で 50.0%、「85 歳以上」で 65.0%を超えている。女性は、「70～74 歳」で 50.0%を超え、「80～84 歳」では 60.0%近くになるが、「85 歳以上」では 55.4%台まで低くなっている。

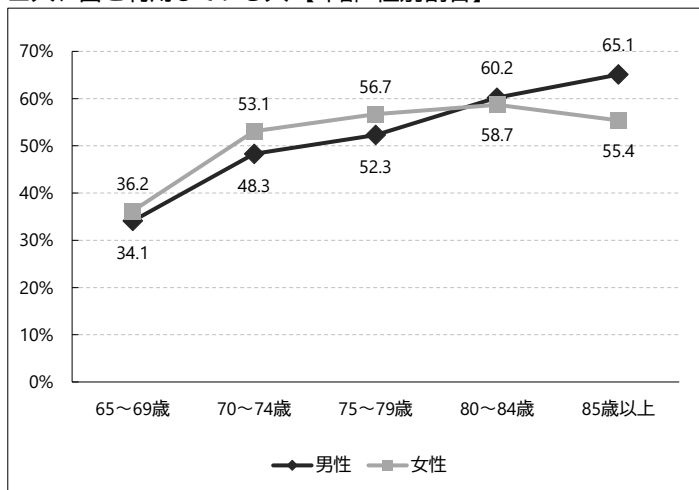
■歯の数と入れ歯の利用状況【割合】



【圏域別割合】



■入れ歯を利用している人※【年齢・性別割合】



※「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」または「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した人

【実数】(単位:人)

	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85 歳以上
男性	102	194	140	124	112
女性	51	113	131	111	128

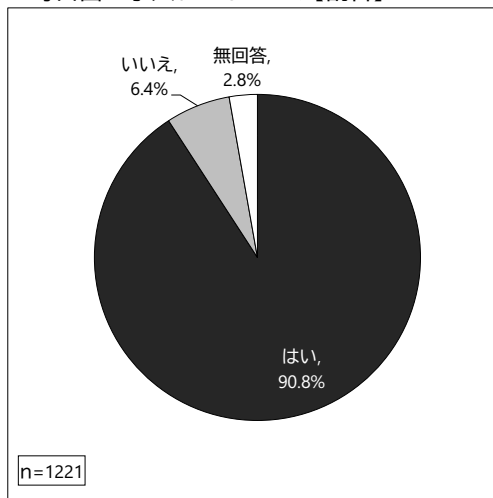


(7)で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ

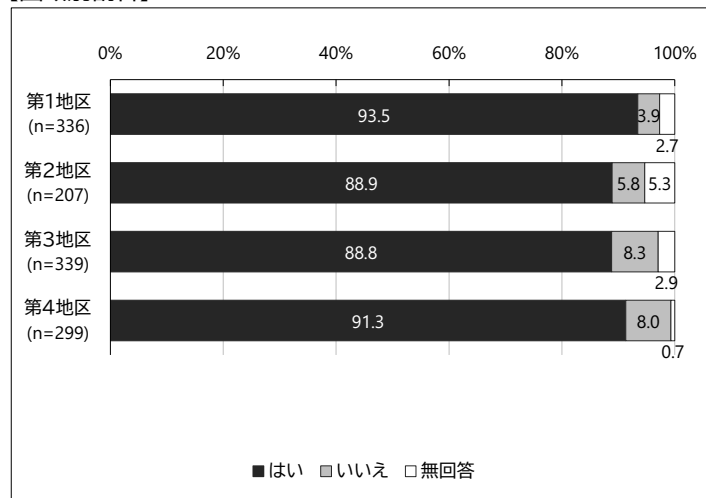
(7)-① 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(SA)

- ・ 毎日の入れ歯の手入れについて、「はい」が90.8%、「いいえ」が6.4%となっている。
- ・ 圏域別の「いいえ」は、第3地区が8.3%でその他の地区より高く、一方、第1地区は3.9%でその他の地区より低くなっている。
- ・ 年齢別の結果を性別で見ると、「いいえ(毎日手入れをしていない人)」は、すべての年齢で男性が女性より高くなっている。また、男性は「75～79歳」と「80～84歳」で10.0%を超えているが、ほかの年齢は10.0%以下となっている。女性は、「65～69歳」で5.0%を超えているが、ほかの年齢は5.0%を下回っている。

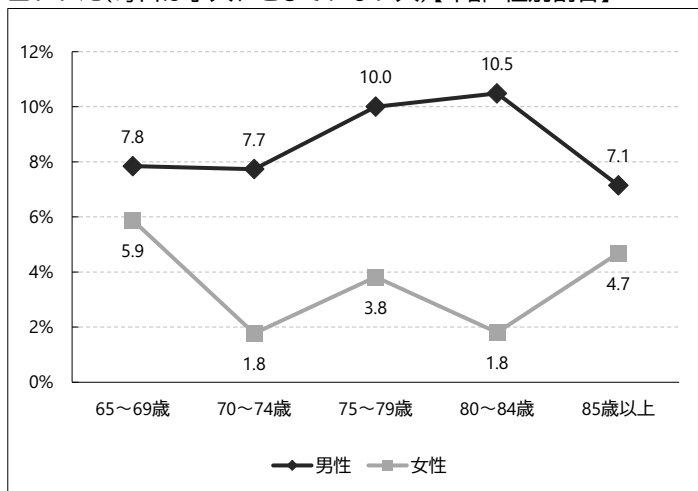
■毎日歯の手入れをしている【割合】



【圏域別割合】



■いいえ(毎日手入れをしていない人)【年齢・性別割合】



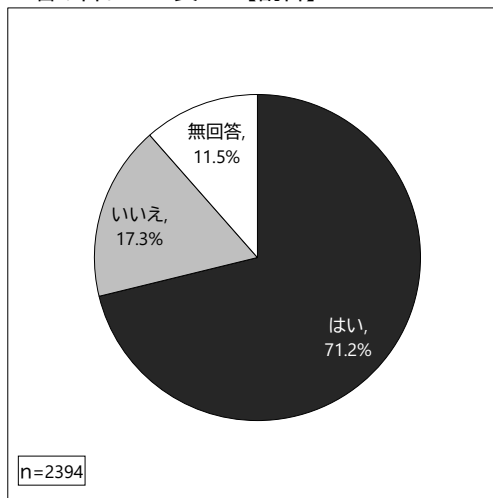
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	8	15	14	13	8
女性	3	2	5	2	6

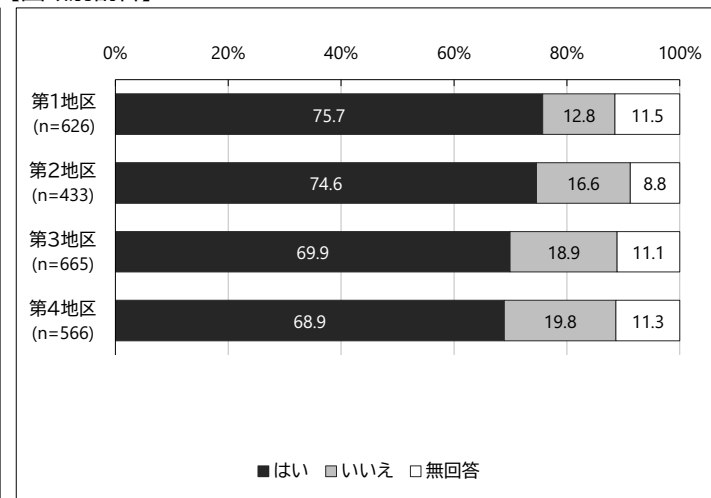
## (8) 噛み合わせはいいですか。(SA)

- ・噛み合わせの状態ついて、「はい（良い）」が 71.2%、「いいえ（良くない）」が 17.3%となっている。
- ・圏域別の、「いいえ（良くない）」は、第4地区が 19.8%でその他の地区より高く、一方、第1地区は 12.8%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「いいえ（噛み合わせが良くない人）」は、「80～84 歳」をのぞく年齢で男性が女性より高くなっている。また、男性の「80～84 歳」は 11.2%と特に低くなるが、ほかの年齢はおおむね 20.0%前後となっている。女性は「80～84 歳」が 20.0%を超えるが、ほかの年齢はおおむね 15.0%～20.0%の間となっている。

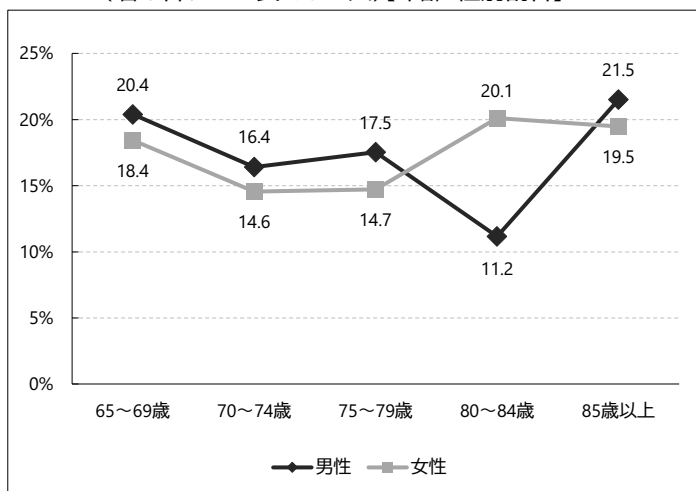
■噛み合わせが良いか【割合】



【圏域別割合】



■いいえ(噛み合わせが良くない人)【年齢・性別割合】



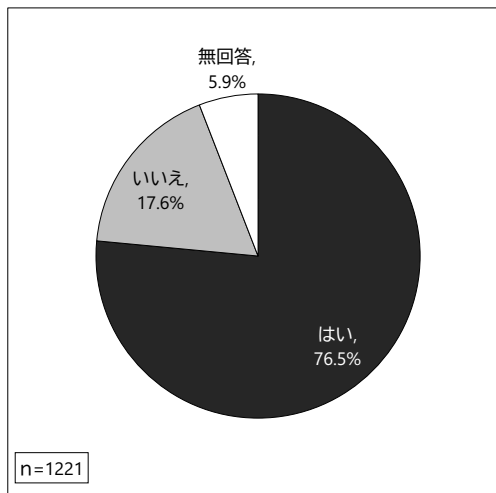
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	61	66	47	23	37
女性	26	31	34	38	45

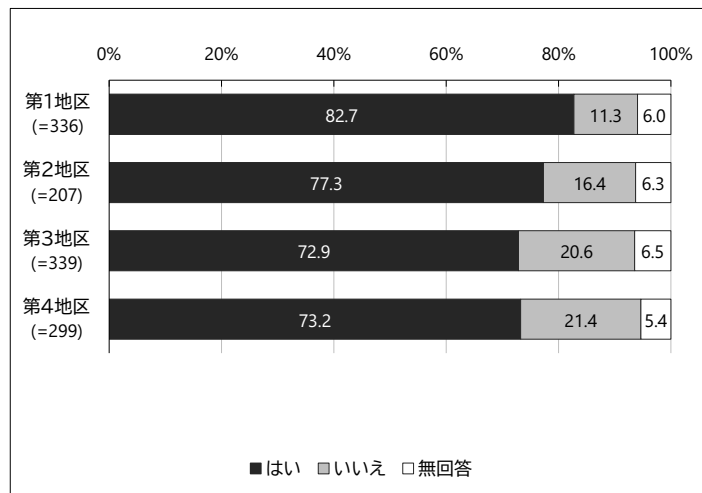
### 【入れ歯を利用の方のみ】

- ・入れ歯を利用している回答者の噛み合わせの良さに関して、「はい（良い）」が76.5%、「いいえ（良くない）」が17.6%となっている。
- ・圏域別の「いいえ（良くない）」は、第4地区が21.4%でその他の地区より高く、一方、第1地区は11.3%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別で見ると、「いいえ（噛み合わせが良くない人）」は、男性では年齢に大きな差はみられず、おおむね15.0%~20.0%の間となっている。女性は「75~79歳」まで20.0%を下回っていたが、「80~84歳」で25.0%を超えたものの、「85歳以上」では20.0%台まで低くなっている。

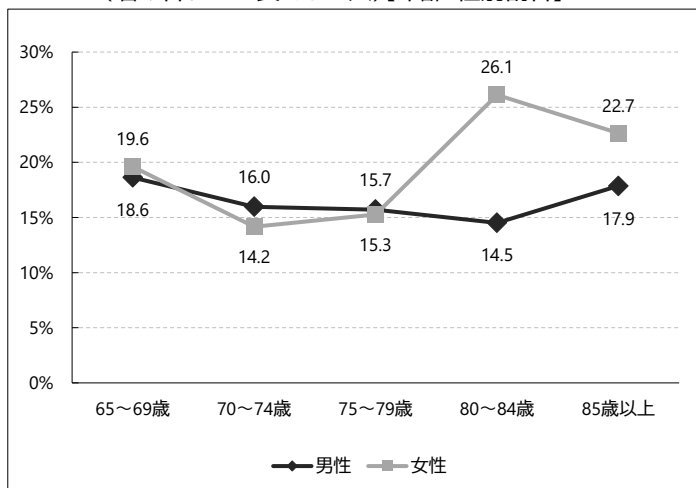
■噛み合わせが良いか【割合】



【圏域別割合】



■いいえ(噛み合わせが良くない人)【年齢・性別割合】



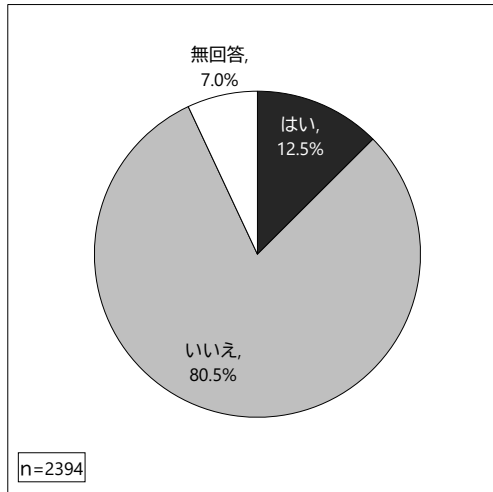
【実数】(単位:人)

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	19	31	22	18	20
女性	10	16	20	29	29

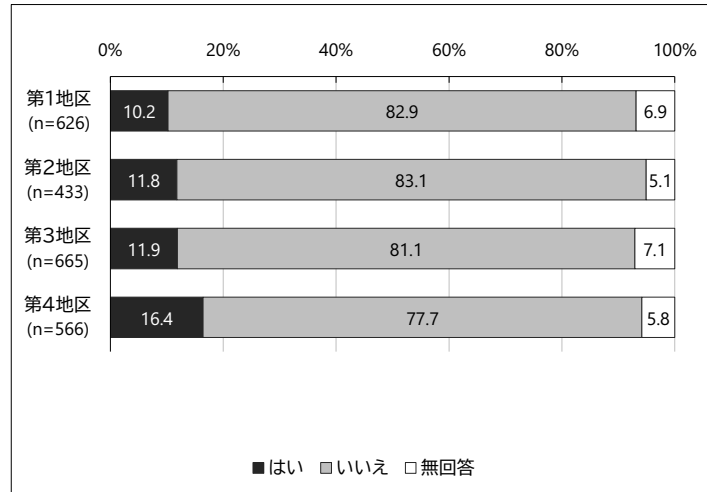
(9) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(SA)

- ・ 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについて、「はい」が12.5%、「いいえ」が80.5%となっている。
- ・ 圏域別の、「はい」は、第4地区が16.4%でその他の地区より高く、一方、第1地区は10.2%でその他の地区より低くなっている。
- ・ 年齢別の結果を性別でみると、「はい(体重減少があった人)」は、男女ともに10.0%～15.0%の間となっている。

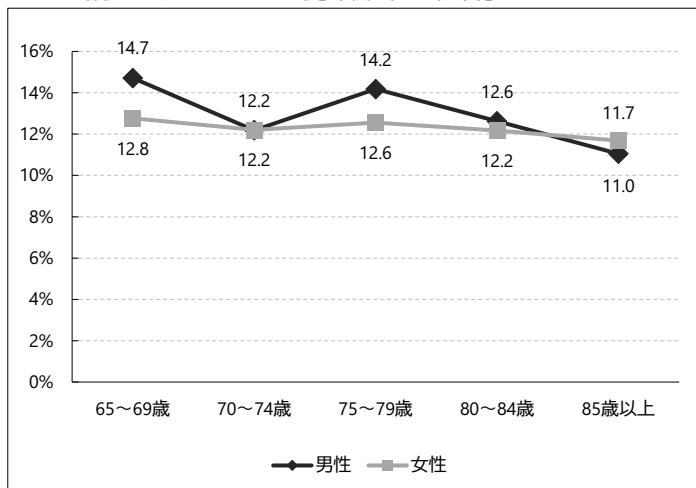
■体重減少があった【割合】



【圏域別割合】



■はい(体重減少があった人)【年齢・性別割合】



【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	44	49	38	26	19
女性	18	26	29	23	27

### ③ 低栄養状態

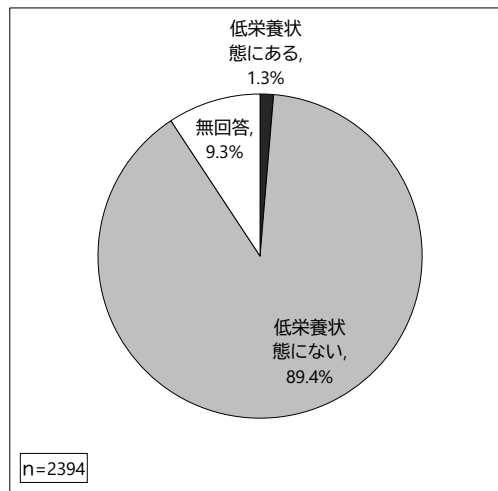
#### 低栄養状態の定義

本報告書では、問3の(1)の回答から算出されたBMI(体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)})が18.5以下(低栄養の疑いあり)かつ(9)の該当する選択肢(下の表の網掛けの箇所)に回答した場合、「低栄養状態にある」高齢者と定義した。

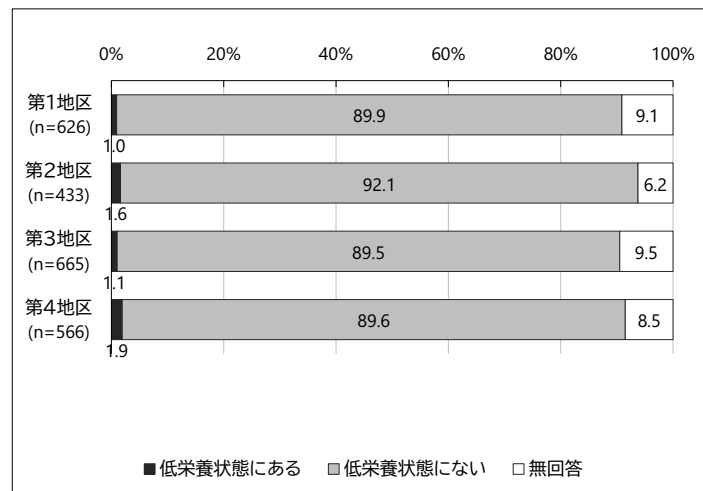
No.	設問内容	選択肢
(1)	身長・体重を教えてください	( )cm
		( )kg
(9)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい
		2. いいえ

- ・低栄養状態であるかに関して、「低栄養状態にある」が1.3%に対して、「低栄養状態にない」が89.4%となっている。
- ・圏域別の「低栄養状態にある」は、第4地区が1.9%でその他の地区より高く、一方、第1地区は1.0%でその他の地区より低くなっている。

■低栄養状態か【割合】

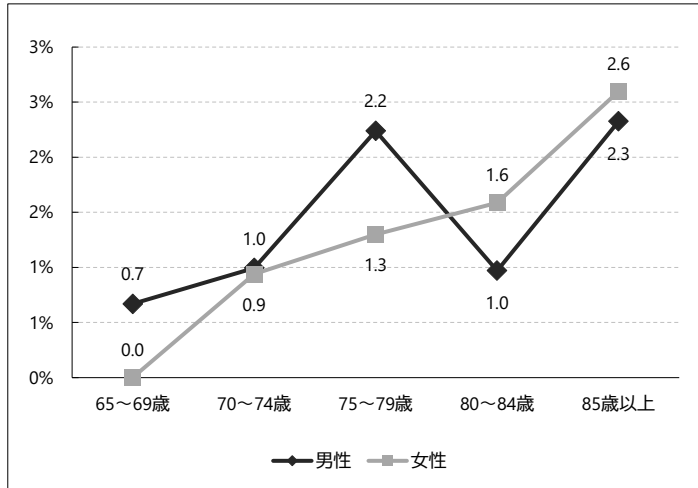


【圏域別割合】



・年齢別の結果を性別で見ると、「低栄養状態にある（低栄養状態の人）」は、男女ともに5%を下回る程度だが、女性は高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「85歳以上」で2.5%を超えて特に高くなり、男性は「75～79歳」と「85歳以上」で2.0%を超えて高くなっている。

■低栄養状態にある（低栄養状態の人）※【年齢・性別割合】



※BMI18.5以下かつ問3の(9)の該当する選択肢(前頁表の網掛けの箇所)に回答した人

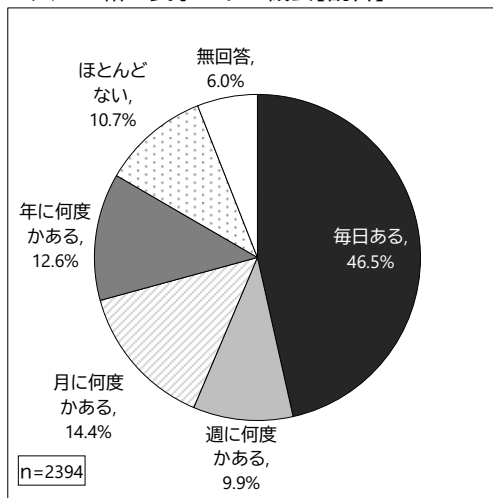
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	2	4	6	2	4
女性	0	2	3	3	6

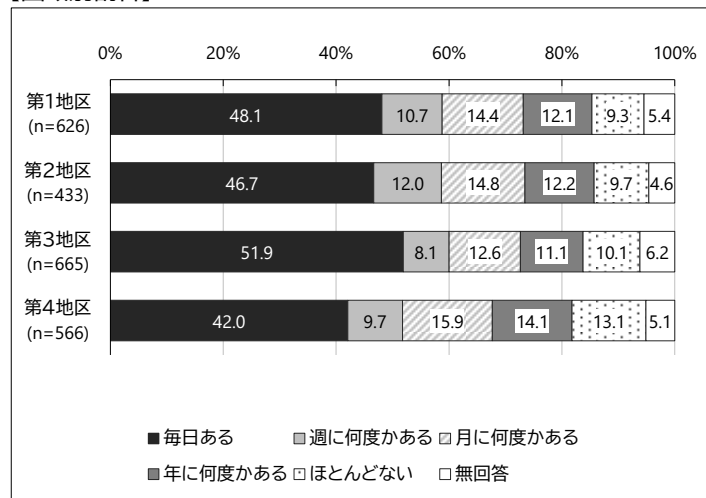
## (10) どなたかと食事をとる機会がありますか。(SA)

- ・どなたかと食事をとる機会はあるかについて、「毎日ある」が46.5%で最も高く、次いで「月に何度かある」が14.4%、「年に何度かある」が12.6%となっている。
- ・圏域別の「ほとんどない」は、第4地区が13.1%でその他の地区より高く、一方、第1地区は9.3%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「ほとんどない」は、すべての年齢で男性が女性より高くなっている。また、男性は高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「80～84歳」以降では15.0%を超え、「85歳以上」では16.3%となっている。女性はすべての年齢でおおむね5.0%～10.0%の間となっている。

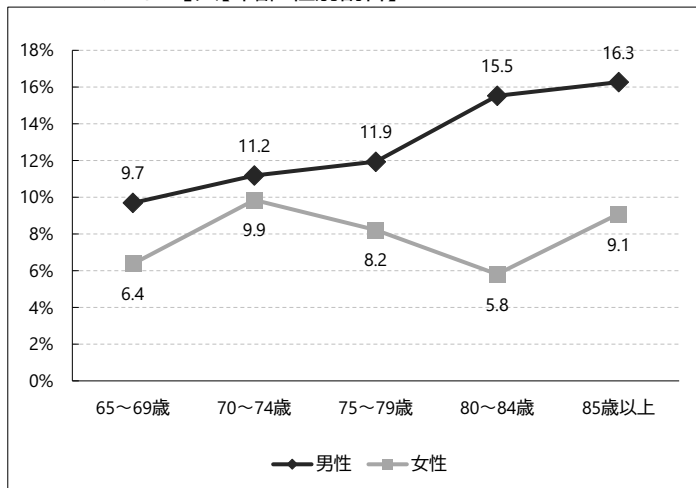
■人と一緒に食事をする機会【割合】



【圏域別割合】



■「ほとんどない」人【年齢・性別割合】



【実数】(単位:人)

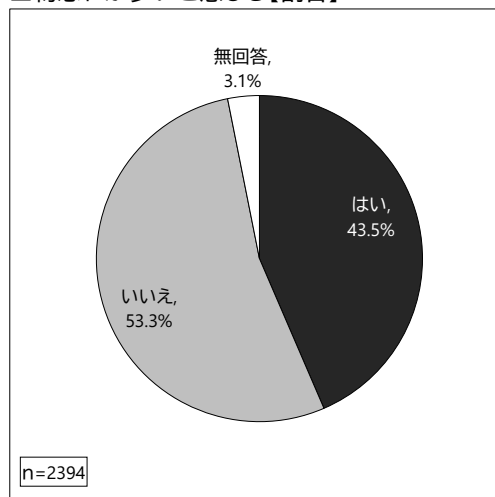
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	29	45	32	32	28
女性	9	21	19	11	21

## 問4 毎日の生活について

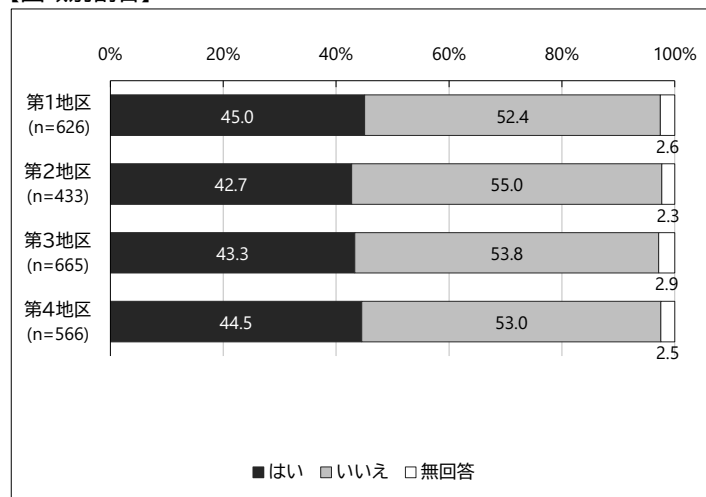
### (1) 物忘れが多いと感じますか。(SA)

- ・物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が43.5%、「いいえ」が53.3%となっている。
- ・圏域別の「はい」は、第1地区が45.0%でその他の地区より高く、一方、第2地区は42.7%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「はい(物忘れが多いと感じる人)」は、「70～74歳」をのぞく年齢で女性が男性より高くなっている。また、男性は「80～84歳」でわずかに低くなるものの、おおむね高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「85歳以上」では55.0%を超えている。女性も高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「80～84歳」で50.0%を超え、「85歳以上」では60.0%を超えている。

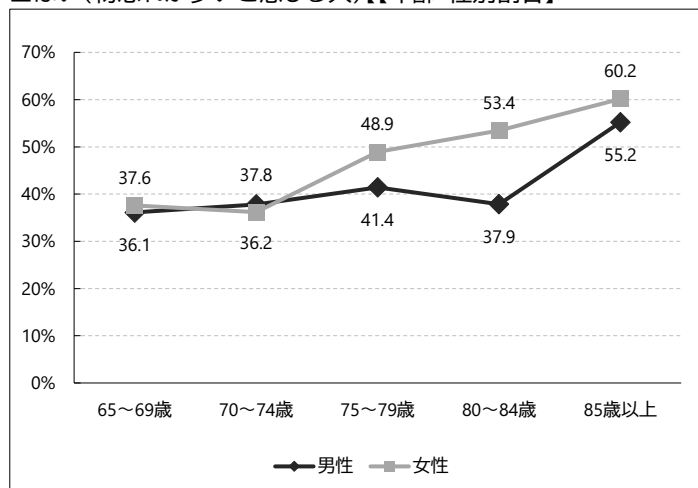
■物忘れが多いと感じる【割合】



【圏域別割合】



■はい(物忘れが多いと感じる人)【年齢・性別割合】



【実数】(単位:人)

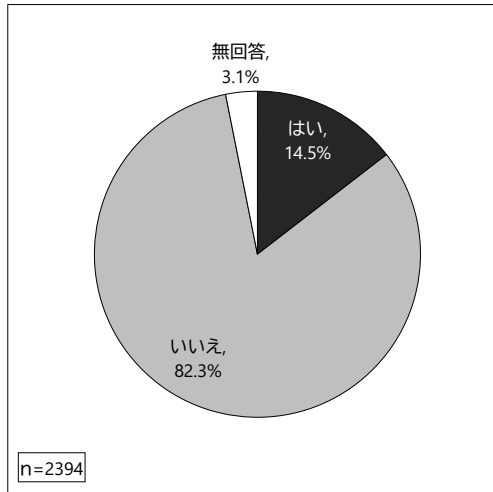
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	108	152	111	78	95
女性	53	77	113	101	139



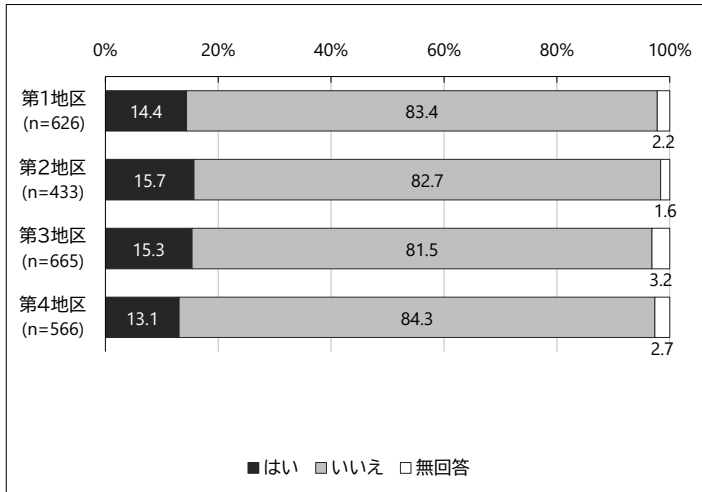
## (2) まわりの人から「いつも同じことを聞く」など物忘れがあると言われるか。(SA)

- ・物忘れがあると言われるかについて、「はい」が14.5%、「いいえ」が82.3%となっている。
- ・圏域別の「はい」は、第2地区（15.7%）と第3地区（15.3%）が15%を超えてその他の地区より高く、一方、第4地区は13.1%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「はい（物忘れがあると言われる人）」は、「75～79歳」までは男性が女性より高いが、「80～84歳」で女性が男性より高くなり、20.0%を超える。しかし、「85歳以上」で男性も20.0%を超えて、男女ともに同程度となる。

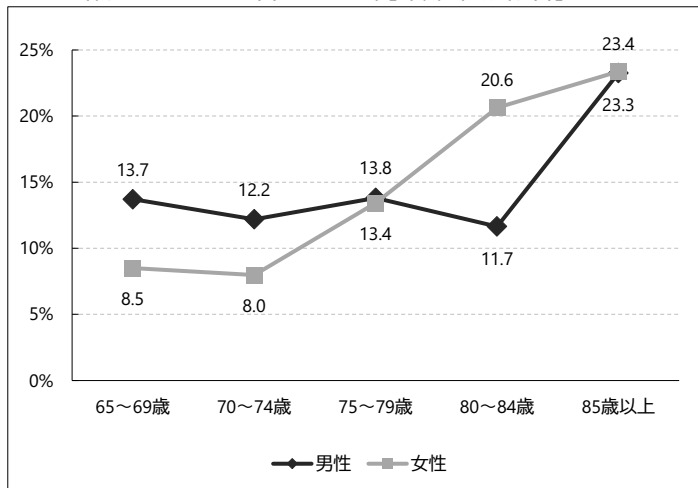
■物忘れがあると言われる【割合】



【圏域別割合】



■はい(物忘れがあると言われる人)【年齢・性別割合】



【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	41	49	37	24	40
女性	12	17	31	39	54

#### ④ 認知機能の低下

##### 認知機能の低下の定義

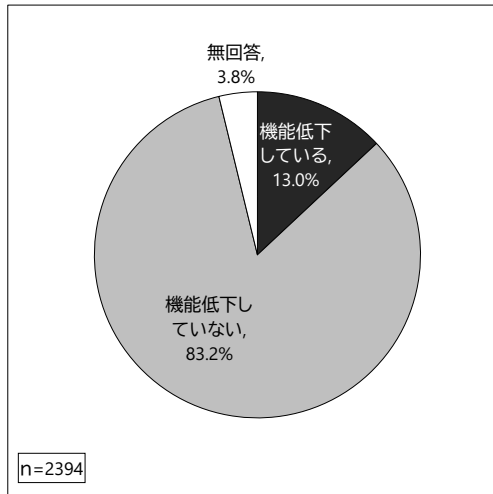
本報告書では、問4の(1)(2)のすべての設問に対し、該当する選択肢(下の表の網掛けの箇所)に回答した場合、認知機能が「機能低下している」高齢者と定義した。

なお、(1)(2)のすべての設問に回答した人のみを対象とし、それ以外は「無回答」とした。

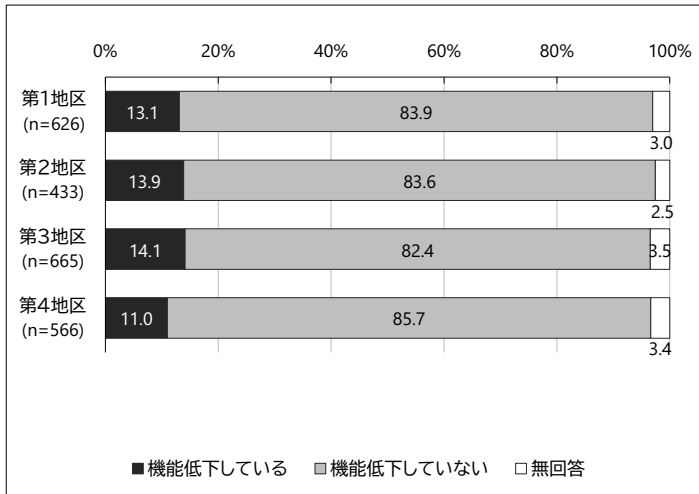
No.	設問内容	選択肢
(1)	物忘れが多いと感じますか	1. はい
		2. いいえ
(2)	まわりの人から「いつも同じことを聞く」など物忘れがあるとされますか	1. はい
		2. いいえ

- ・認知機能に関して、「機能低下している」が13.0%、「機能低下していない」が83.2%となっている。
- ・圏域別の「機能低下している」は、第3地区が14.1%でその他の地区より高く、一方、第4地区は11.0%でその他の地区より低くなっている。

■機能低下しているか【割合】

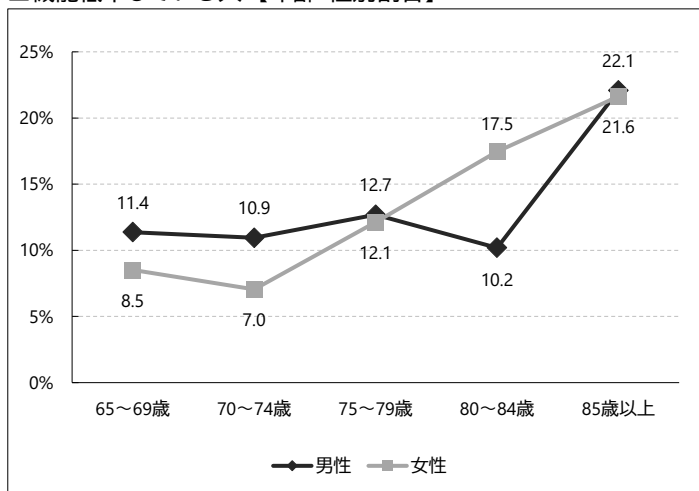


【圏域別割合】



- ・年齢別の結果を性別で見ると、「機能低下している（機能低下している人）」は、「75～79歳」までは男性が女性より高くなっているが、「80～84歳」で女性が男性より高くなり、15.0%を超える。しかし、「85歳以上」で男女ともに20.0%を超え同程度となる。

■機能低下している人※【年齢・性別割合】



※問4の(1)(2)ともに該当する選択肢(前頁表の網掛けの箇所)に回答した人

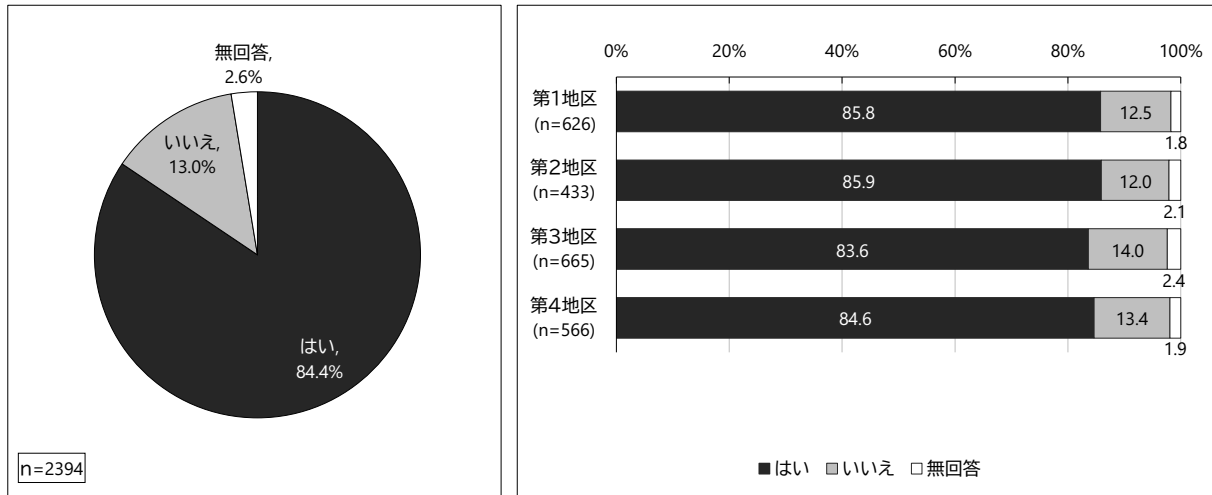
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	34	44	34	21	38
女性	12	15	28	33	50

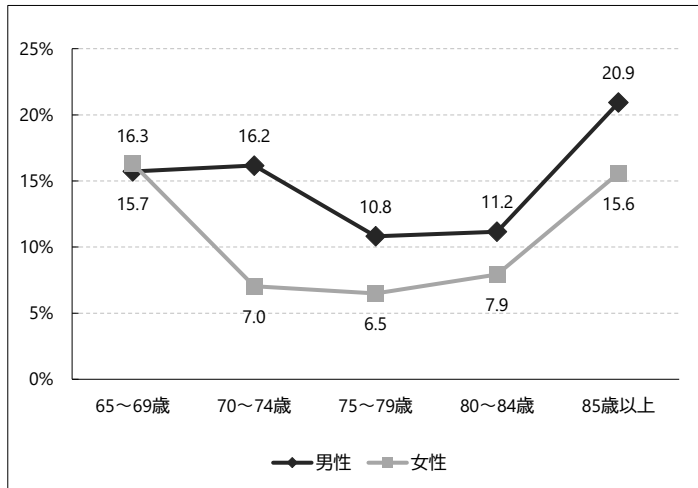
### (3) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(SA)

- ・自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについて、「はい」が 84.4%、「いいえ」が 13.0%となっている。
- ・圏域別の「いいえ」は、第3地区が 14.0%でその他の地区より高く、一方、第2地区は 12.0%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別で見ると、「いいえ（電話をかけていない人）」は、「65～69歳」をのぞく年齢で男性が女性より高くなっている。また、男女ともに「75～79歳」が特に低く、男性は 10.0%近くで女性は 10.0%を下回っているが、「80～84歳」以降は増加し、「85歳以上」の男性は 20.0%、女性は 15.0%を超えている。

■電話番号を調べて、電話をかけている【割合】 【圏域別割合】



■いいえ(電話をかけていない人)【年齢・性別割合】



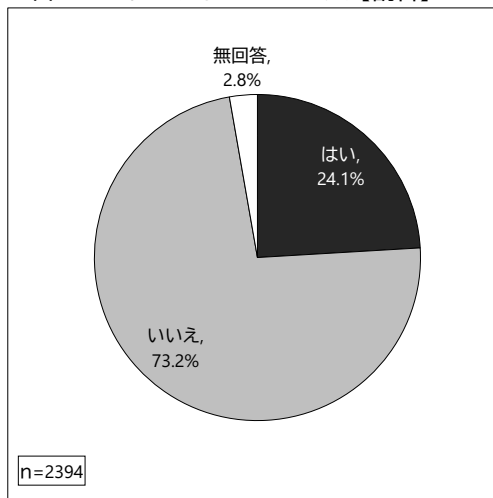
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	47	65	29	23	36
女性	23	15	15	15	36

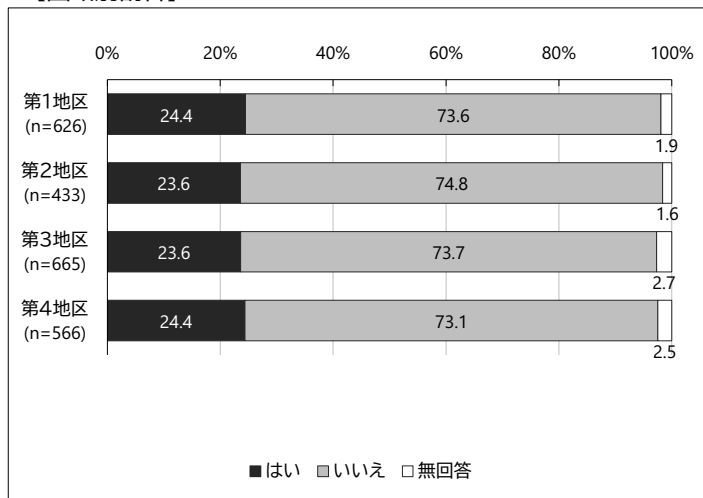
#### (4) 今日が何月何日かわからないときがありますか。(SA)

- ・今日が何月何日かわからないときがあるかについて、「はい」が24.1%、「いいえ」が73.2%となっている。
- ・圏域別の「はい」は、第1地区と第4地区がそれぞれ24.4%でその他の地区より高く、第2地区と第3地区がそれぞれ23.6%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「はい(日にちがわからないときがある人)」は、男女ともに「70～74歳」が特に低く、男性は20.0%を下回り、女性は15.0%を超える程度だが、「75～79歳」以降は増加傾向となり、「85歳以上」の女性は30.0%近くになり、男性は30.0%を超えている。

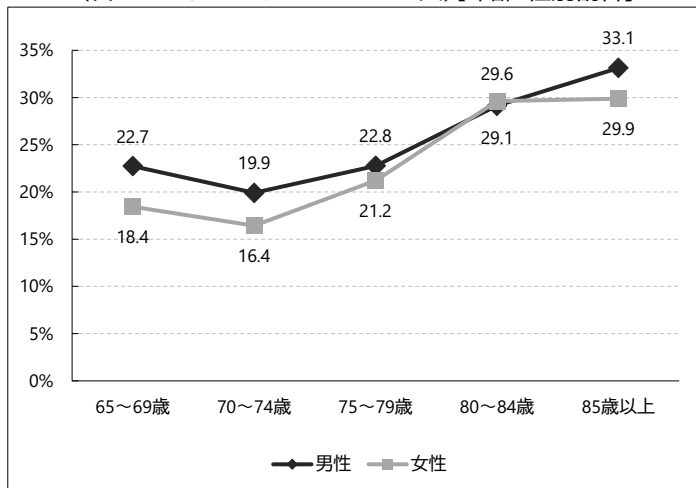
■日にちがわからないときがある【割合】



【圏域別割合】



■はい(日にちがわからないときがある人)【年齢・性別割合】



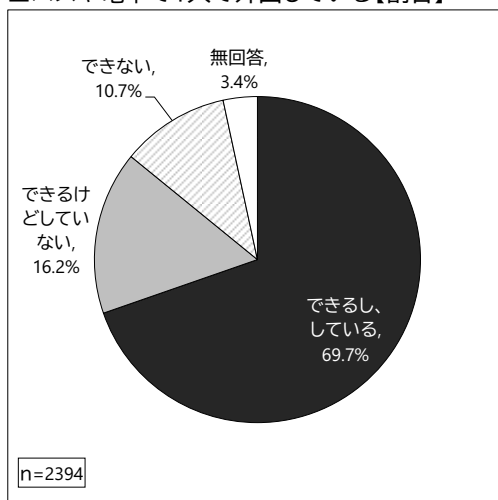
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	68	80	61	60	57
女性	26	35	49	56	69

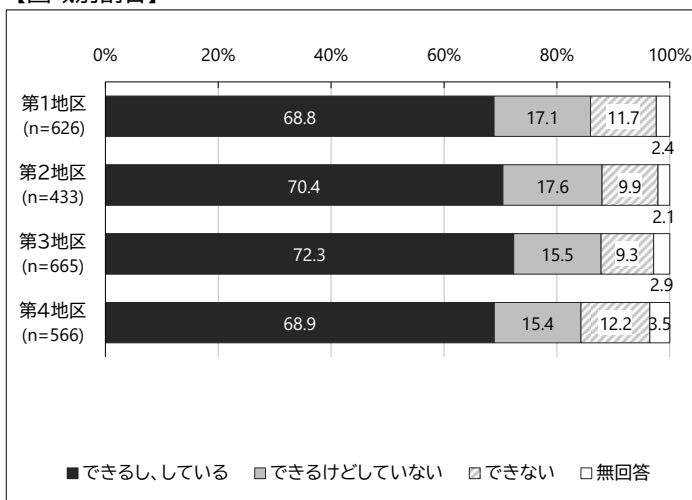
### (5) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(SA)

- ・バスや電車（自家用車でも可）を使って1人で外出しているかについて、「できるし、している」が69.7%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が16.2%、「できない」が10.7%となっている。
- ・圏域別の「できない」は、第4地区が12.2%でその他の地区より高く、一方、第3地区は9.3%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「できない（1人で外出「できない」人）」は、すべての年齢で女性が男性より高くなっている。また、男女ともに高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「85歳以上」で女性は35.0%、男性は20.0%を超えている。

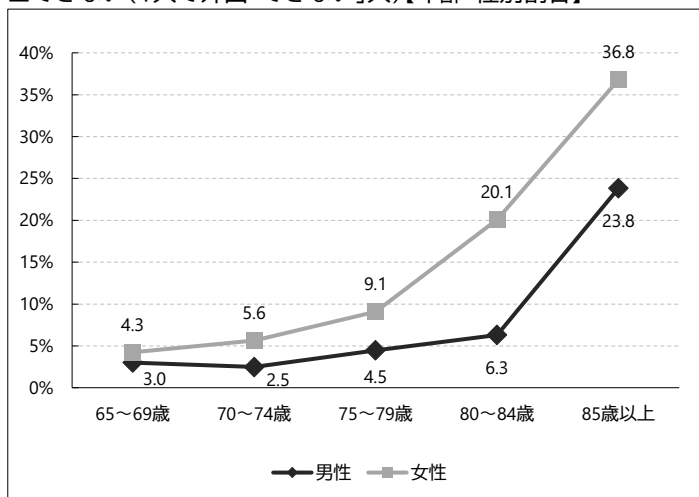
■バスや電車で1人で外出している【割合】



【圏域別割合】



■できない(1人で外出「できない」人)【年齢・性別割合】



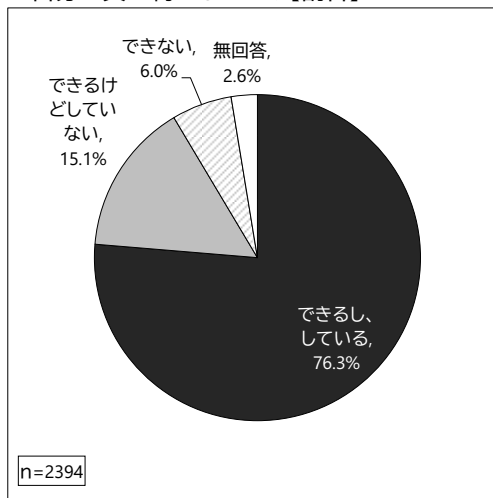
【実数】(単位:人)

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	9	10	12	13	41
女性	6	12	21	38	85

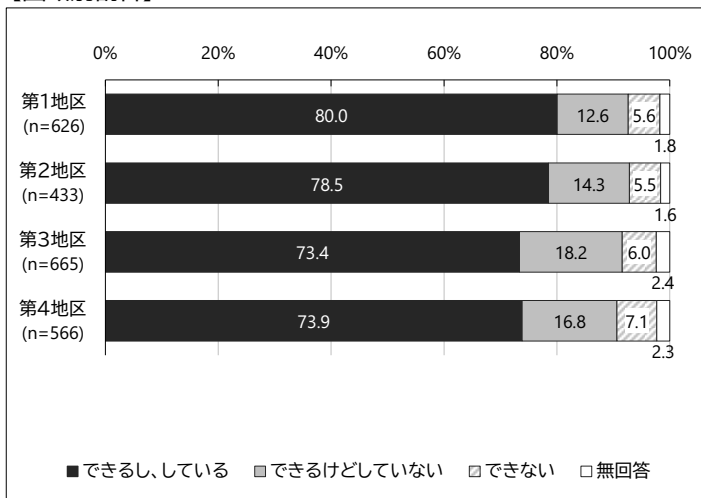
## (6) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(SA)

- ・自分で食品・日用品の買い物をしているかについて、「できるし、している」が76.3%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が15.1%、「できない」が6.0%となっている。
- ・圏域別の、「できない」は、第4地区が7.1%でその他の地区より高く、一方、第2地区は5.5%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「できない(買い物を「できない」人)」は、女性の「70～74歳」以降と男性のすべての年齢で、高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「85歳以上」で女性は20.0%を超え、男性は15.0%近くになっている。

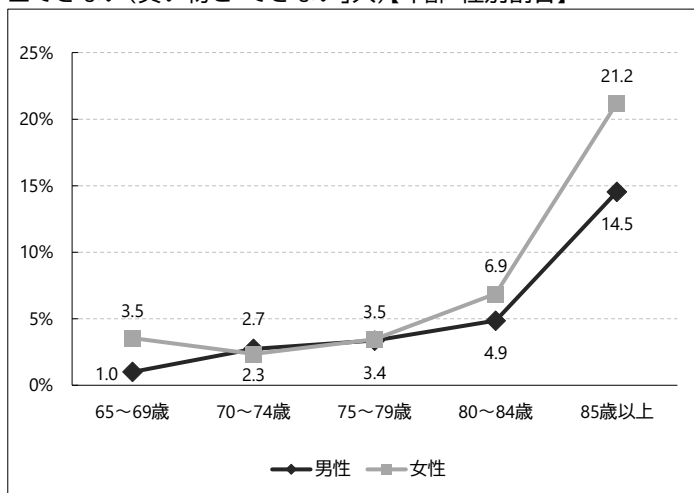
■自分で買い物をしている【割合】



【圏域別割合】



■できない(買い物を「できない」人)【年齢・性別割合】



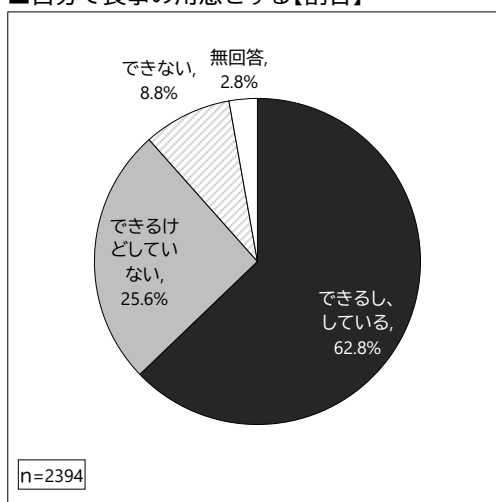
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	3	11	9	10	25
女性	5	5	8	13	49

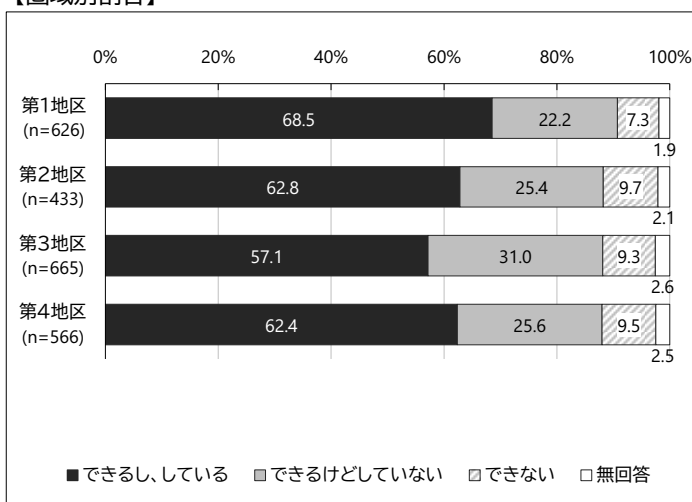
## (7) 自分で食事の用意をしていますか。(SA)

- ・自分で食事の用意をしているかについて、「できるし、している」が62.8%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が25.6%、「できない」が8.8%となっている。
- ・圏域別の「できない」は、第2地区が9.7%でその他の地区より高く、一方、第1地区は7.3%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「できない(食事を用意「できない」人)」は、すべての年齢で男性が女性よりも高くなっている。また、女性は「70～74歳」以降、男性はすべての年齢で、高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「85歳以上」で男性は20.0%、女性は10.0%を超えている。

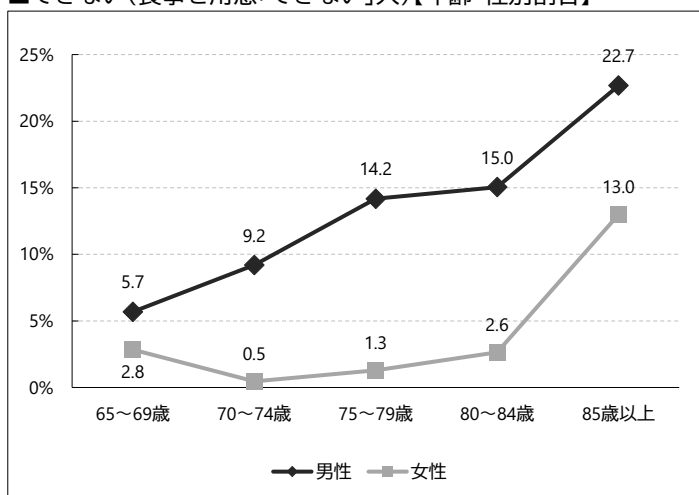
■自分で食事の用意をする【割合】



【圏域別割合】



■できない(食事を用意「できない」人)【年齢・性別割合】



【実数】(単位:人)

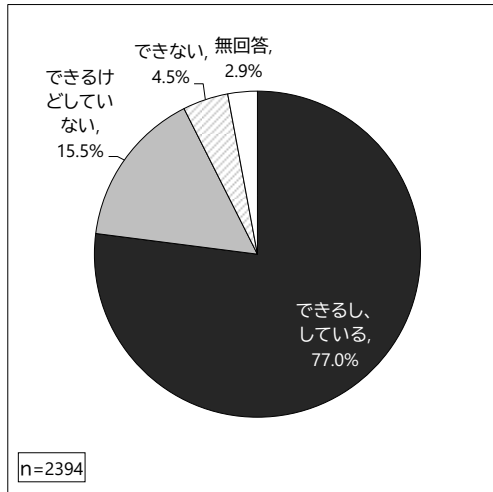
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	17	37	38	31	39
女性	4	1	3	5	30



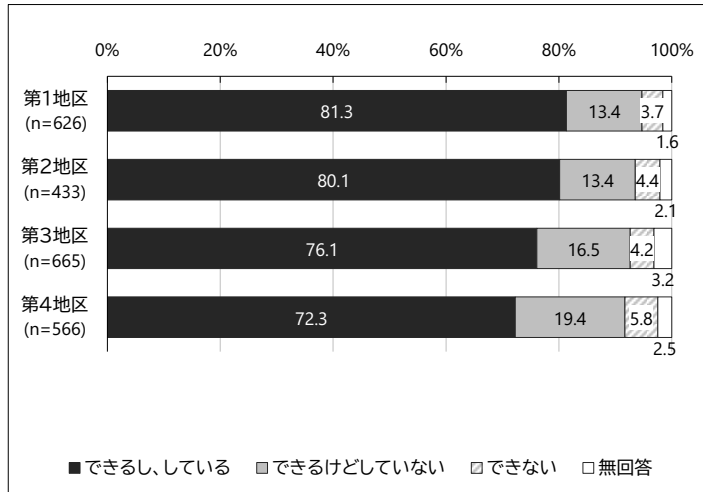
## (8) 自分で請求書の支払いをしていますか。(SA)

- ・自分で請求書の支払いをしているかについて、「できるし、している」が77.0%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が15.5%、「できない」が4.5%となっている。
- ・圏域別の「できない」は、第4地区が5.8%でその他の地区より高く、一方、第1地区は3.7%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「できない(支払いが「できない」人)」は、男女ともに「80～84歳」までは10.0%を下回る程度だが、「85歳以上」では男女ともに10.0%を超えている。

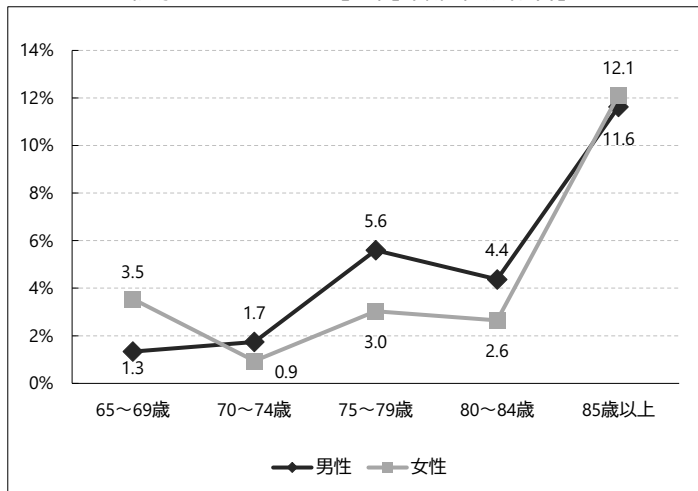
■請求書の支払いをする【割合】



【圏域別割合】



■できない(支払いが「できない」人)【年齢・性別割合】



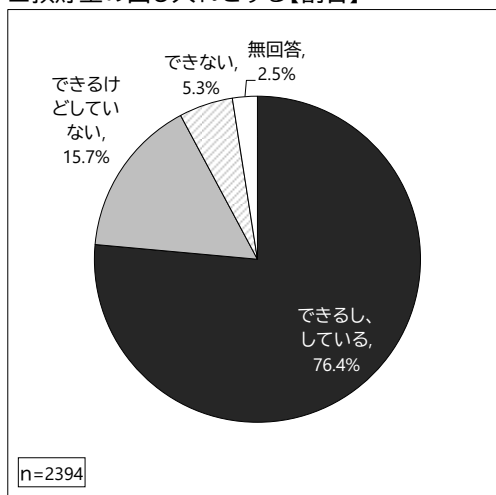
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	4	7	15	9	20
女性	5	2	7	5	28

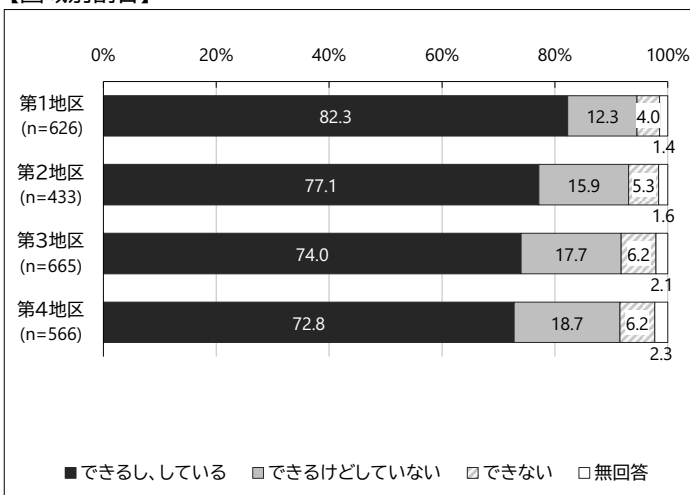
### (9) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(SA)

- ・自分で預貯金の出し入れをしているかについて、「できるし、している」が76.4%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が15.7%、「できない」が5.3%となっている。
- ・圏域別の「できない」は、第3地区と第4地区がそれぞれ6.2%でその他の地区より高く、一方、第1地区は4.0%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「できない（預貯金の出し入れが「できない」人）は、男女ともに「80～84歳」までは10.0%を下回る程度だが、「85歳以上」では男女ともに10.0%を超えている。

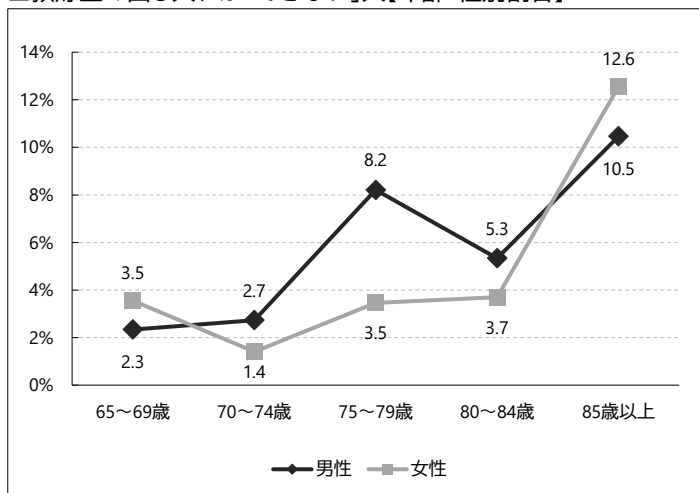
■預貯金の出し入れをする【割合】



【圏域別割合】



■預貯金の出し入れが「できない」人【年齢・性別割合】



【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	7	11	22	11	18
女性	5	3	8	7	29

## ⑤ IADL※の評価

### IADL の評価の定義

問4の(5)～(9)において該当する選択肢(下の表の網掛けの箇所)にそれぞれ回答した場合を1点とし、5点満点で採点した。

本報告書では、IADLの評価について、5点満点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と定義した。

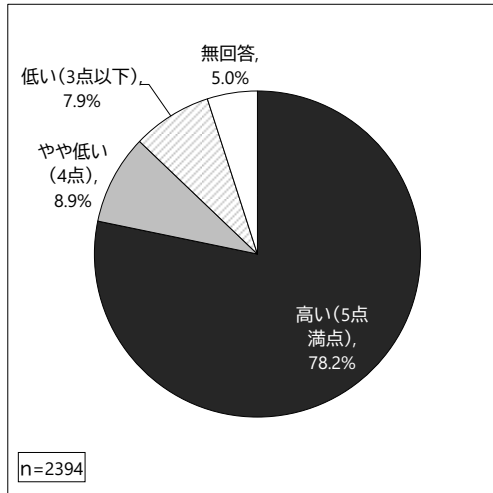
なお、(5)～(9)すべての設問に回答した人のみを対象とし、それ以外は「無回答」とした。

No.	設問内容	選択肢
(5)	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	1. できるし、している
		2. できるけどしていない
		3. できない
(6)	自分で食品・日用品の買い物をしていますか	1. できるし、している
		2. できるけどしていない
		3. できない
(7)	自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している
		2. できるけどしていない
		3. できない
(8)	自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している
		2. できるけどしていない
		3. できない
(9)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している
		2. できるけどしていない
		3. できない

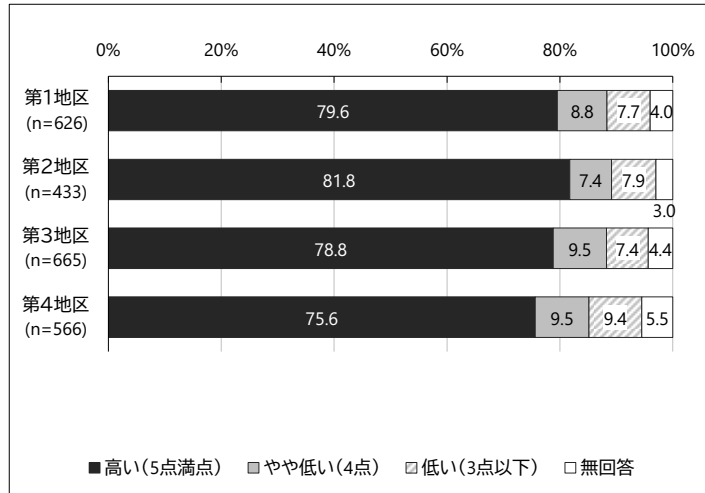
※IADLとは、「Instrumental Activities of Daily Living」の略で、手段的日常生活動作(手段的ADL)という。着替えやトイレ動作、歩くことなどの「基本的な動作」を自力でどの程度できるか示す基準をADLといい、対して、買い物や屋外での生活などの「応用的な動作」を自力でどの程度できるか示す基準をIADLという。

- ・ IADL に関して、「高い (5 点満点)」が 78.2% で最も高く、次いで「やや低い (4 点)」が 8.9%、「低い (3 点以下)」が 7.9% となっている。
- ・ 圏域別の「低い (3 点以下)」は、第 4 地区が 9.4% でその他の地区より高く、一方、第 3 地区は 7.4% でその他の地区より低くなっている。
- ・ 年齢別の結果を性別でみると、「低い (3 点以下) (評価が低い人)」は、男女ともに高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「80~84 歳」までは 10.0% を下回る程度だが、「85 歳以上」では男女ともに 20.0% を超えている。

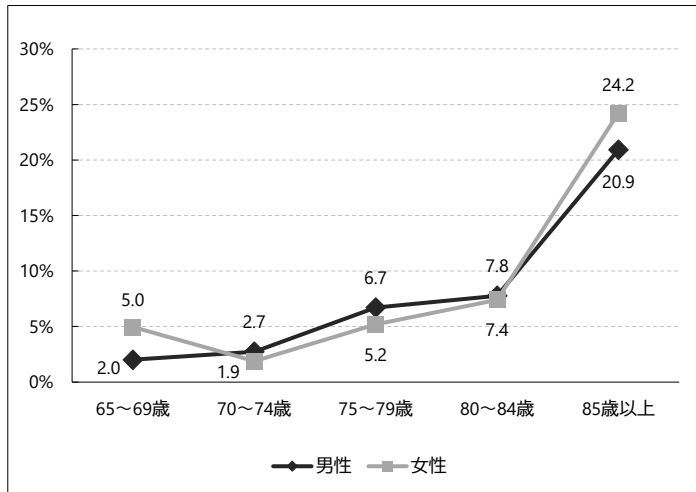
■ IADL の評価【割合】



【圏域別割合】



■ 評価が低い人※【年齢・性別割合】



※問4の(5)~(9)において該当する選択肢 (前頁票の網掛けの箇所) に回答した場合を 1 点とし、合計点数が 3 点以下の人

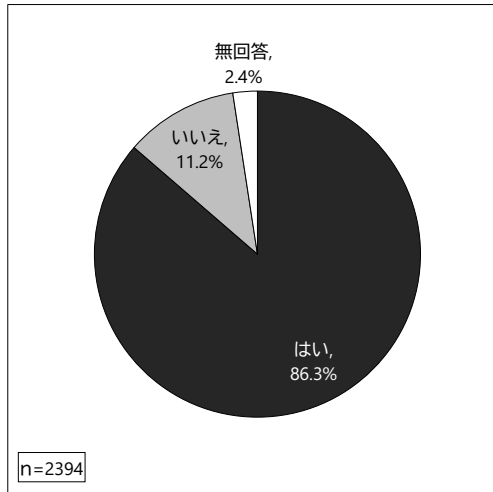
【実数】(単位:人)

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	6	11	18	16	36
女性	7	4	12	14	56

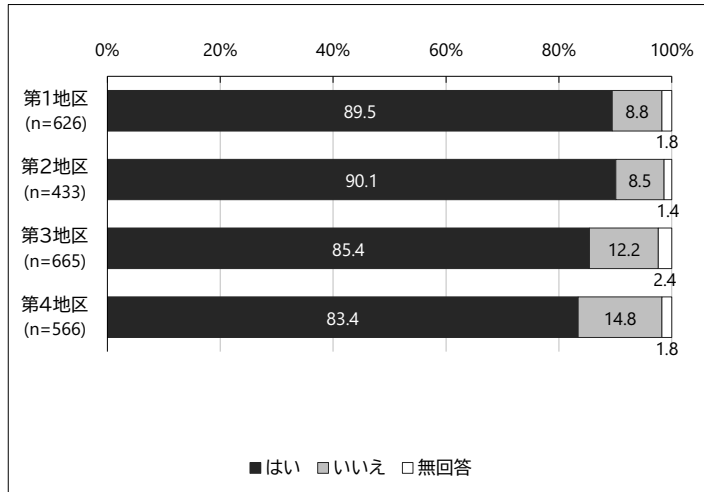
(10) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(SA)

- ・年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けているかについて、「はい」が86.3%、「いいえ」が11.2%となっている。
- ・圏域別の「いいえ」は、第4地区が14.8%でその他の地区より高く、一方、第2地区は8.5%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「いいえ(書けない人)」は、男女ともに「80~84歳」までは15.0%を下回る程度だが、「85歳以上」は女性が30.0%近くになり、男性は20.0%を超えている。

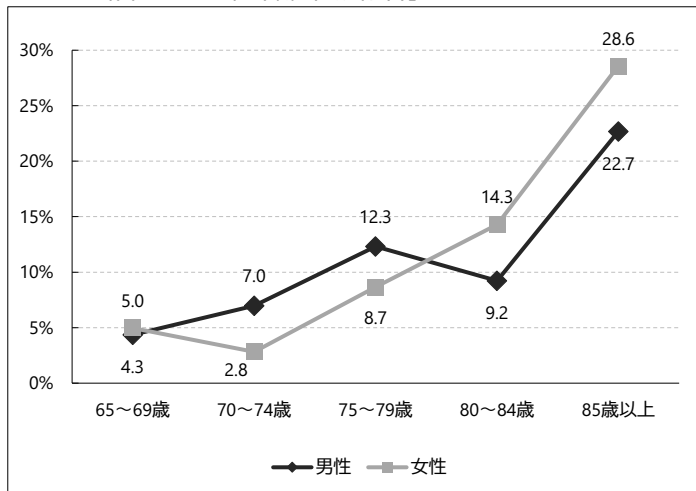
■書類が書ける【割合】



【圏域別割合】



■いいえ(書けない人)【年齢・性別割合】



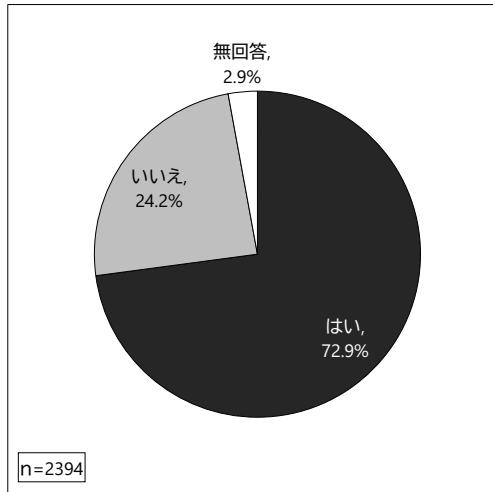
【実数】(単位:人)

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	13	28	33	19	39
女性	7	6	20	27	66

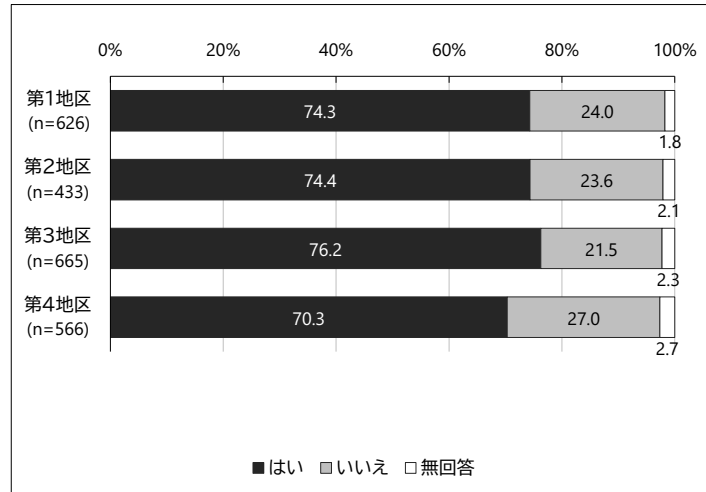
## (11) 新聞を読んでいますか。(SA)

- ・新聞を読んでいるかについて、「はい」が72.9%、「いいえ」が24.2%となっている。
- ・圏域別の「いいえ」は、第4地区が27.0%でその他の地区より高く、一方、第3地区は21.5%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「いいえ(読んでいない人)」は、すべての年齢で女性が男性より高くなっている。また、男女ともに高齢になるほど低くなる傾向がうかがえ、「85歳以上」で女性は20.0%、男性は15.0%を下回っている。

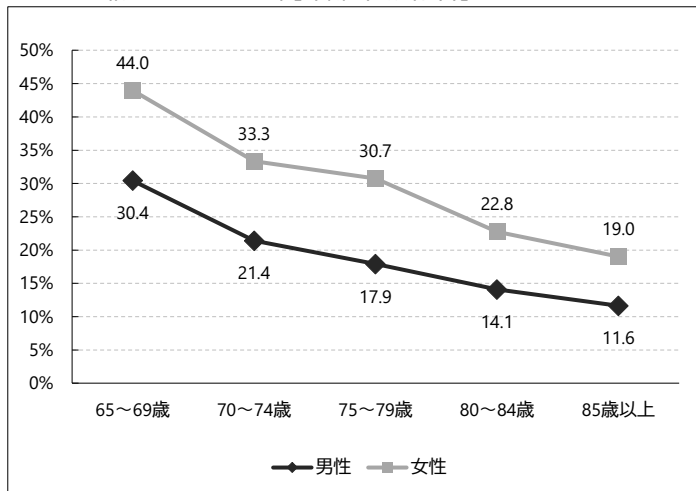
■新聞を読んでいる【割合】



【圏域別割合】



■いいえ(読んでいない人)【年齢・性別割合】



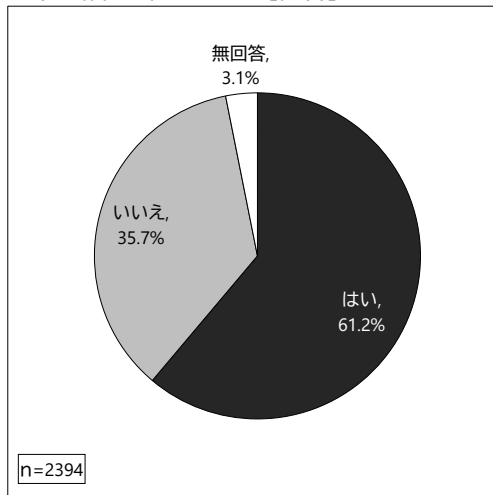
【実数】(単位:人)

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	91	86	48	29	20
女性	62	71	71	43	44

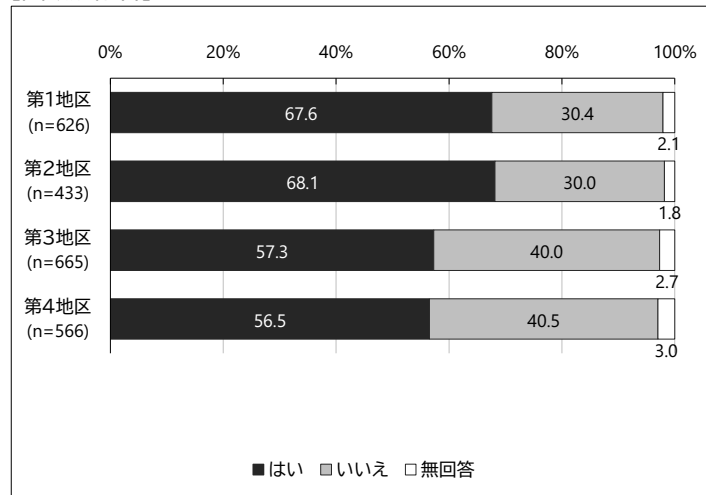
## (12) 本や雑誌を読んでいますか。(SA)

- ・本や雑誌を読んでいるかについて、「はい」が61.2%、「いいえ」が35.7%となっている。
- ・圏域別の「いいえ」は、第4地区が40.5%でその他の地区より高く、一方、第2地区は30.0%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「いいえ(読んでない人)」は、すべての年齢で男性が女性より高くなっている。また、女性はすべての年齢で30.0%前後で、男性は35.0%～50.0%の間となっている。

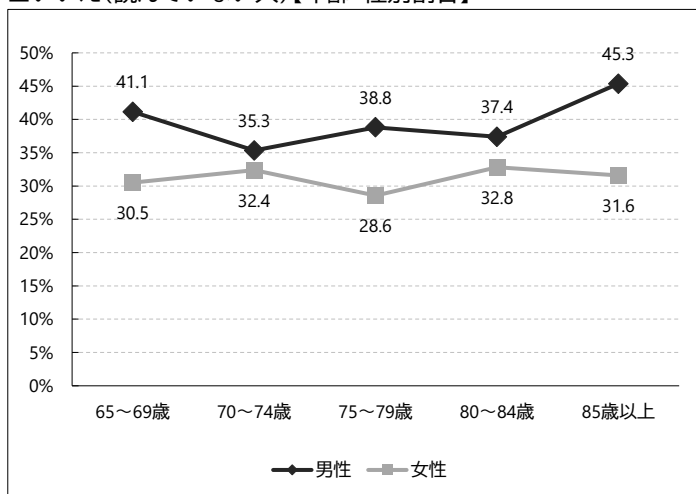
■本や雑誌を読んでいる【割合】



【圏域別割合】



■いいえ(読んでない人)【年齢・性別割合】



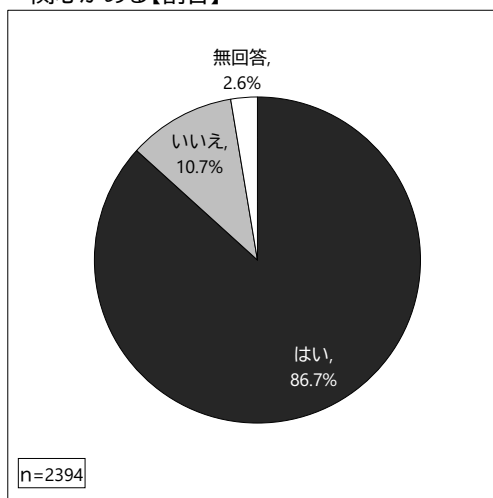
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	123	142	104	77	78
女性	43	69	66	62	73

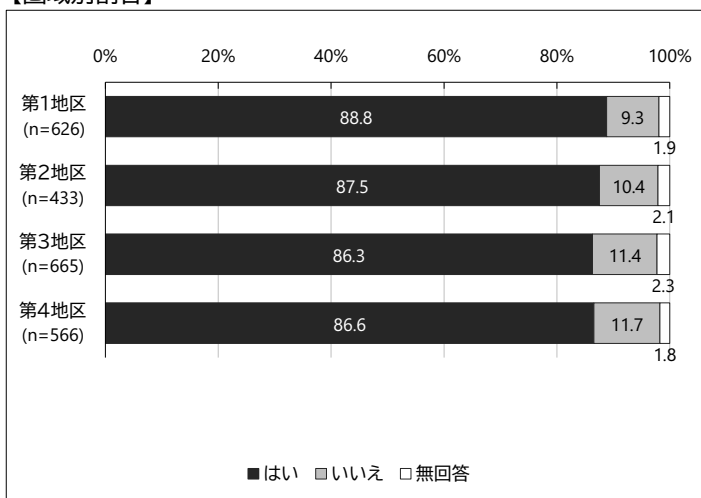
### (13) 健康についての記事や番組に関心がありますか。(SA)

- 健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい」が86.7%、「いいえ」が10.7%となっている。
- 圏域別の「いいえ」は、第4地区が11.7%でその他の地区より高く、一方、第1地区は9.3%でその他の地区より低くなっている。
- 年齢別の結果を性別で見ると、「いいえ(関心がない人)」は、すべての年齢で男性が女性より高くなっている。また、男性は「65～69歳」で15.0%を超えた後、「80～84歳」では10.0%にまで減少し、再び「85歳以上」で高くなり15.0%を上回っている。一方、女性はすべての年齢で10.0%を下回っている。

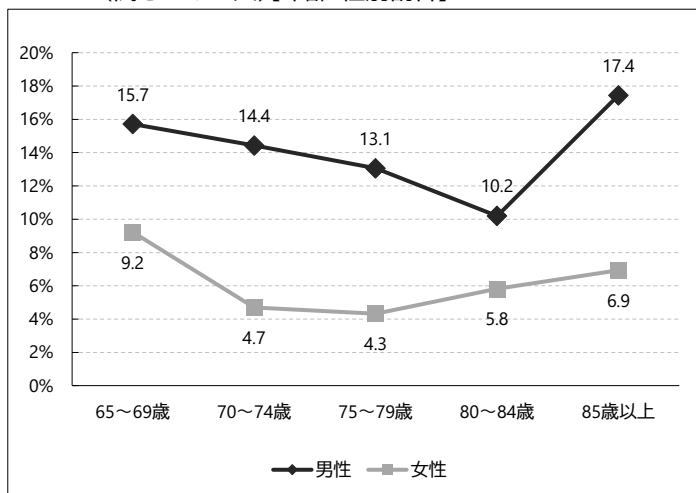
#### 健康についての記事や番組に関心がある【割合】



#### 【圏域別割合】



#### いいえ(関心がない人)【年齢・性別割合】



#### 【実数】(単位:人)

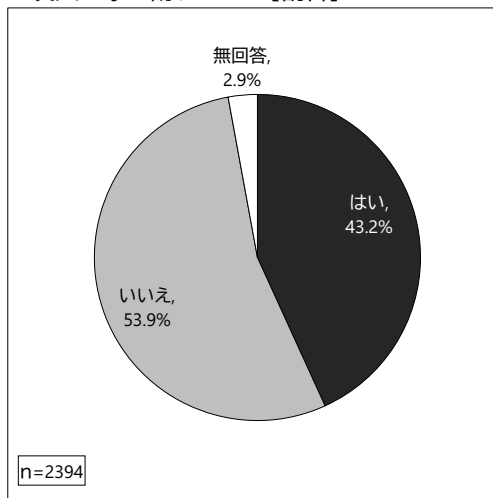
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	47	58	35	21	30
女性	13	10	10	11	16



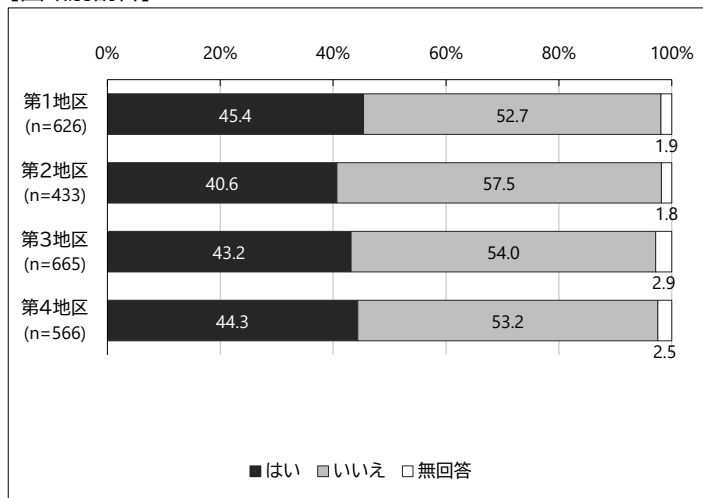
## (14) 友人の家を訪ねていますか。(SA)

- ・友人の家を訪ねているかについて、「はい」が43.2%、「いいえ」が53.9%となっている。
- ・圏域別の「いいえ」は、第2地区が57.5%でその他の地区より高く、一方、第1地区は52.7%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「いいえ（訪ねていない人）」は、すべての年齢で男性が女性より高くなっている。また、男性は、「80～84歳」まではおおむね60.0%前後だが、「85歳以上」で70.0%を超えている。女性も「80～84歳」まではおおむね40.0%前後だが、「85歳以上」で55.0%を超えている。

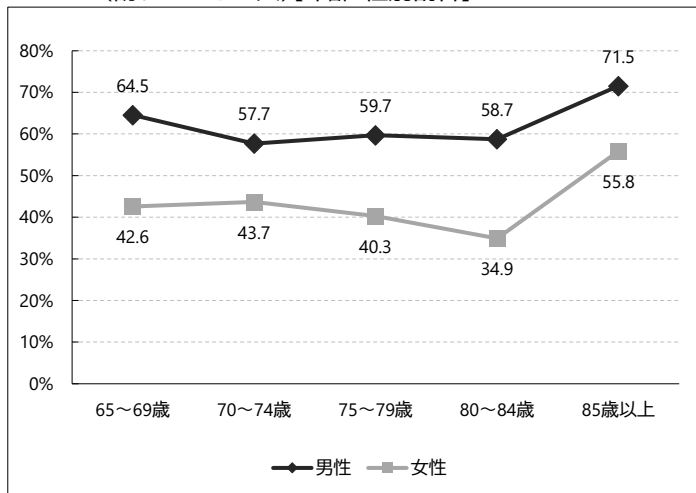
■友人の家を訪ねている【割合】



【圏域別割合】



■いいえ(訪ねていない人)【年齢・性別割合】



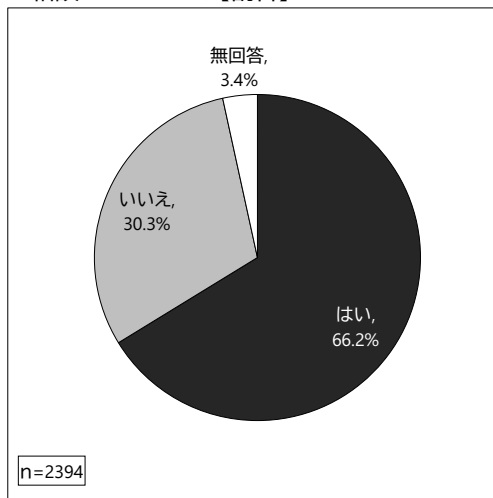
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	193	232	160	121	123
女性	60	93	93	66	129

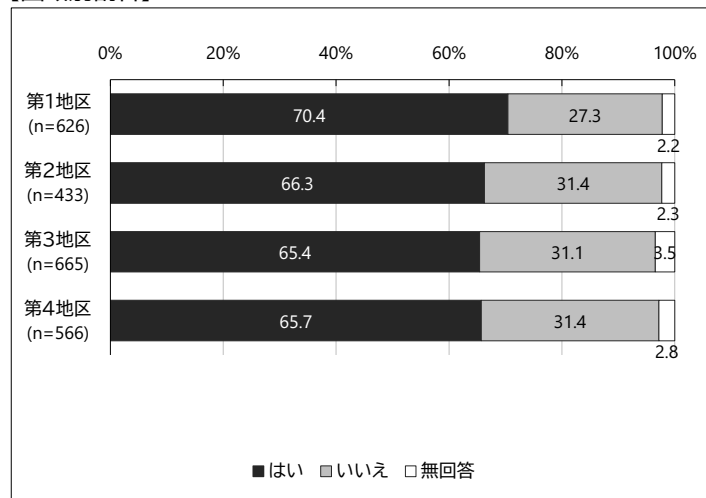
## (15) 家族や友人の相談にのっていますか。(SA)

- ・ 家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」が66.2%、「いいえ」が30.3%となっている。
- ・ 圏域別の「いいえ」は、第2地区と第4地区がそれぞれ31.4%でその他の地区より高く、一方、第1地区は27.3%でその他の地区より低くなっている。
- ・ 年齢別の結果を性別でみると、「いいえ(相談にのっていない人)」は、すべての年齢で男性が女性より高くなっている。また、男女ともに高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、男性は「80～84歳」までは35.0%を下回っているが、「85歳以上」では40.0%を超えている。女性は「75～79歳」までは20.0%前後だが、「80～84歳」で30.0%を超え、「85歳以上」では40.0%近くになっている。

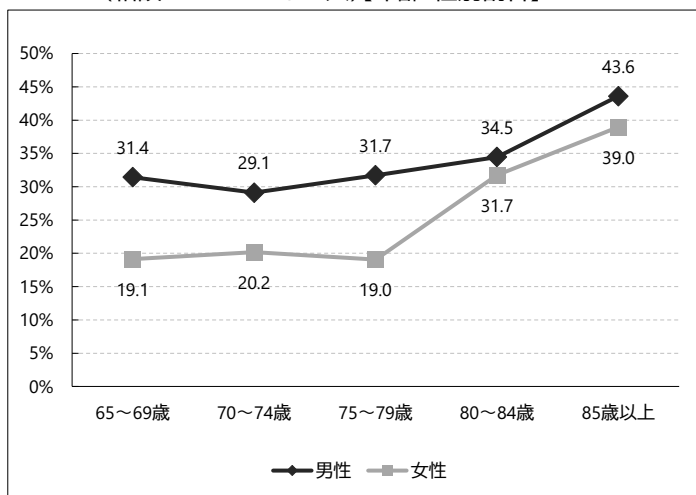
■相談にのっている【割合】



【圏域別割合】



■いいえ(相談にのっていない人)【年齢・性別割合】



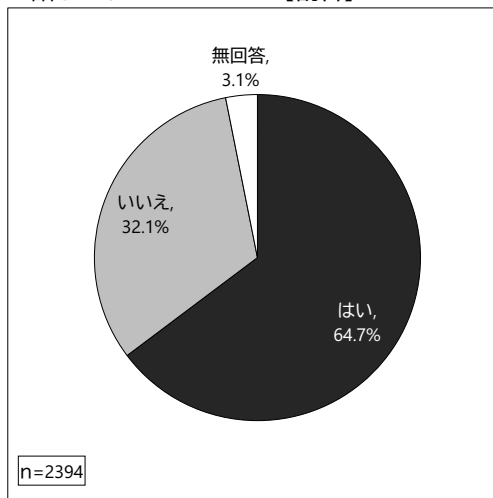
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	94	117	85	71	75
女性	27	43	44	60	90

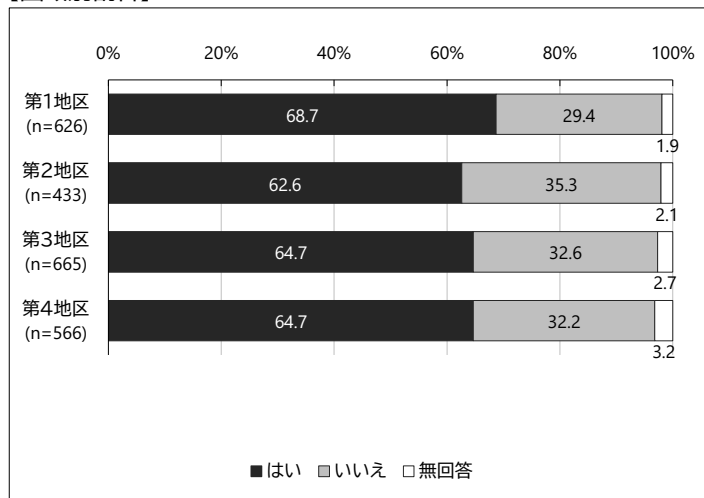
## (16) 若い人に自分から話しかけることがありますか。(SA)

- ・若い人に自分から話しかけることがあるかについて、「はい」が64.7%、「いいえ」が32.1%となっている。
- ・圏域別の、「いいえ」は、第2地区が35.3%でその他の地区より高く、一方、第1地区は29.4%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別で見ると、「いいえ(話しかけることがない人)」は、すべての年齢で男性が女性より高くなっている。また、男性は「80~84歳」までおおむね35.0%前後だが、「85歳以上」では40.0%を超えている。女性はすべての年齢で30.0%を下回っている。

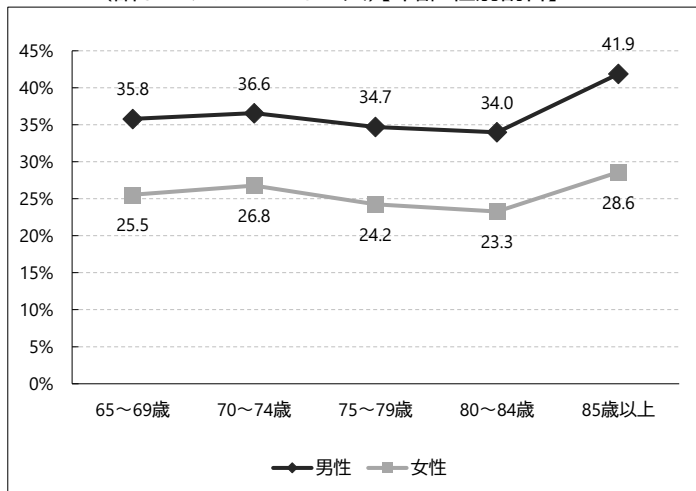
■話しかけることができる【割合】



【圏域別割合】



■いいえ(話しかけることがない人)【年齢・性別割合】



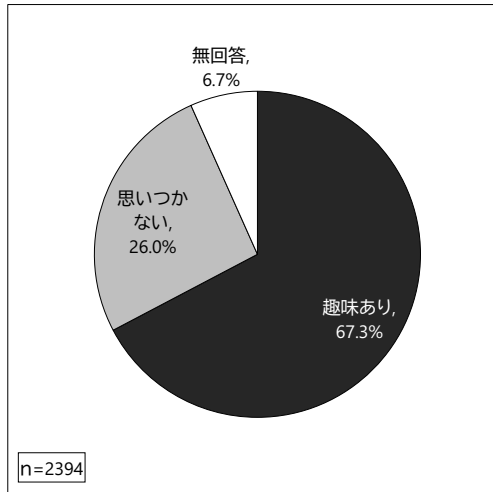
【実数】(単位:人)

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	107	147	93	70	72
女性	36	57	56	44	66

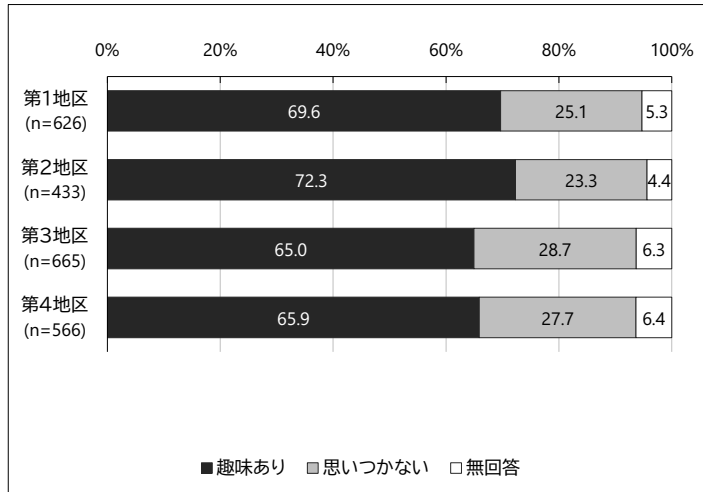
## (17) 趣味はありますか。(SA)

- ・趣味はあるかについて、「趣味あり」が67.3%、「思いつかない」が26.0%となっている。
- ・圏域別の「思いつかない」は、第3地区が28.7%でその他の地区より高く、一方、第2地区は23.3%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「(趣味が) 思いつかない」は、男女ともに「80～84歳」までは30.0%を下回っている。しかし、「85歳以上」では男性が継続して30.0%を下回るのに対して、女性は30.0%を超えている。

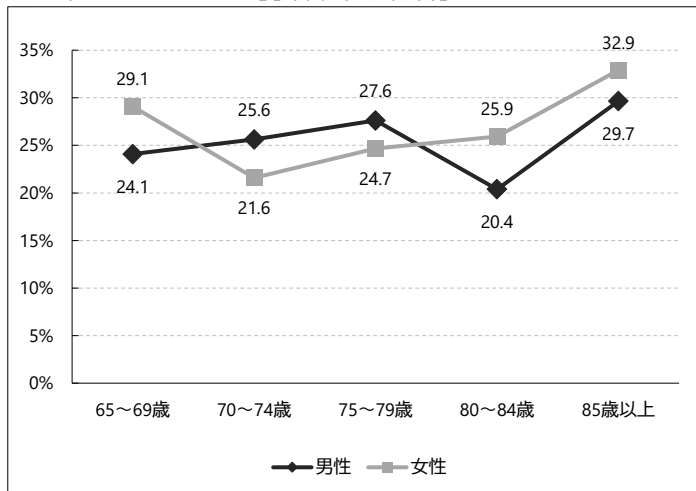
■趣味がある【割合】



【圏域別割合】



■趣味が「思いつかない」【年齢・性別割合】



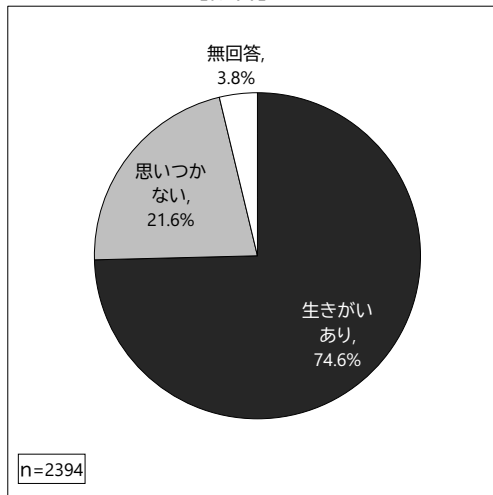
【実数】(単位:人)

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	72	103	74	42	51
女性	41	46	57	49	76

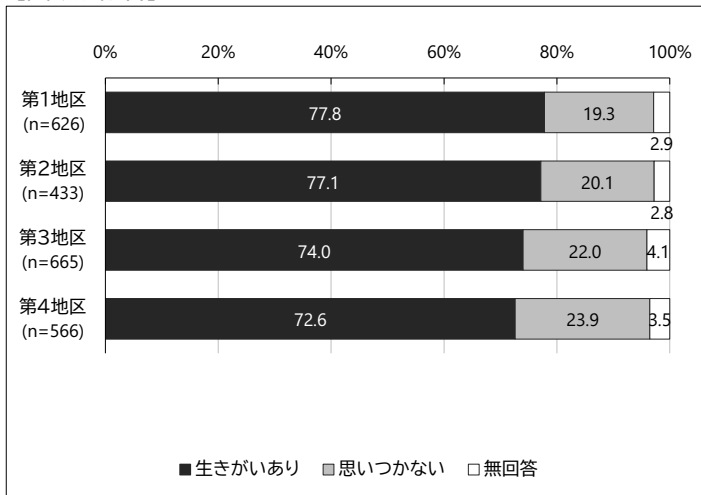
## (18) 生きがいがありますか。(SA)

- ・ 生きがいがあるかについて、「生きがいあり」が74.6%、「思いつかない」が21.6%となっている。
- ・ 圏域別の「思いつかない」は、第4地区が23.9%でその他の地区より高く、一方、第1地区は19.3%でその他の地区より低くなっている。
- ・ 年齢別の結果を性別でみると、「(生きがい) 思いつかない」は、男女ともにすべての年齢で15.0%～25.0%の間となっている。

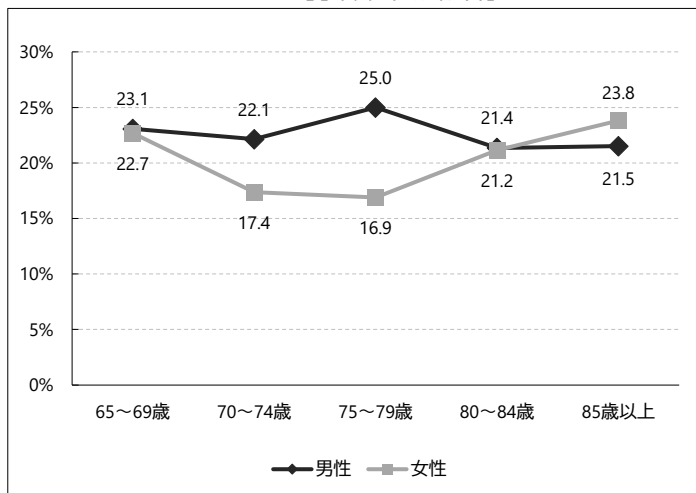
■生きがいがある【割合】



【圏域別割合】



■生きがい「思いつかない」【年齢・性別割合】



【実数】(単位:人)

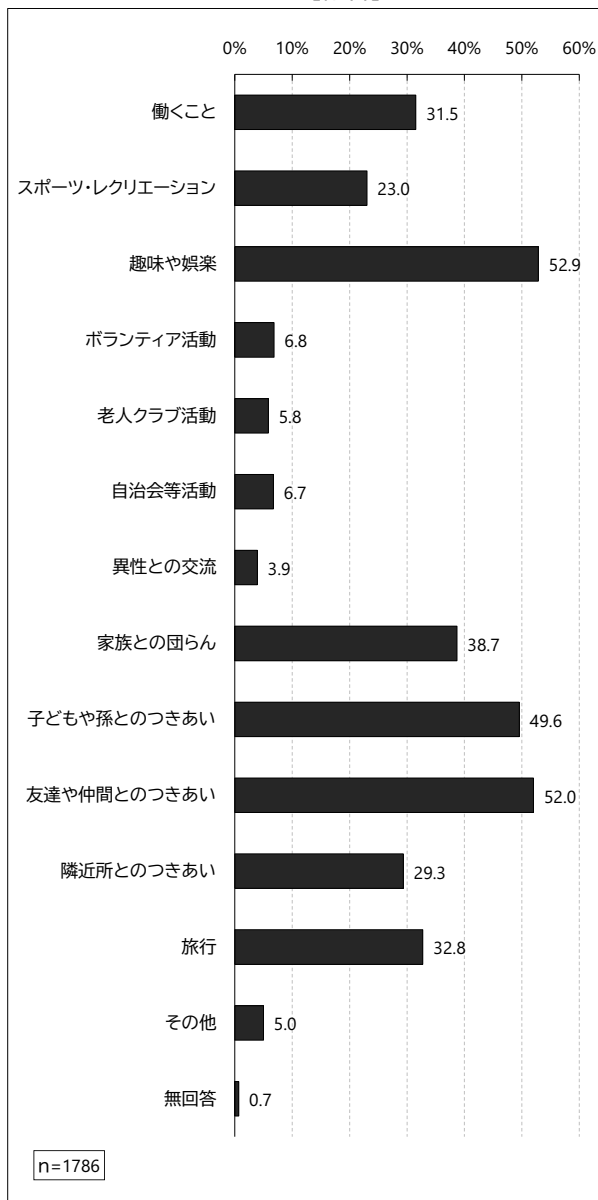
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	69	89	67	44	37
女性	32	37	39	40	55

(18)で「生きがいあり」の方のみ

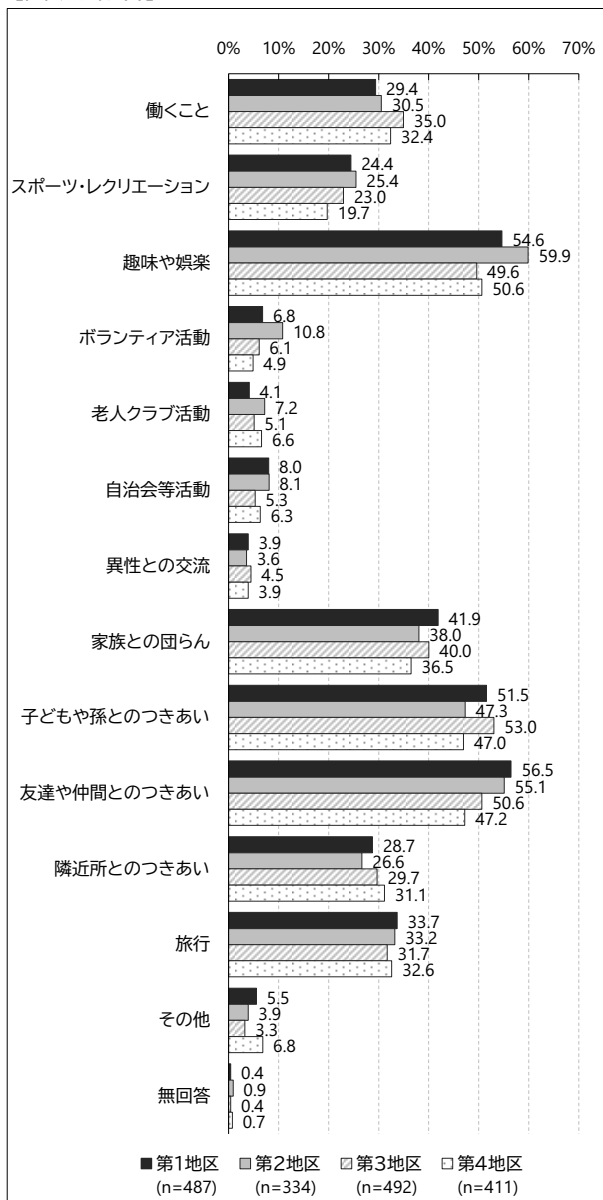
(18)-① あなたが生きがいを感じていることはどんなことですか。(MA)

- ・生きがいを感じていることはどんなことかについて、「趣味や娯楽」が52.9%で最も高く、次いで「友達や仲間とのつきあい」が52.0%、「子どもや孫とのつきあい」が49.6%となっている。
- ・圏域別の「趣味や娯楽」は、第2地区が59.9%で特に高く、特に低い第3地区の49.6%と比べて10.0%以上の差がある。「友達や仲間とのつきあい」は、第1地区が56.5%でその他の地区より高くなっている。「子どもや孫とのつきあい」は、第3地区が53.0%でその他の地区より高くなっている。

■生きがいを感じていること【割合】

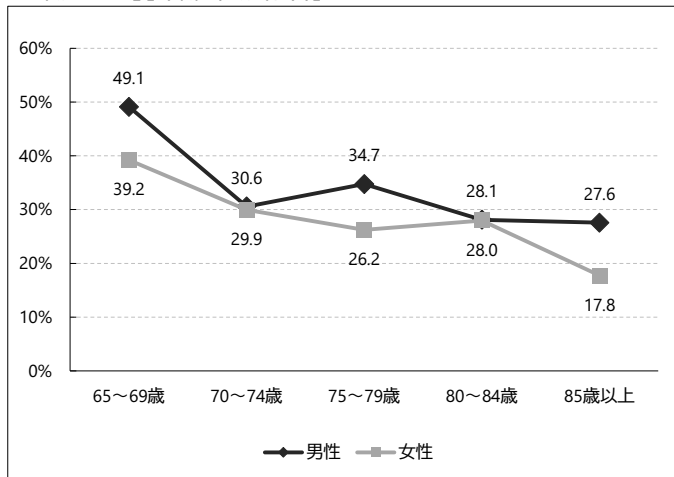


【圏域別割合】



- ・年齢別の結果を性別でみると、「働くこと」は、すべての年齢で男性が女性より高くなっている。また、男性の「65～69歳」は50.0%に近く高いが、「70～74歳」以降は35.0%を下回り、「80～84歳」以降は30.0%を下回っている。女性の「65～69歳」も40.0%近く高いが、「75～79歳」以降は30.0%を下回り、「85歳以上」では20.0%を下回っている。
- ・「友達や仲間とのつきあい」は、すべての年齢で女性が男性より高くなっている。女性は、「75～79歳」が特に高く75.0%を超えるが、ほかの年齢ではおおむね60.0%前後となっている。男性は、「80～84歳」まではおおむね50.0%前後だが、「85歳以上」は30.0%を下回り低くなっている。

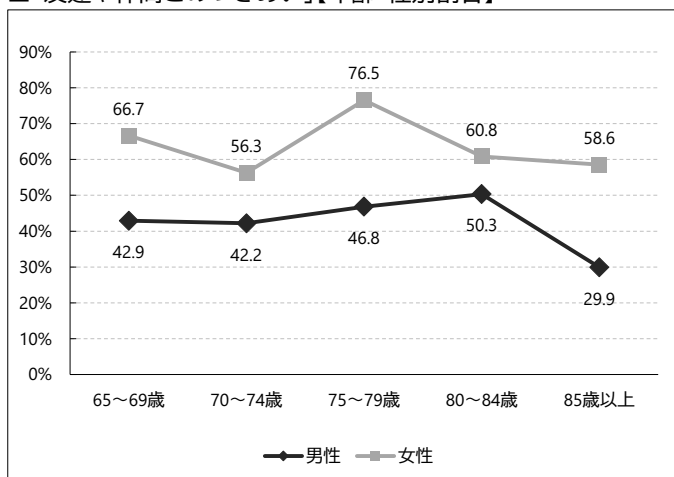
■「働くこと」【年齢・性別割合】



【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	111	92	66	43	35
女性	40	50	48	40	30

■「友達や仲間とのつきあい」【年齢・性別割合】



【実数】(単位:人)

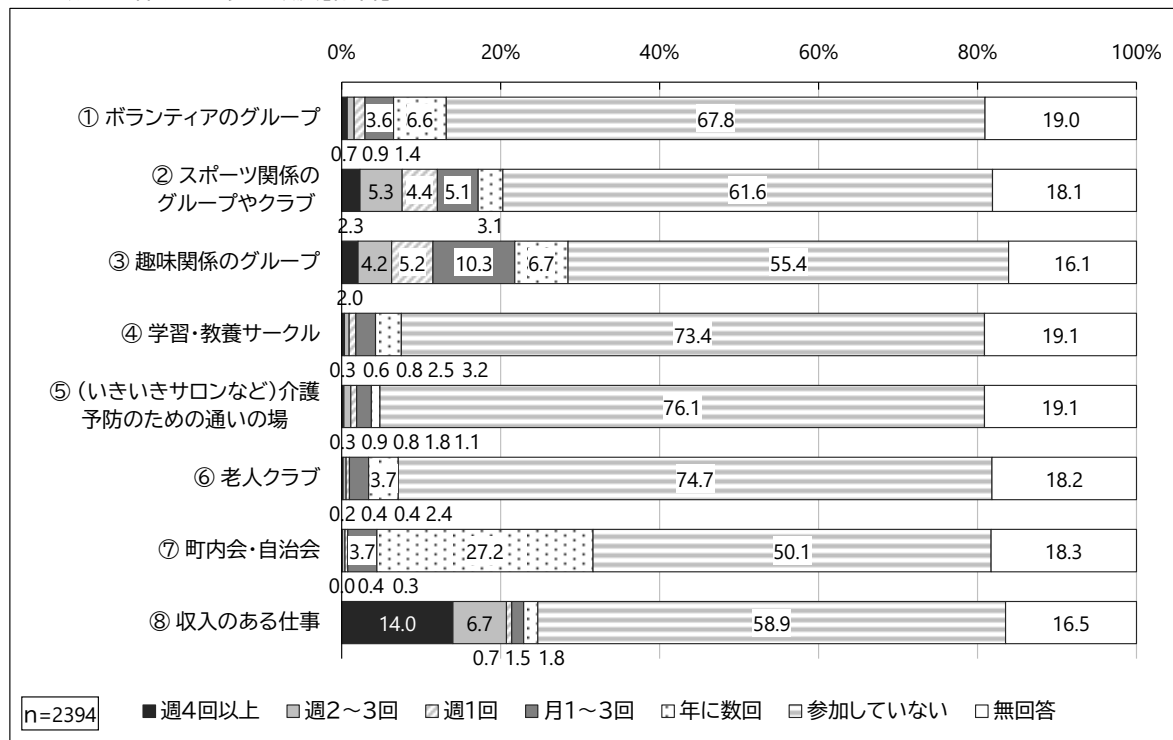
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	97	127	89	77	38
女性	68	94	140	87	99

## 問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

- ・地域での活動への参加頻度について、「参加していない」は「⑤（いきいきサロンなど）介護予防のための通いの場」が76.1%で最も高く、次いで「⑥老人クラブ」が74.7%、「④学習・教養サークル」が73.4%となっている。
- ・『参加している（「参加していない」以外に回答した人）』は「⑦町内会・自治会」が31.6%と最も高く、また、『月に1回以上の参加（「年に数回」と「参加していない」以外に回答した人）』は「収入のある仕事」が22.9%で最も高くなっている。

■地域での活動への参加頻度【割合】

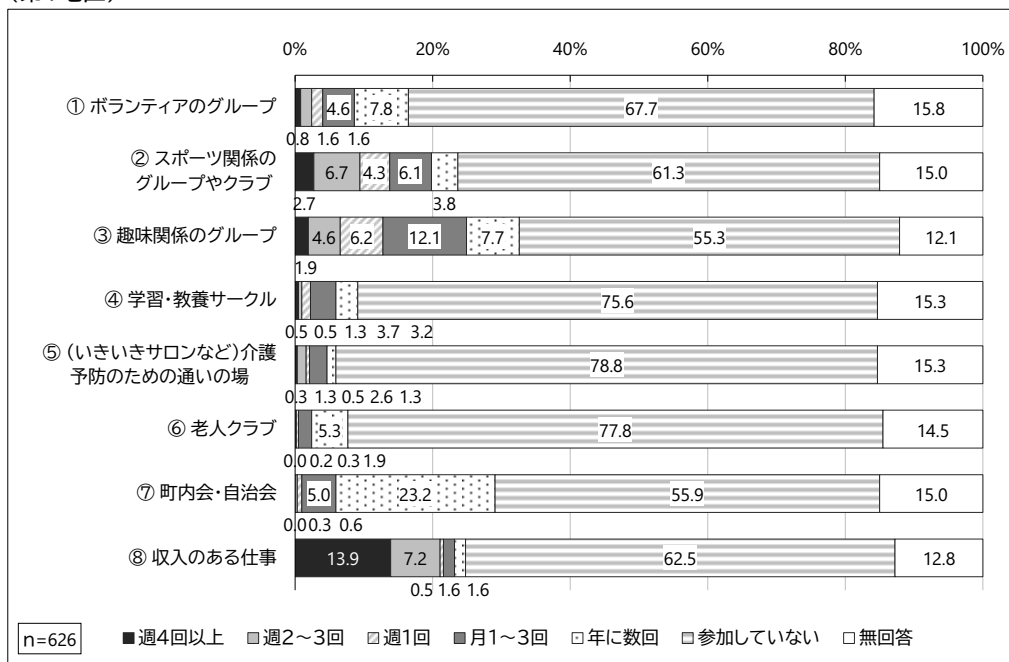




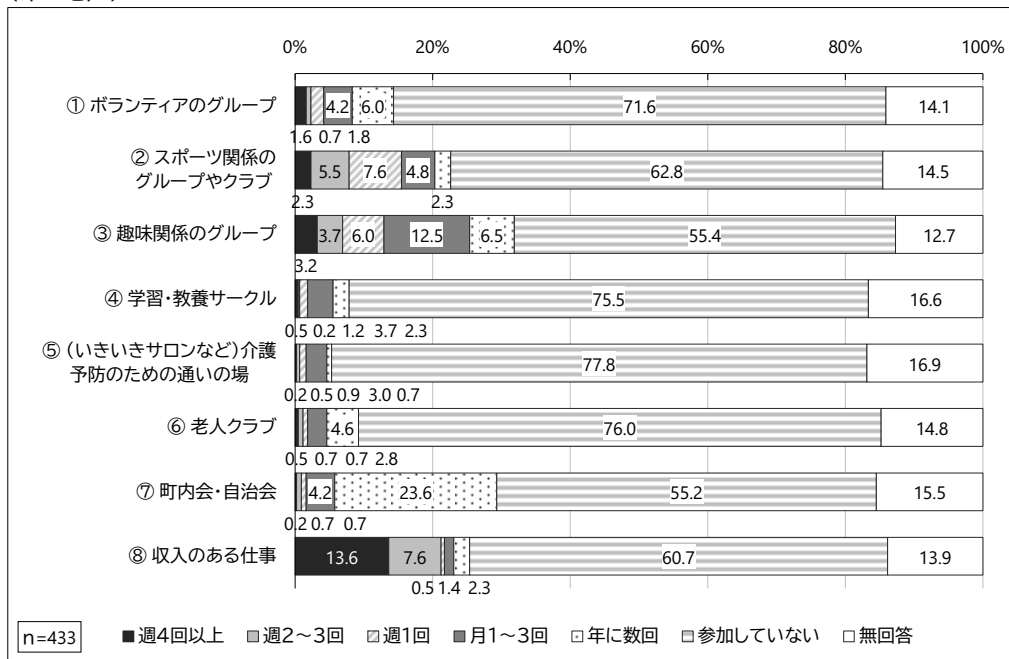
- ・圏域別の「⑦町内会・自治会」への参加頻度は、第3地区が39.9%でその他の地区より高く、一方、第4地区は28.8%でその他の地区より低くなっている。
- ・「収入のある仕事」への参加頻度は、第3地区が27.0%でその他の地区より高く、一方、第4地区は23.3%でその他の地区より低くなっている。

■地域での活動への参加頻度【圏域別割合】

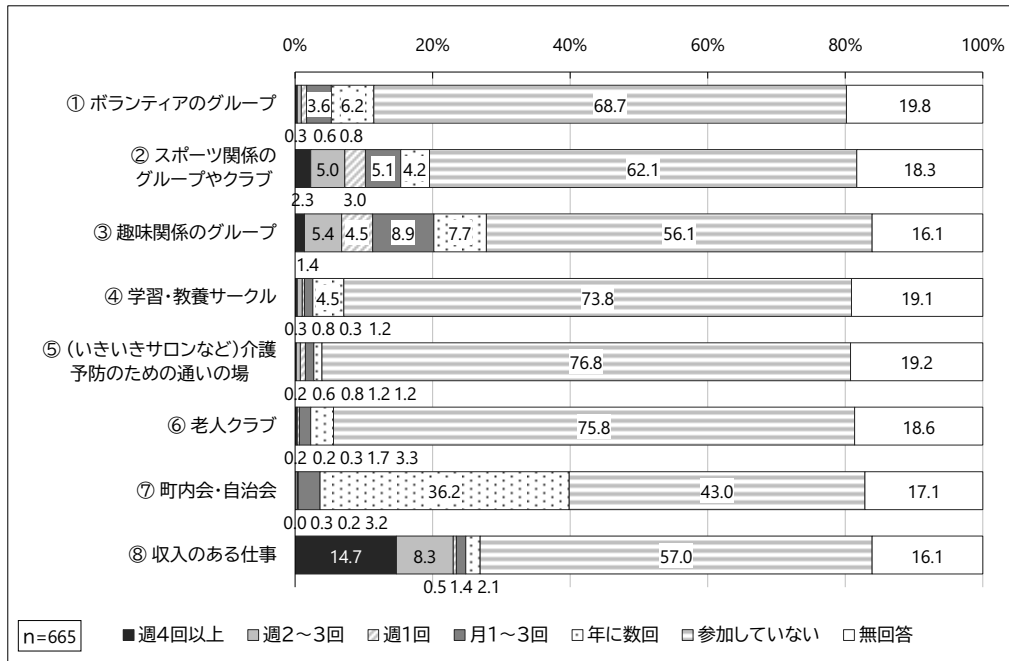
(第1地区)



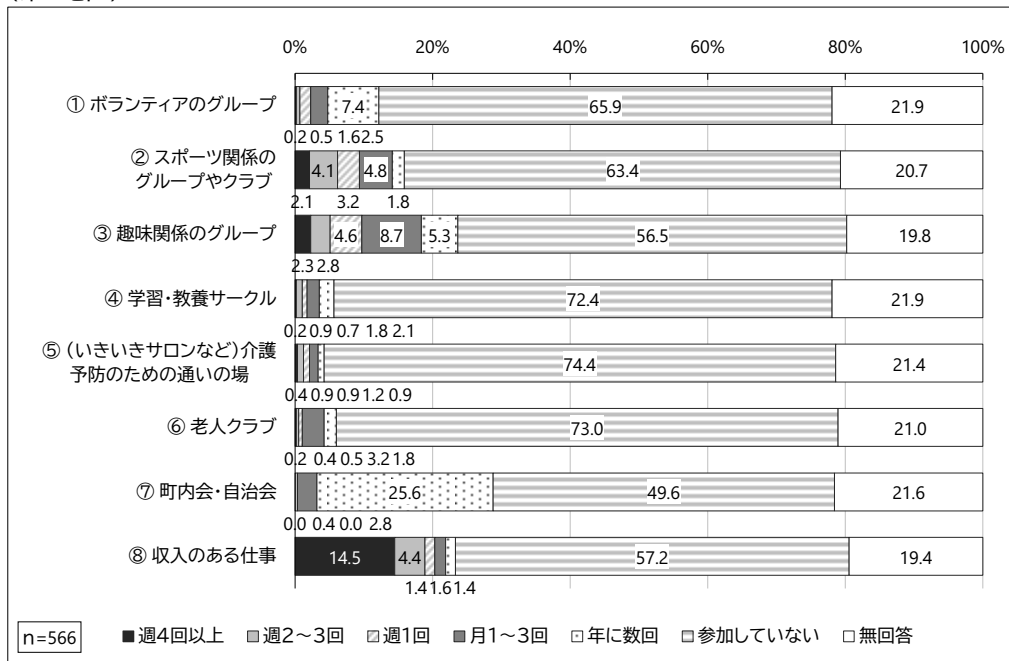
(第2地区)



(第3地区)

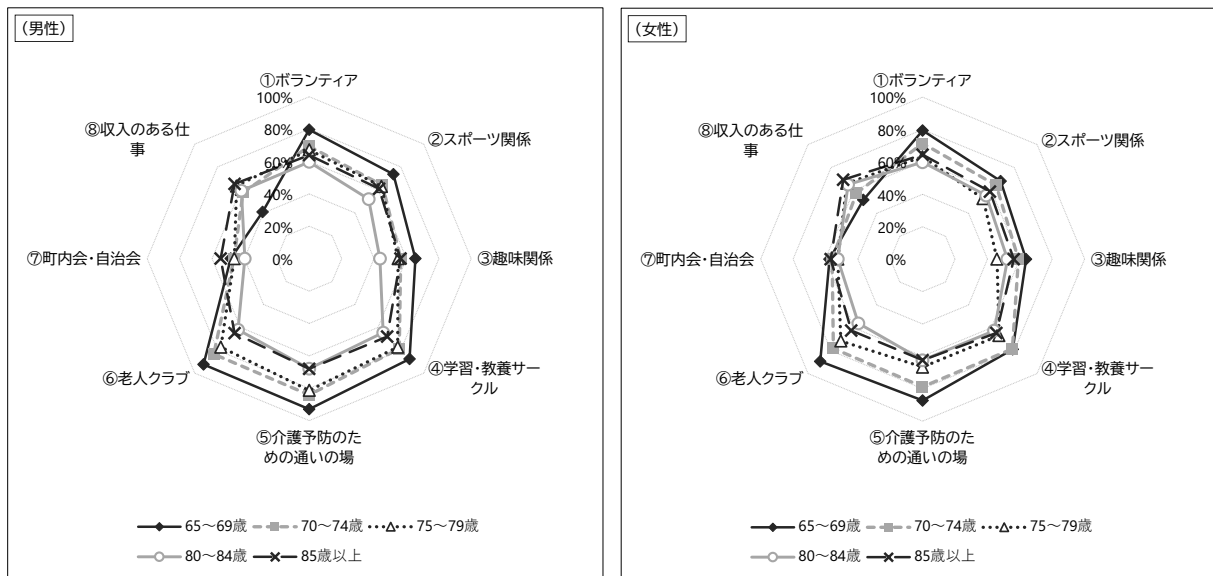


(第4地区)



- ・年齢別の結果を性別でみると、「(地域での活動に)参加していない」人は、男女ともに高齢になるほど低くなる傾向がうかがえるが、「85歳以上」になると「80～84歳」よりは高くなるものが多い。
- ・「参加していない」の年齢による差が大きいものは、男女ともに「⑥老人クラブ」と「⑤(いきいきサロンなど)介護予防のための通いの場」で、25%～30%の差が開いている。
- ・「⑧収入のある仕事」については、男性の「70～74歳」以降で50.0%を超え、「65～69歳」の40.8%から大きく増加している。

■地域での活動に「参加していない」人【年齢・性別割合】



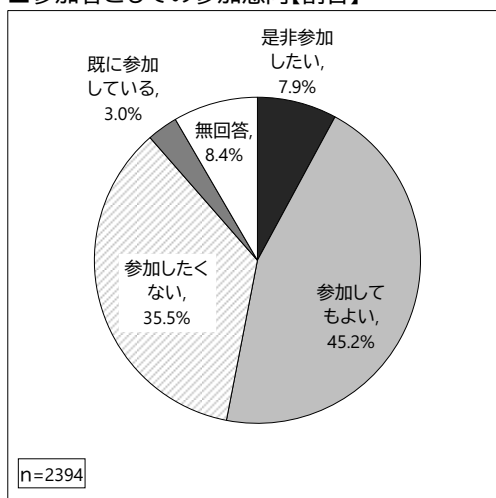
【実数(単位:人)／割合(単位:%)】

(男性)	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
① ボランティアのグループ	238	279	180	123	110
	79.6	69.4	67.2	59.7	64.0
② スポーツ関係のグループやクラブ	220	257	169	107	105
	73.6	63.9	63.1	51.9	61.0
③ 趣味関係のグループ	196	227	147	90	97
	65.6	56.5	54.9	43.7	56.4
④ 学習・教養サークル	262	316	207	133	117
	87.6	78.6	77.2	64.6	68.0
⑤ (いきいきサロンなど)介護 予防のための通いの場	278	338	218	140	117
	93.0	84.1	81.3	68.0	68.0
⑥ 老人クラブ	276	335	207	128	112
	92.3	83.3	77.2	62.1	65.1
⑦ 町内会・自治会	145	187	124	82	94
	48.5	46.5	46.3	39.8	54.7
⑧ 収入のある仕事	122	232	170	122	112
	40.8	57.7	63.4	59.2	65.1
(女性)	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
① ボランティアのグループ	112	152	146	113	149
	79.4	71.4	63.2	59.8	64.5
② スポーツ関係のグループやクラブ	96	137	122	105	136
	68.1	64.3	52.8	55.6	58.9
③ 趣味関係のグループ	90	126	106	99	130
	63.8	59.2	45.9	52.4	56.3
④ 学習・教養サークル	111	167	154	118	149
	78.7	78.4	66.7	62.4	64.5
⑤ (いきいきサロンなど)介護 予防のための通いの場	123	168	154	118	144
	87.2	78.9	66.7	62.4	62.3
⑥ 老人クラブ	126	166	165	106	144
	89.4	77.9	71.4	56.1	62.3
⑦ 町内会・自治会	81	119	121	99	131
	57.4	55.9	52.4	52.4	56.7
⑧ 収入のある仕事	73	123	153	123	160
	51.8	57.7	66.2	65.1	69.3

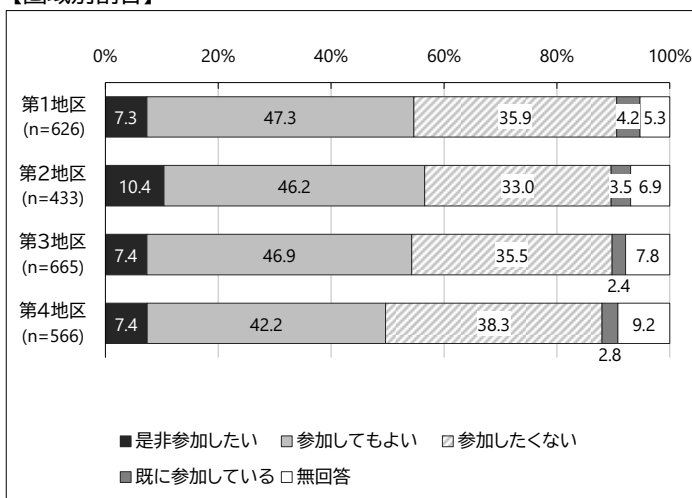
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(SA)

- ・地域活動の参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が45.2%で最も高く、次いで「参加したくない」が35.5%、「是非参加したい」が7.9%となっている。
- ・圏域別の「参加したくない」は、第4地区が38.3%でその他の地区より高く、一方、第2地区は33.0%で、その他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「参加したくない」は、男女ともに「85歳以上」が最も高く、40.0%を超えている。

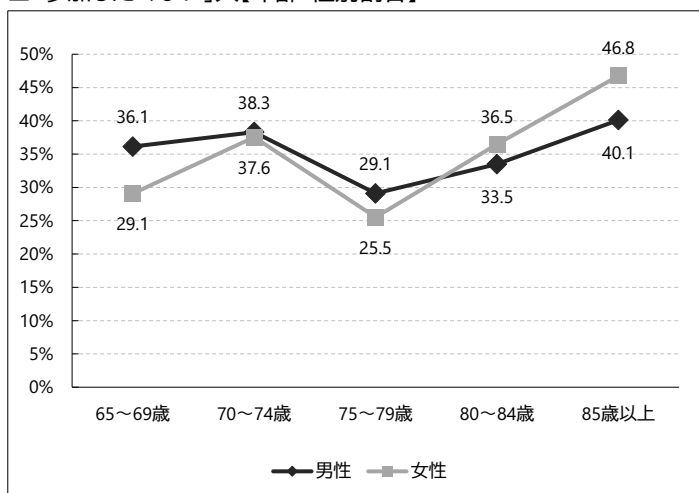
■参加者としての参加意向【割合】



【圏域別割合】



■「参加したくない」人【年齢・性別割合】



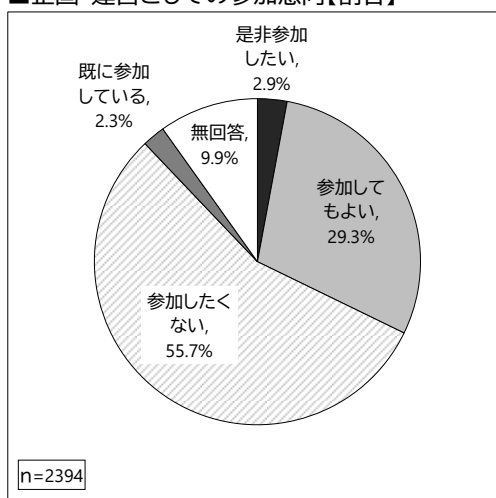
【実数】(単位:人)

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	108	154	78	69	69
女性	41	80	59	69	108

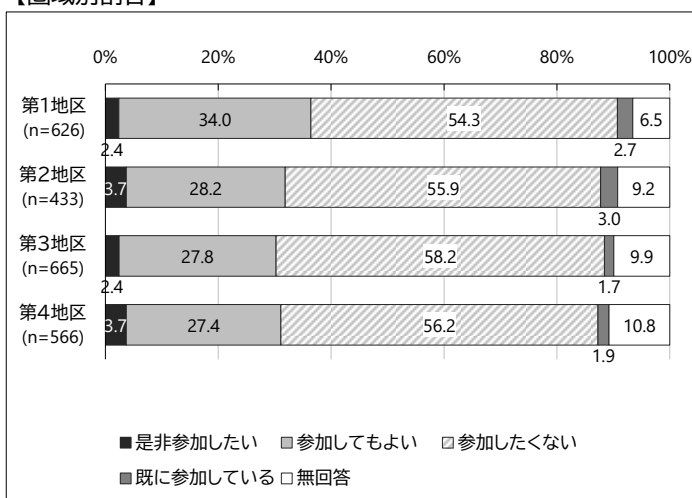
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(SA)

- ・地域活動の企画・運営としての参加意向について、「参加したくない」が55.7%で最も高く、次いで「参加してもよい」が29.3%、「是非参加したい」が2.9%となっている。
- ・圏域別の「参加したくない」は、第3地区が58.2%でその他の地区より高く、一方、第1地区は54.3%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、男性は「参加したくない」が「65～69歳」と「70～74歳」で高く60.0%近くになっている。女性は「75～79歳」をのぞく年齢で55.0%を超えており、「85歳以上」は60.0%を超えている。

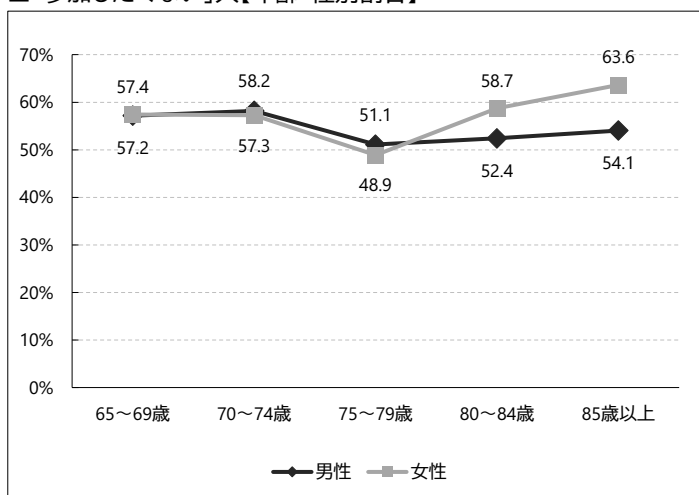
■企画・運営としての参加意向【割合】



【圏域別割合】



■「参加したくない」人【年齢・性別割合】



【実数】(単位:人)

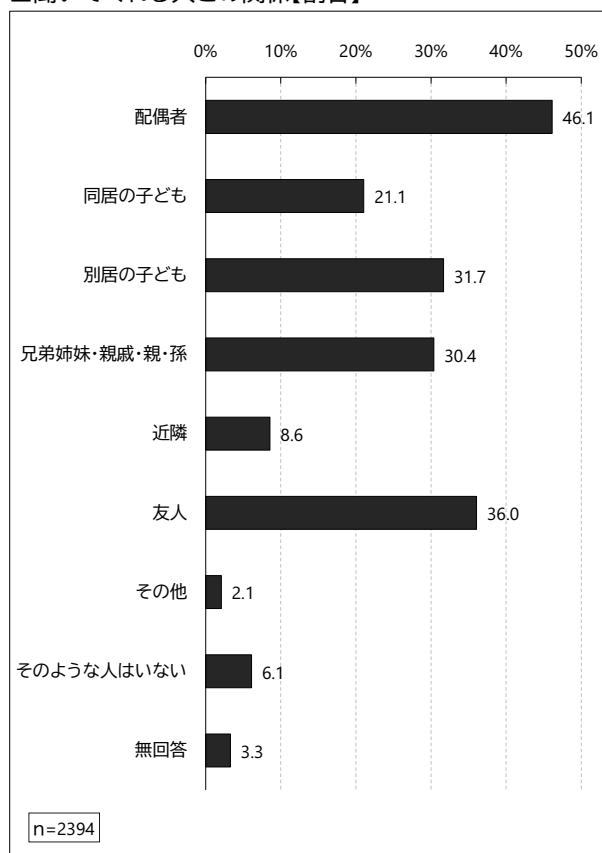
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	171	234	137	108	93
女性	81	122	113	111	147

## 問6 たすけあいについて

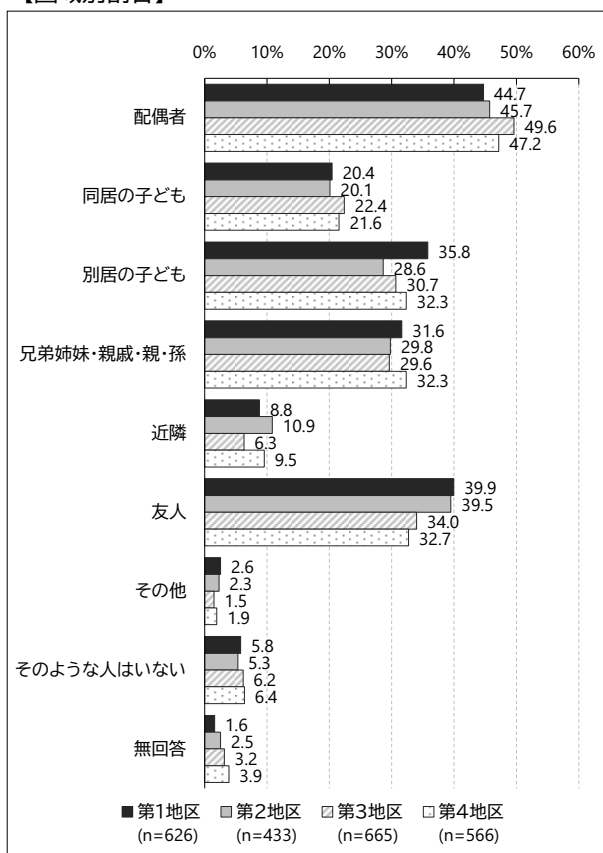
### (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(MA)

- ・回答者の心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人は、「配偶者」が46.1%で最も高く、次いで「友人」が36.0%、「別居の子ども」が31.7%となっている。
- ・圏域別の「配偶者」は、第3地区が49.6%で最も高く、第1地区が44.7%で唯一45.0%を下回っている。「友人」は、第1地区が39.9%で最も高く、第3地区と第4地区がそれぞれ34.0%と32.7%で35.0%を下回っている。「別居の子ども」は、第1地区が35.8%と唯一35.0%を超え、第2地区が28.6%で唯一30.0%を下回っている。

■聞いてくれる人との関係【割合】

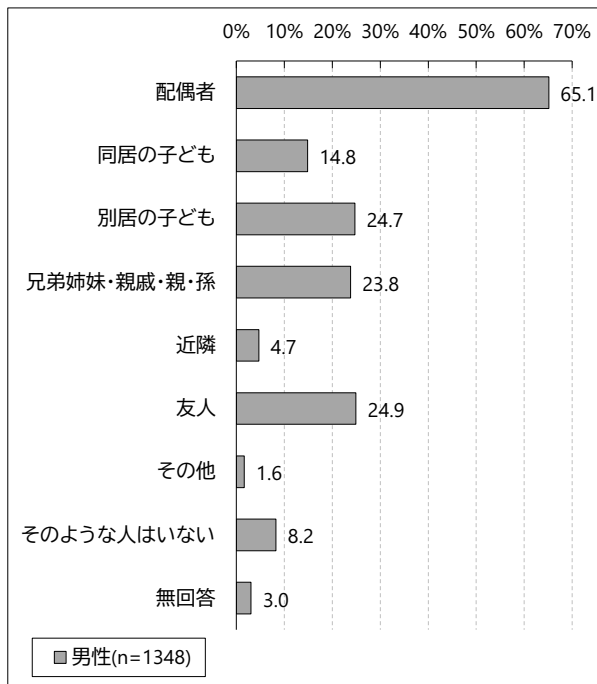


【圏域別割合】

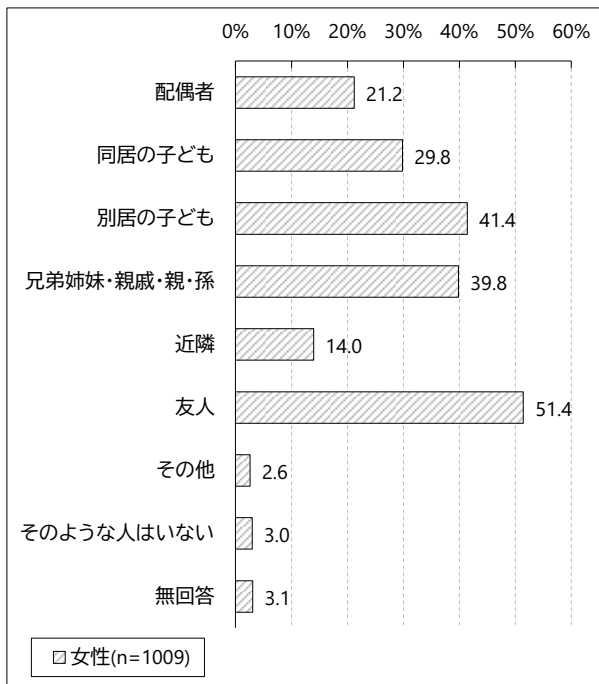


- ・「聞いてくれる人との関係」を男女別にみると、男性は「配偶者」が65.1%で最も高く、次いで「友人」が24.9%、「別居の子ども」が24.7%となっている。また、女性は「友人」が51.4%で最も高く、次いで「別居の子ども」が41.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が39.8%となっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「そのような人はいない」は、すべての年齢で男性が女性より高くなっている。また、男女ともに10.0%を下回っており、特に女性は「70～74歳」をのぞく年齢で5%を下回っている。

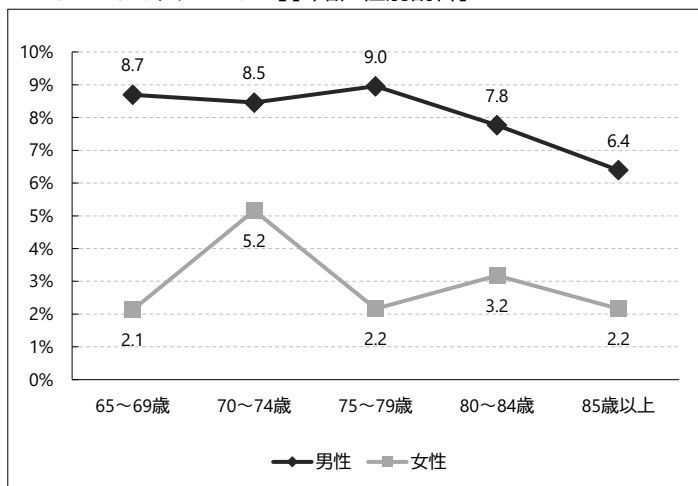
■聞いてくれる人との関係(男性)【割合】



■聞いてくれる人との関係(女性)【割合】



■「そのような人はいない」【年齢・性別割合】



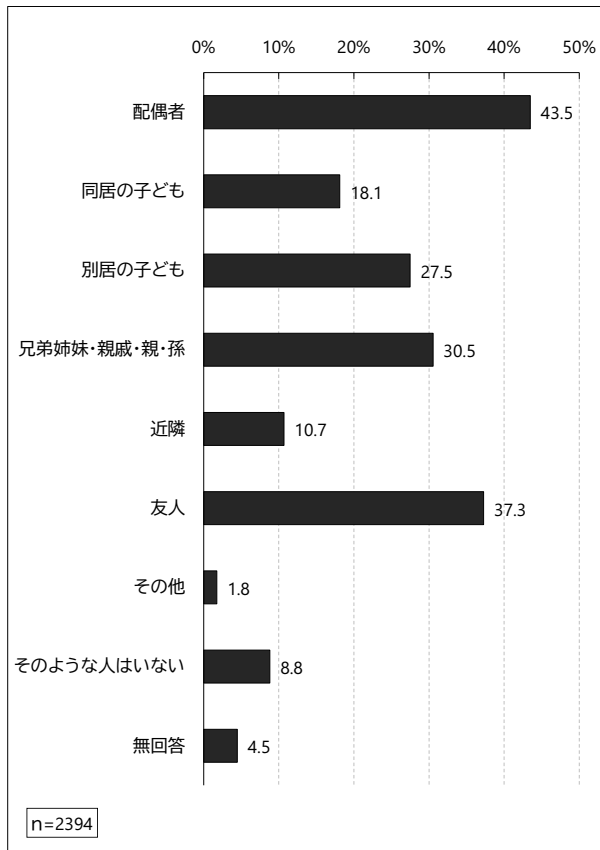
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	26	34	24	16	11
女性	3	11	5	6	5

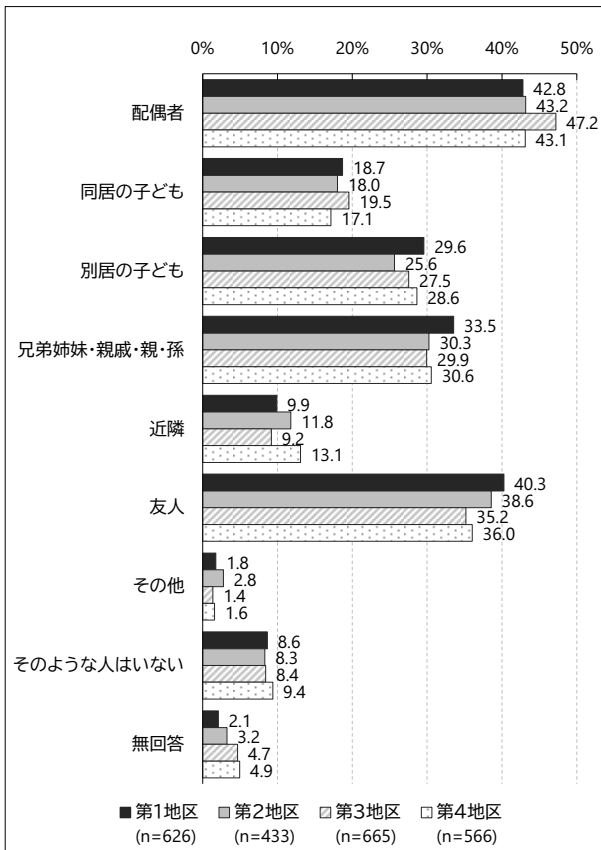
## (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。(MA)

- ・回答者が心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人は、「配偶者」が 43.5%で最も高く、次いで「友人」が 37.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 30.5%となっている。
- ・圏域別の「配偶者」は、第3地区が 47.2%で唯一 45.0%を超え、その他の地区は 40.0%をやや超える程度となっている。「友人」は、第1地区が 40.3%で唯一 40.0%を超え、その他の地区は 35.0%を超える程度となっている。「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は、第1地区が 33.5%でその他の地区より高く、第3地区は 29.9%で唯一 30.0%を下回っている。

■聞いてあげる人との関係【割合】



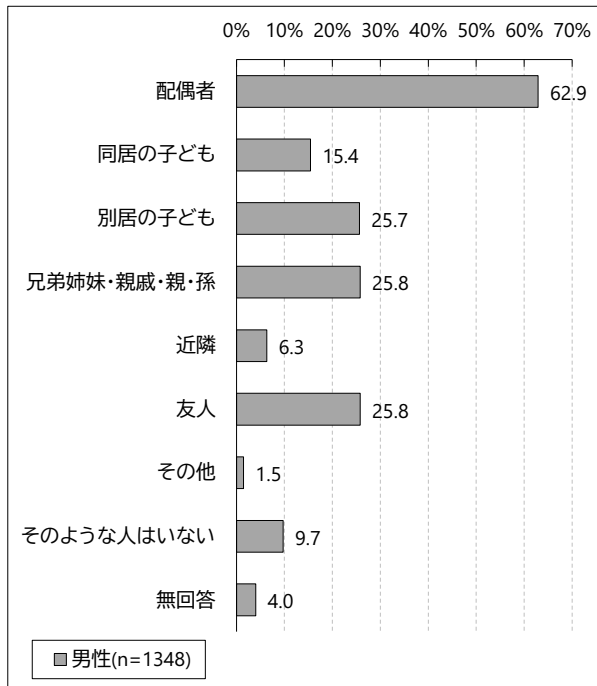
【圏域別割合】



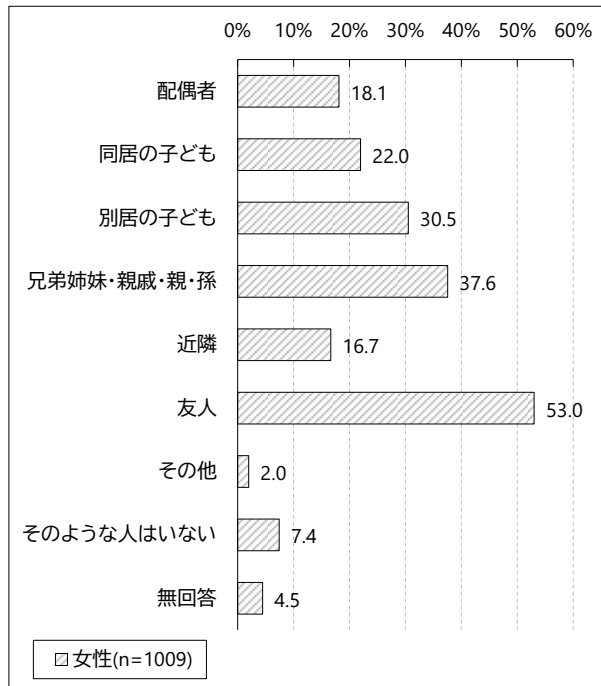


- ・「聞いてあげる人との関係」を男女別にみると、男性は「配偶者」が62.9%で最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」と「友人」がそれぞれ25.8%、「別居の子ども」が25.7%となっている。また、女性は「友人」が53.0%で最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が37.6%、「別居の子ども」が30.5%となっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「そのような人はいない」は、男性の「65～69歳」と「85歳以上」で10.0%を超えている。女性は高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「85歳以上」で10.0%を超えている。

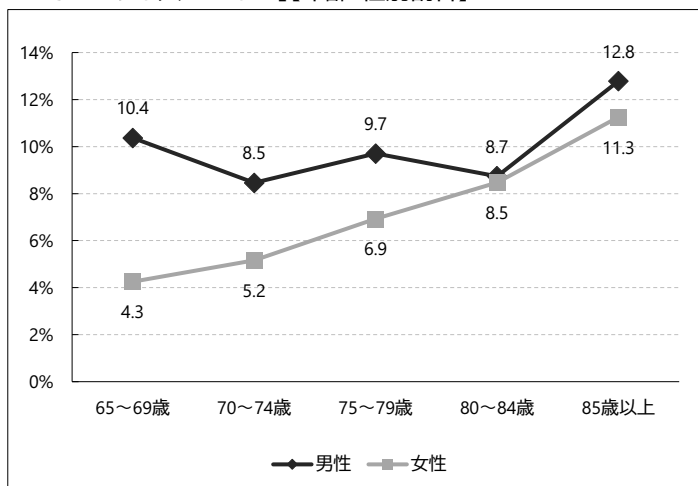
■聞いてあげる人との関係(男性)【割合】



■聞いてあげる人との関係(女性)【割合】



■「そのような人はいない」【年齢・性別割合】



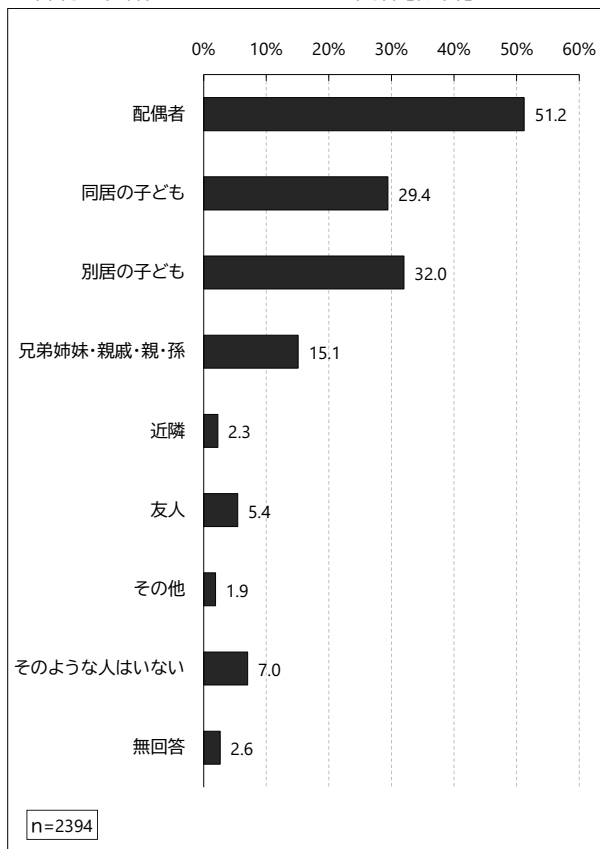
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	31	34	26	18	22
女性	6	11	16	16	26

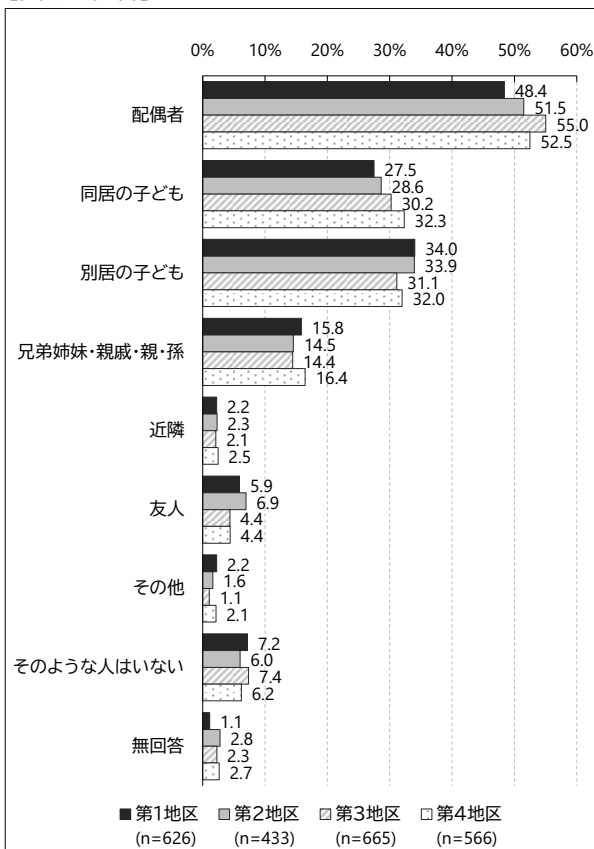
### (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(MA)

- ・回答者の看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が51.2%で最も高く、次いで「別居の子ども」が32.0%、「同居の子ども」が29.4%となっている。
- ・圏域別の「配偶者」は、第3地区が55.0%でその他の地区より高く、第1地区は48.4%で唯一50.0%を下回っている。「別居の子ども」は、第1地区が34.0%でその他の地区より高く、一方、第3地区は31.1%でその他の地区より低くなっている。「同居の子ども」は、第4地区が32.3%でその他の地区より高く、第1地区と第2地区はそれぞれ27.5%と28.6%で、いずれも30.0%を下回っている。

■看病や世話をしてくれる人との関係【割合】

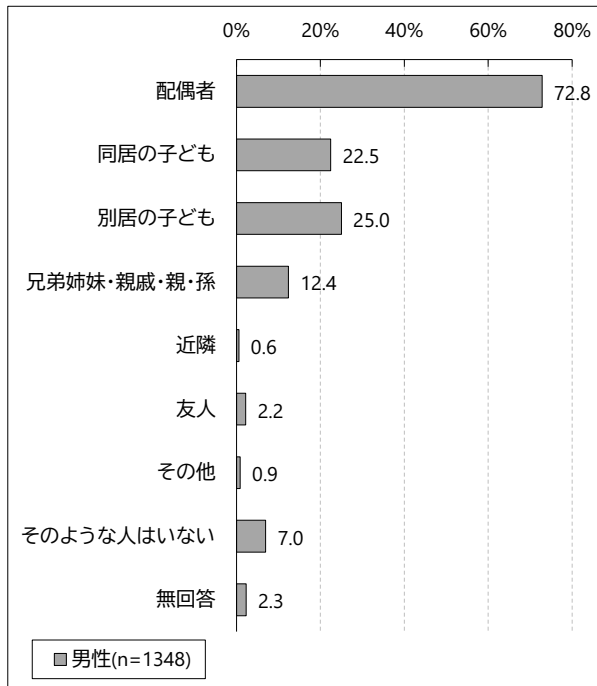


【圏域別割合】

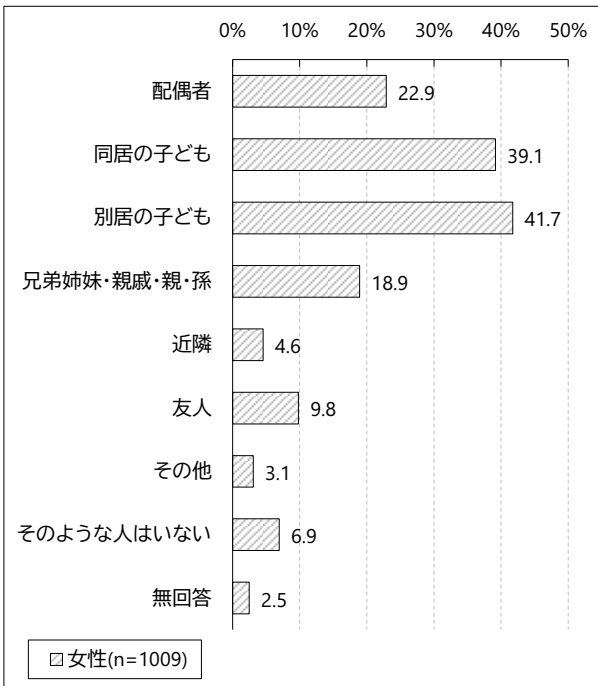


- ・「看病や世話をしてくれる人との関係」を男女別にみると、男性は「配偶者」が72.8%で最も高く、次いで「別居の子ども」が25.0%、「同居の子ども」が22.5%となっている。また、女性は「別居の子ども」が41.7%で最も高く、次いで「同居の子ども」が39.1%、「配偶者」が22.9%となっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「そのような人はいない」は、男性は高齢になるほど低くなる傾向がうかがえ、「70～74歳」以降は10.0%を下回っている。女性はすべての年齢で5.0%～10.0%の間となっている。

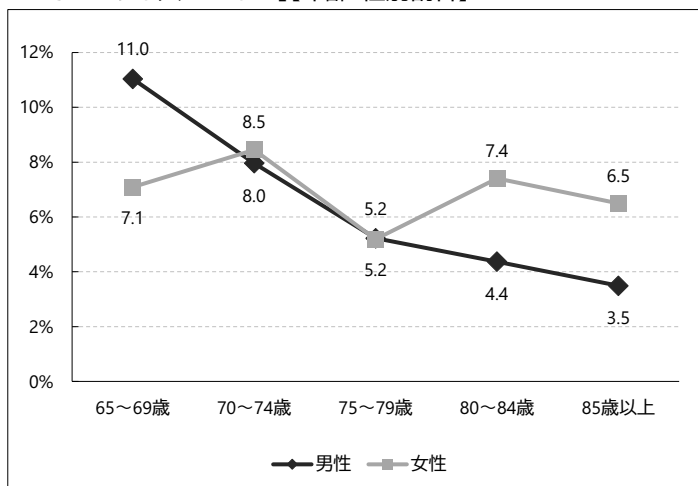
■看病や世話をしてくれる人との関係(男性)【割合】



■看病や世話をしてくれる人との関係(女性)【割合】



■「そのような人はいない」【年齢・性別割合】



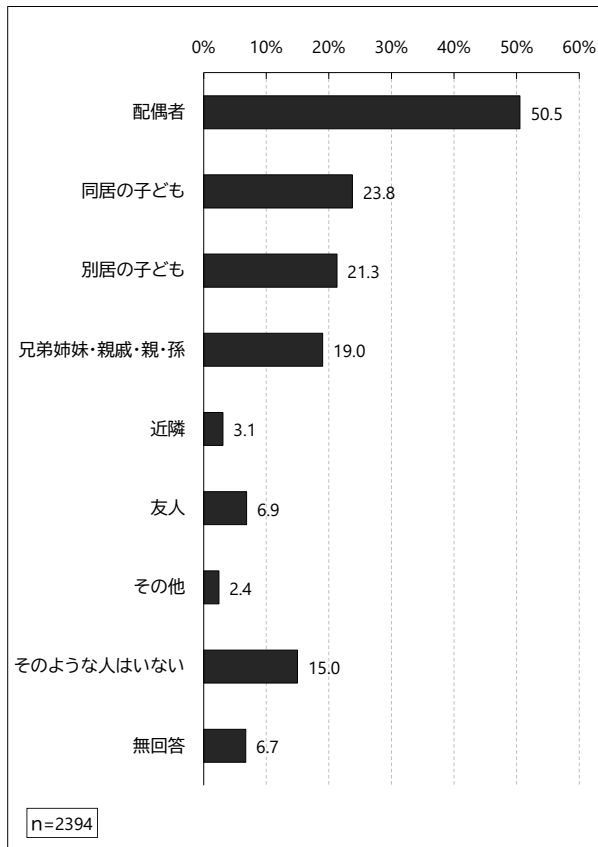
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	33	32	14	9	6
女性	10	18	12	14	15

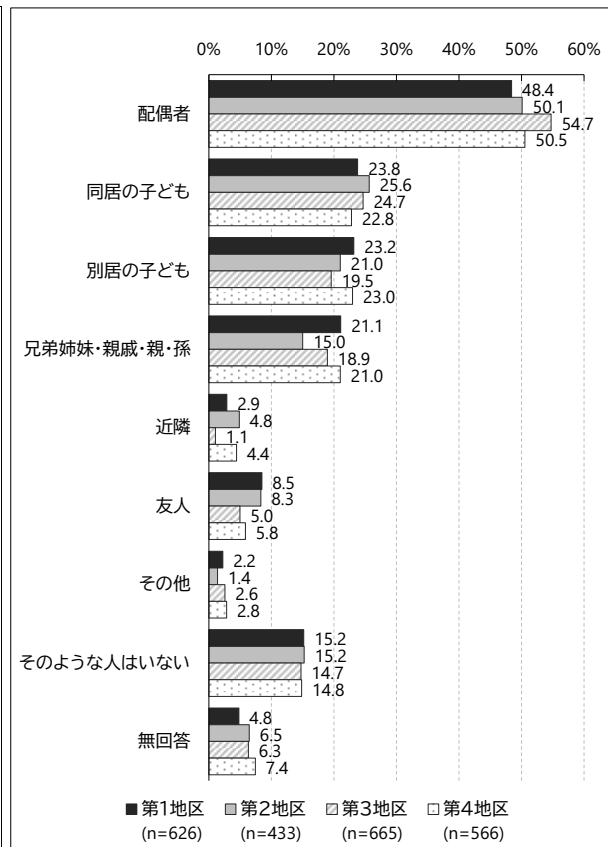
#### (4) 反対に、看病や世話をしあける人。(MA)

- ・回答者が看病や世話をしあける人は、「配偶者」が50.5%で最も高く、次いで「同居の子ども」が23.8%、「別居の子ども」が21.3%となっている。
- ・圏域別の「配偶者」は、第3地区が54.7%でその他の地区より高く、第1地区は48.4%で唯一50.0%を下回っている。「同居の子ども」は、第2地区が25.6%で唯一25.0%を超え、その他の地区はいずれも20.0%をやや超える程度となっている。「別居の子ども」は、第1地区が23.2%でその他の地区より高く、第3地区が19.5%で唯一20.0%を下回っている。

■看病や世話をしあける人との関係【割合】

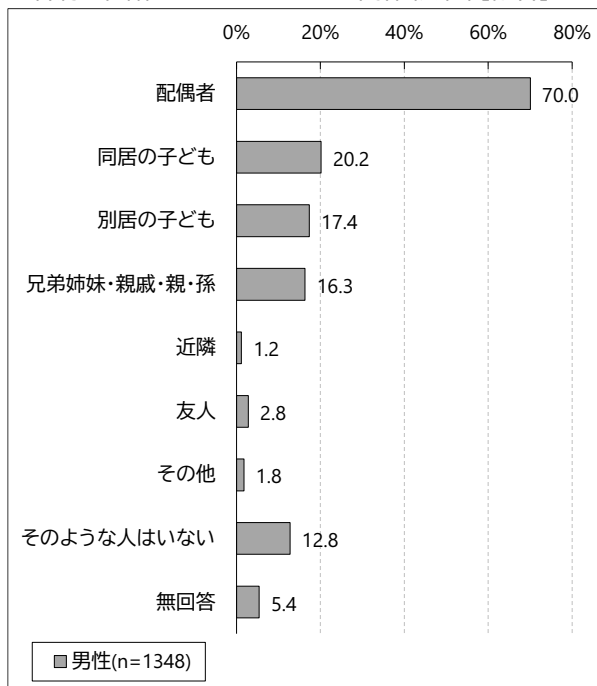


【圏域別割合】

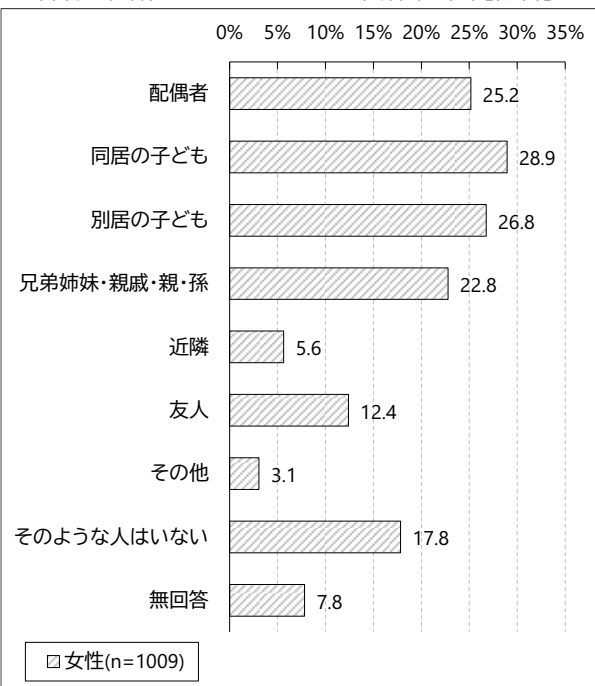


- ・「看病や世話をししてあげる人との関係」を男女別にみると、男性は「配偶者」が70.0%で最も高く、次いで「同居の子ども」が20.2%、「別居の子ども」が17.4%となっている。また、女性は「同居の子ども」が28.9%で最も高く、次いで「別居の子ども」が26.8%、「配偶者」が25.2%となっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「そのような人はいない」は、「65～69歳」をのぞく年齢で女性が男性より高くなっている。女性は高齢になるほど高くなる傾向がうかがえるが、「80～84歳」までの15.0%前後から、「85歳以上」では一気に30.0%を超えて高くなっている。男性は、「80～84歳」までは10.0%前後だが、「85歳以上」は20.0%を超えるほど高くなっている。

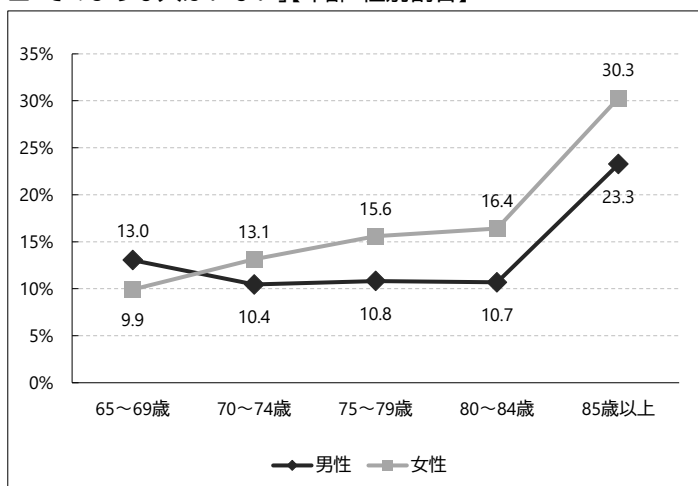
■看病や世話をししてあげる人との関係(男性)【割合】



■看病や世話をししてあげる人との関係(女性)【割合】



■「そのような人はいない」【年齢・性別割合】



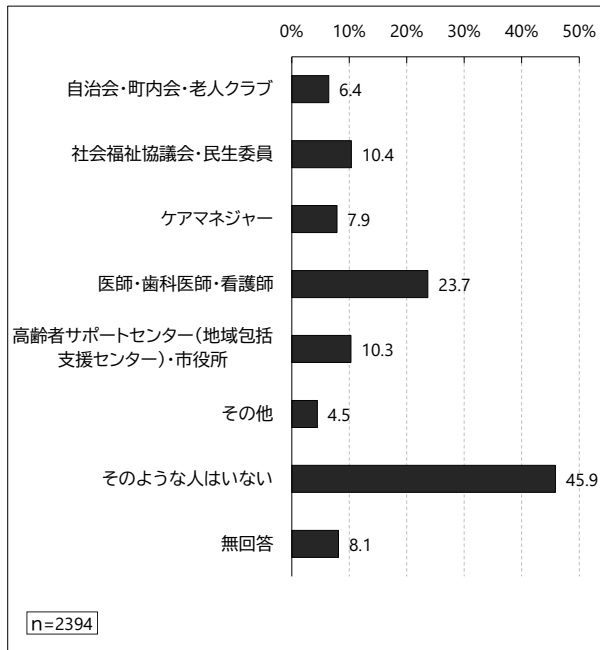
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	39	42	29	22	40
女性	14	28	36	31	70

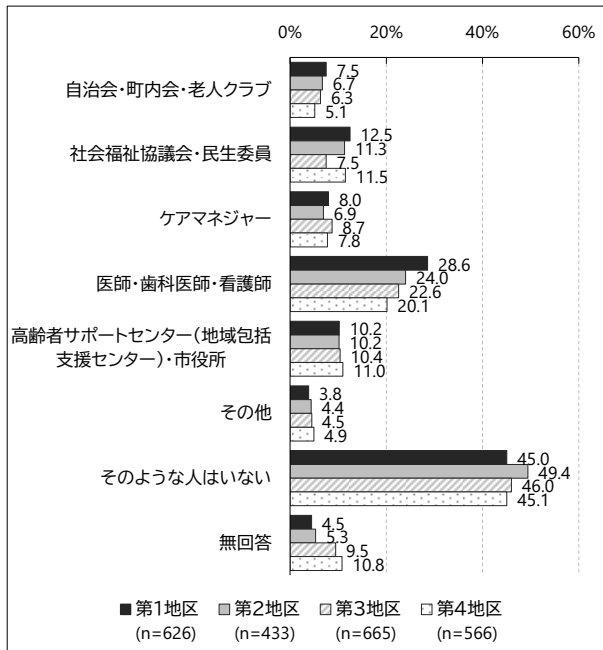
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(MA)

- ・ 家族や友人・知人以外で回答者が相談する相手は、「そのような人はいない」が 45.9%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 23.7%、「社会福祉協議会・民生委員」が 10.4%となっている。
- ・ 圏域別では、大きな差はみられない。
- ・ 年齢別の結果を性別でみると、「そのような人はいない」は、男女ともに高齢になるほど低くなる傾向がうかがえ、「75～79 歳」以降はどちらも 50.0%を下回っている。

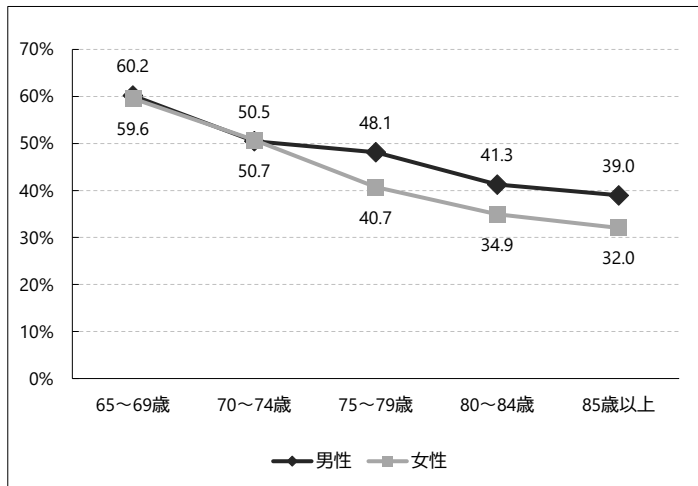
■相談する相手との関係【割合】



【圏域別割合】



■「そのような人はいない」【年齢・性別割合】



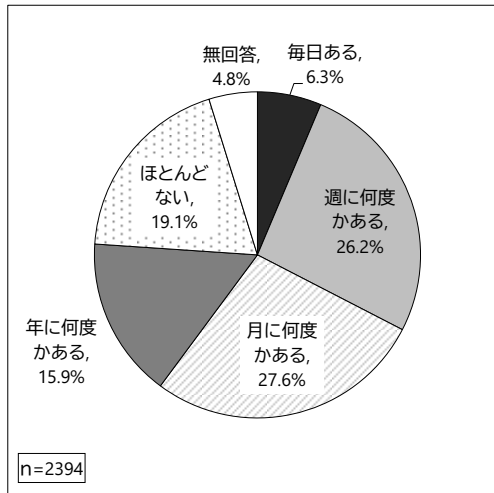
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	180	203	129	85	67
女性	84	108	94	66	74

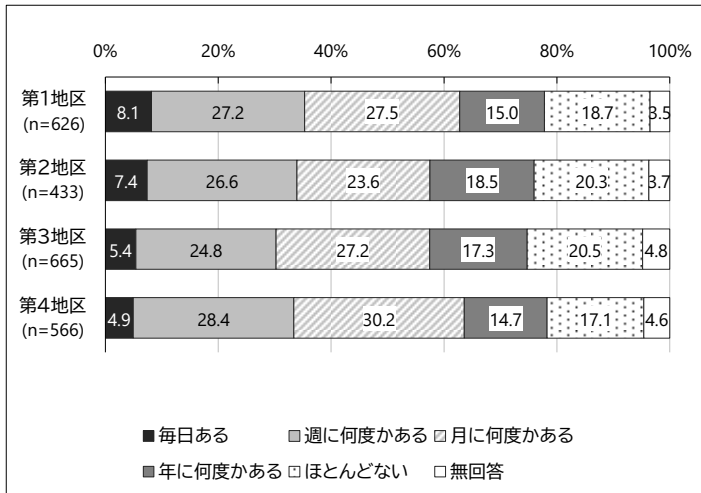
## (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(SA)

- ・友人・知人と会う頻度は、「月に何度かある」が 27.6%で最も高く、次いで「週に何度かある」が 26.2%、「ほとんどない」が 19.1%となっている。
- ・圏域別の「ほとんどない」は、第3地区が 20.5%でその他の地区より高く、一方、第4地区は 17.1%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「ほとんどない」は、すべての年齢で男性が女性よりも高くなっている。また、男性は「80～84歳」までは 20.0%前後となっているが、「85歳以上」では一気に 30.0%を超えて高くなっている。女性は「75～79歳」までは 15.0%を下回っているが、「80～84歳」以降は 15.0%を超えている。

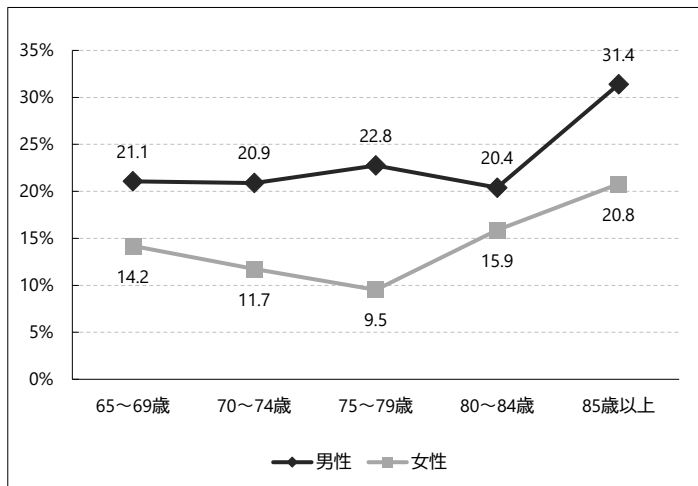
■友人・知人と会う頻度【割合】



【圏域別割合】



■「ほとんどない」【年齢・性別割合】



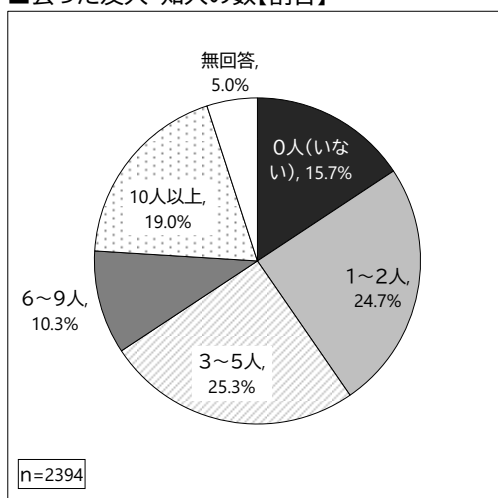
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	63	84	61	42	54
女性	20	25	22	30	48

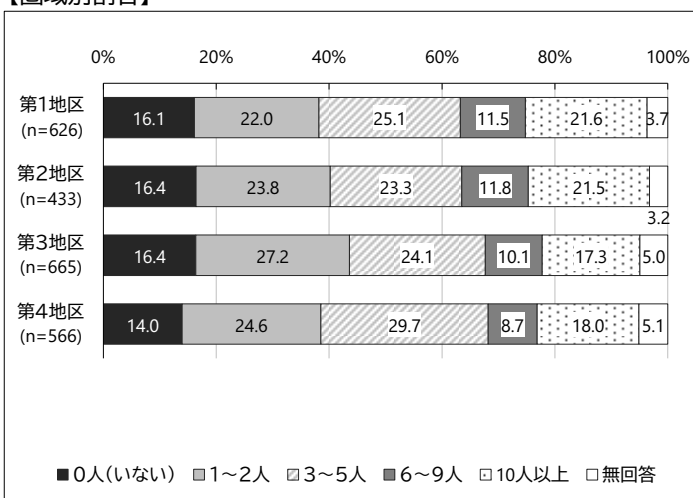
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(SA)

- ・この1か月間で会った友人・知人の人数は、「3～5人」が25.3%で最も高く、次いで「1～2人」が24.7%、「10人以上」が19.0%となっている。
- ・圏域別の「0人(いない)」は、第2地区と第3地区がそれぞれ16.4%でその他の地区より高く、一方、第4地区は14.0%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「0人(いない)」は、すべての年齢で男性が女性より高くなっている。また、男性は「80～84歳」までは20.0%を下回っているが、「85歳以上」では20.0%を超えて高くなっている。女性は「75～79歳」が特に低く10.0%を下回るが、おおむね10.0%～15.0%の間となっている。

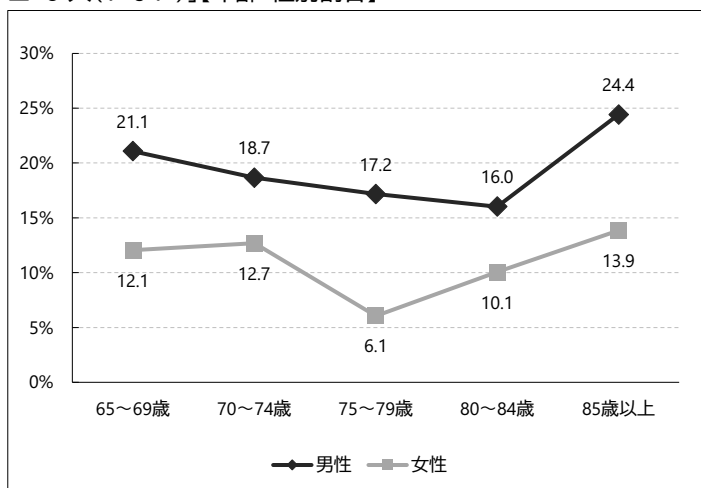
■会った友人・知人の数【割合】



【圏域別割合】



■「0人(いない)」【年齢・性別割合】



【実数】(単位:人)

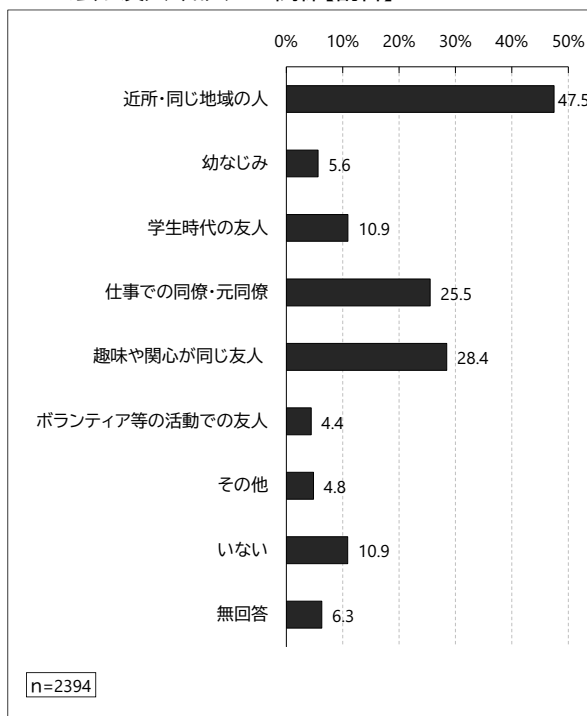
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	63	75	46	33	42
女性	17	27	14	19	32



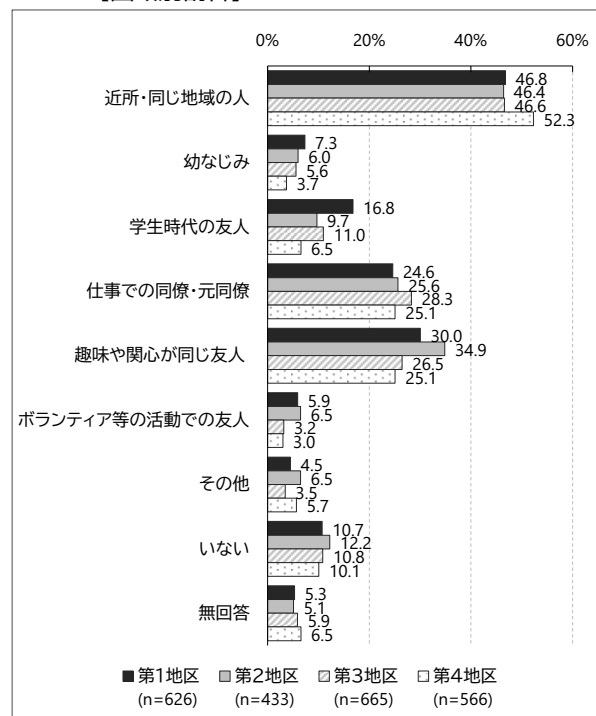
## (8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(MA)

- よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」が47.5%で最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が28.4%、「仕事での同僚・元同僚」が25.5%となっている。
- 圏域別の「学生時代の友人」は、第1地区が16.8%でその他の地区より高く、一方、第4地区は6.5%でその他の地区より低くなっている。
- 年齢別の結果を性別でみると、「いない」は、すべての年齢で男性が女性より高くなっている。また、男性は「80～84歳」までは15.0%を下回っているが、「85歳以上」では15.0%を上回っている。女性は「80～84歳」までは10.0%を下回っているが、「85歳以上」では10.0%を上回っている。

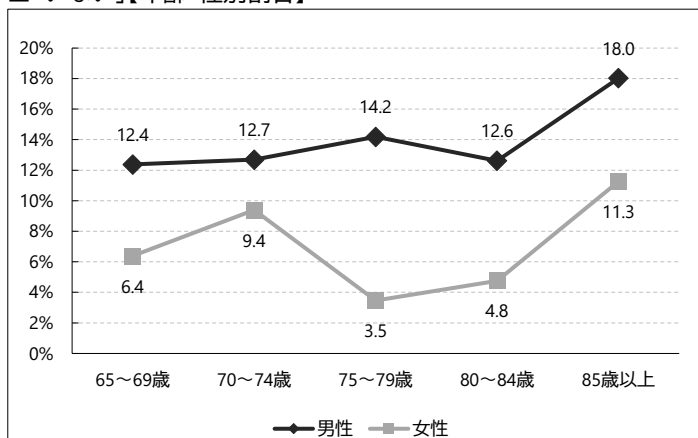
■よく会う友人・知人との関係【割合】



【圏域別割合】



■「いない」【年齢・性別割合】



【実数】(単位:人)

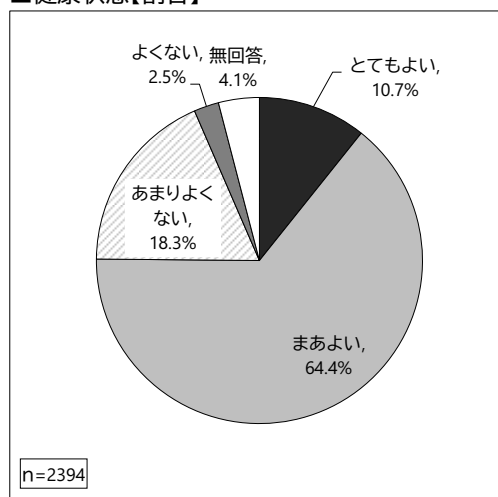
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	37	51	38	26	31
女性	9	20	8	9	26

## 問7 健康について

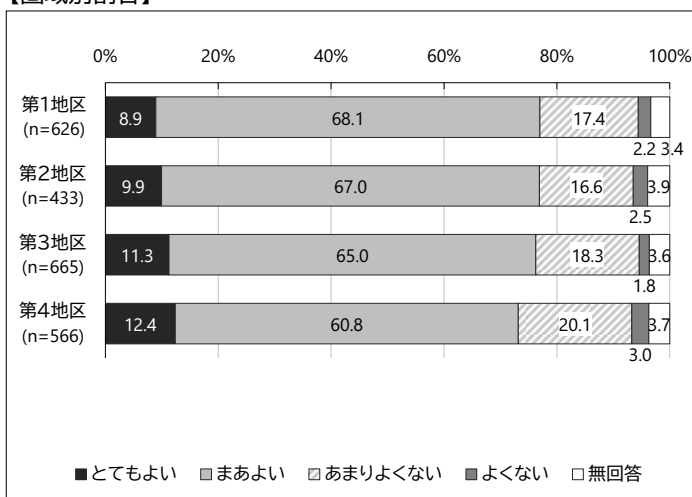
### (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(SA)

- ・回答者の健康状態は、「まあよい」が64.4%で最も高く、次いで「あまりよくない」が18.3%、「とてもよい」が10.7%となっている。また、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『健康ではない人』は、20.8%となっている。
- ・圏域別の『健康ではない人』は、第4地区が23.1%でその他の地区より高く、一方、第2地区は19.1%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別で見ると、『健康ではない人』は、「70～74歳」をのぞく年齢で女性が男性より高くなっている。また、男女とも高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、女性は「80～84歳」で25.0%を超え、男性は「85歳以上」で30.0%近くになっている。

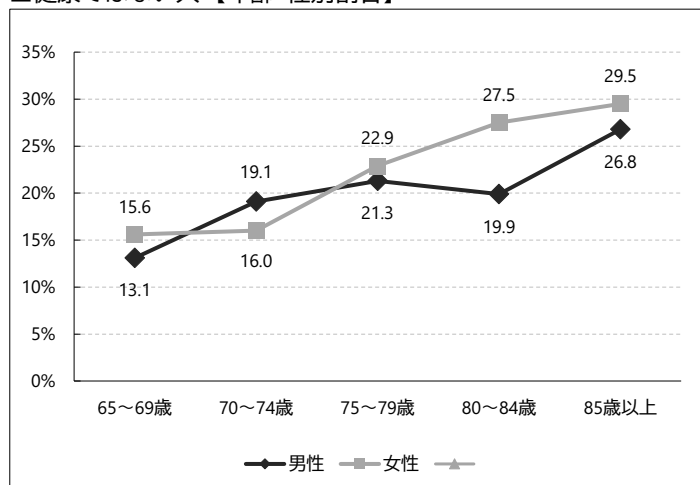
■健康状態【割合】



【圏域別割合】



■健康ではない人※【年齢・性別割合】



※「あまりよくない」または「よくない」と回答した人

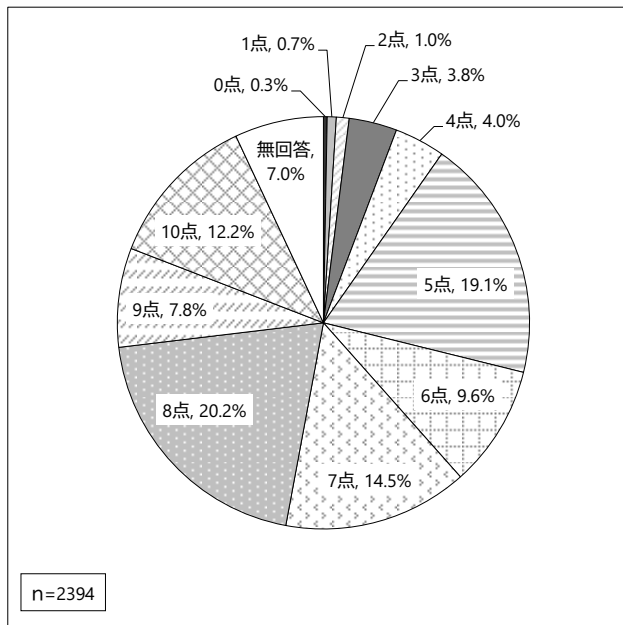
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	39	77	57	41	46
女性	22	34	53	52	68

## (2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(SA)

- ・ 回答者の現在の幸せ度合いは、「8点」が20.2%で最も高く、次いで「5点」が19.1%、「7点」が14.5%となり、平均点は6.85点となっている。また、「7点」、「8点」、「9点」、「10点」のいずれかを回答した『7点以上』の割合でみると、54.7%となっている。
- ・ 圏域別の『7点以上』は、第1地区が58.2%でその他の地区より高く、一方、第4地区は53.0%でその他の地区より低くなっている。

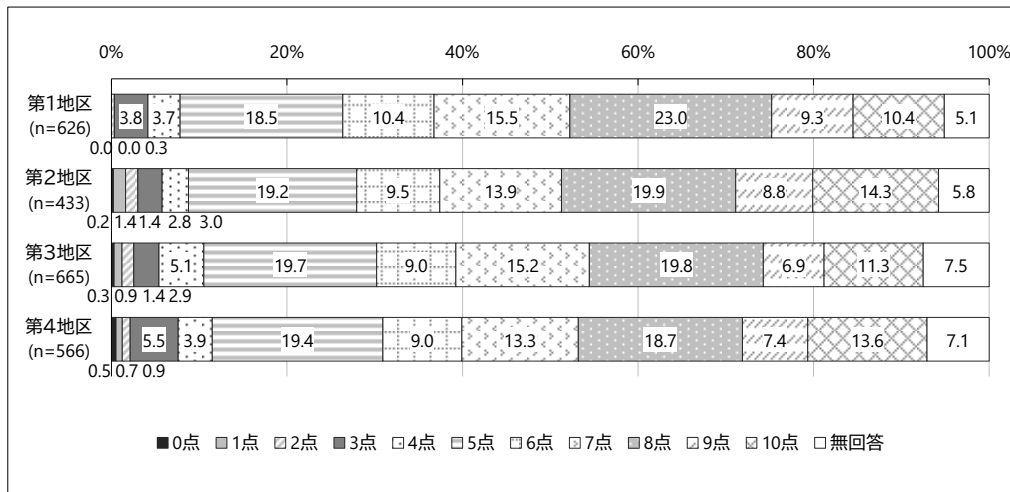
■ 幸福感【割合】



(平均点)

6.85

【圏域別割合】

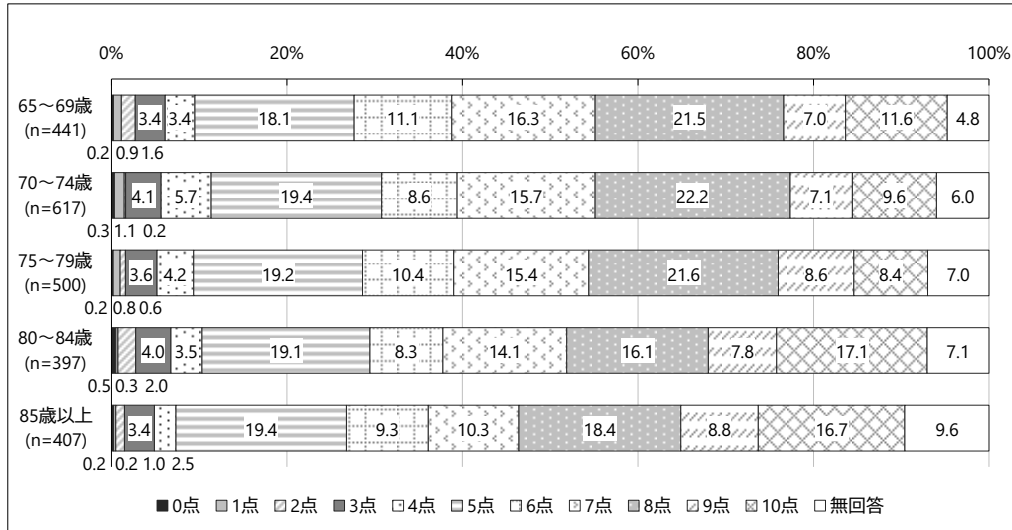


(圏域別平均点)

第1地区	6.97
第2地区	6.95
第3地区	6.76
第4地区	6.79

- ・年齢別の結果をみると、『7点以上』は、「65～69歳」が56.4%でその他の年齢より高く、一方、「75～79歳」は54.0%でその他の年齢より低くなっている。
- ・男女別の結果をみると、『7点以上』は、「女性」は58.5%で、「男性」の52.1%より高くなっている。

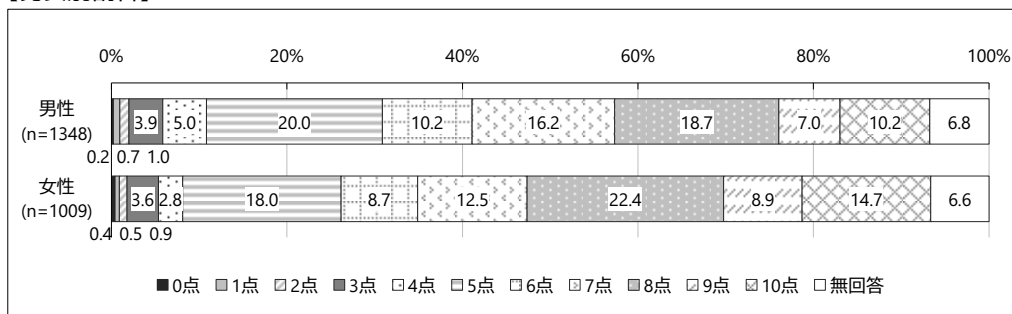
【年齢別割合】



(年齢別平均点)

65～69歳	6.83
70～74歳	6.73
75～79歳	6.77
80～84歳	6.94
85歳以上	7.10

【男女別割合】



(男女別平均点)

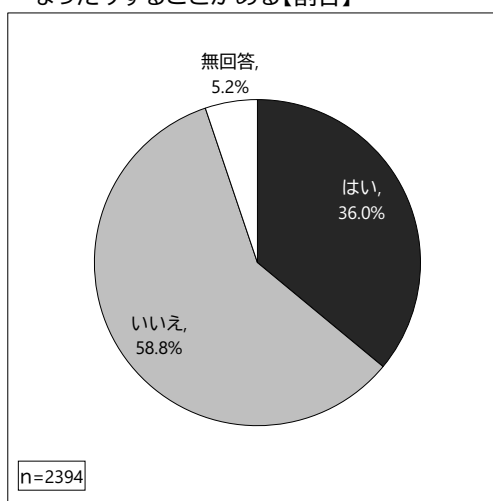
男性	6.69
女性	7.07

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

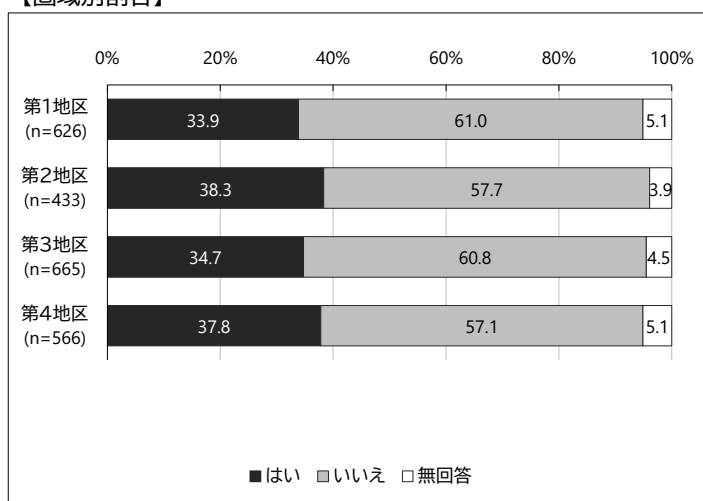
(SA)

- ・この1か月間で気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったことがあったかについて、「はい」が36.0%、「いいえ」が58.8%となっている。
- ・圏域別の「はい」は、第2地区が38.3%でその他の地区より高く、一方、第1地区は33.9%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「はい（気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがある人）」は、すべての年齢で女性が男性より高くなっている。また、女性は「75～79歳」が45.5%で特に高いが、ほかの年齢は40.0%を下回っている。男性はすべての年齢で35.0%を下回っている。

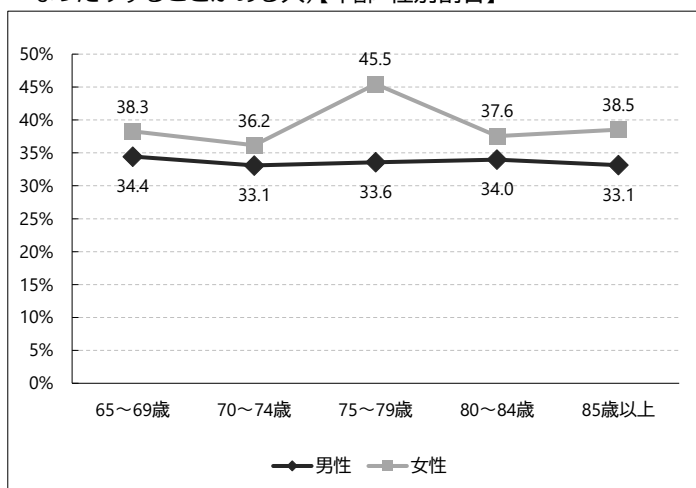
■気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがある【割合】



【圏域別割合】



■はい（気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがある人）【年齢・性別割合】



【実数】(単位:人)

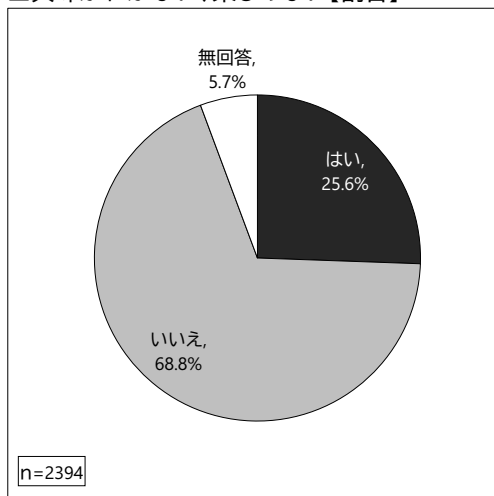
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	103	133	90	70	57
女性	54	77	105	71	89

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じが

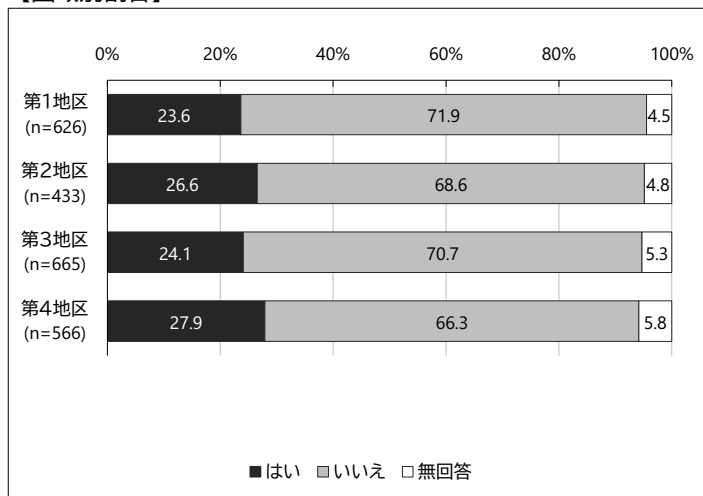
## よくありましたか。(SA)

- ・この1か月間で物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が25.6%、「いいえ」が68.8%となっている。
- ・圏域別の「はい」は、第4地区が27.9%でその他の地区より高く、一方、第1地区は23.6%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別で見ると、「はい（興味がわかない、心から楽しめない人）」は、すべての年齢で女性が男性より高くなっている。また、女性は「75～79歳」と「85歳以上」で30.0%を超えて高いが、ほかの年齢は30.0%を下回っている。男性は「80～84歳」まで25.0%を下回っているが、「85歳以上」では30.0%近くまで高くなっている。

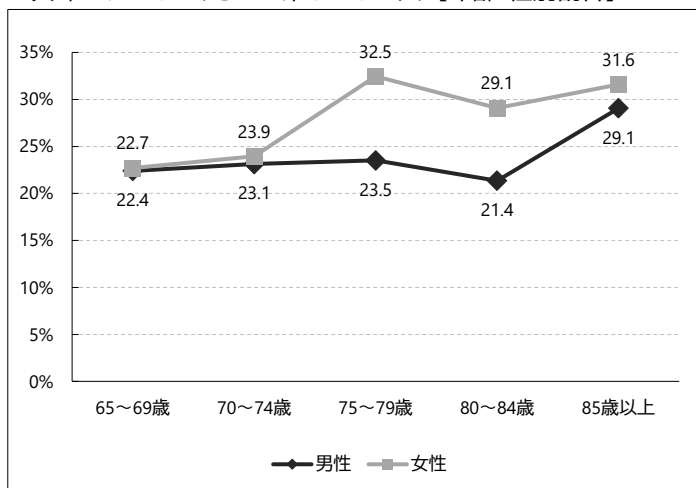
■興味がわかない、楽しめない【割合】



【圏域別割合】



■興味がわかない、心から楽しめない人※【年齢・性別割合】



※「はい」と回答した人

【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	67	93	63	44	50
女性	32	51	75	55	73

## ⑥ うつ傾向

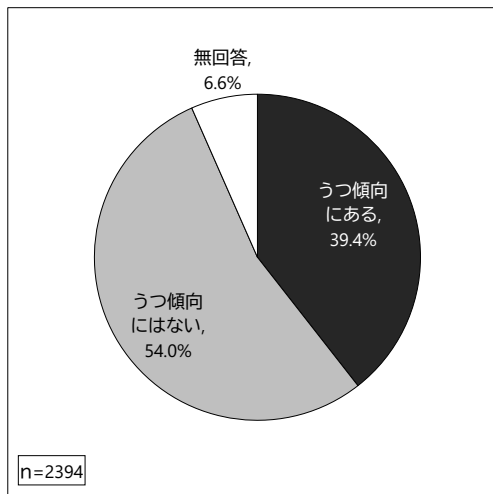
### うつ傾向の定義

本報告書では、問7の(3)、(4)でいずれか一つでも該当する選択肢(下の表の網掛けの箇所)に回答した場合、「うつ傾向にある」高齢者と定義した。

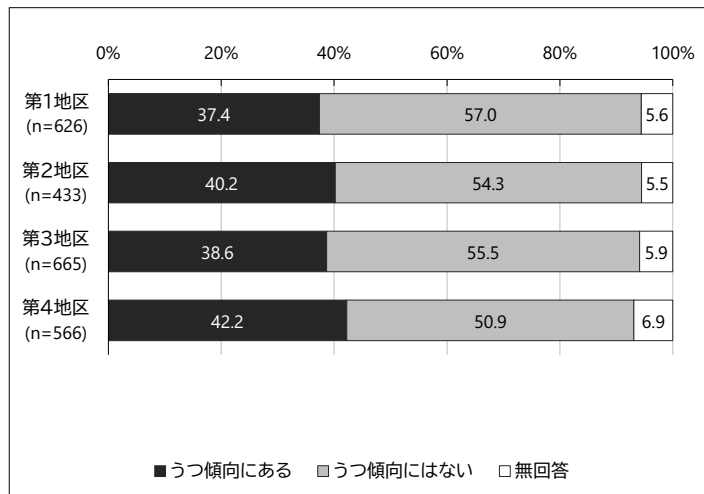
No.	設問内容	選択肢
(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

- ・「うつ傾向にある」が39.4%、「うつ傾向にはない」が54.0%となっている。
- ・圏域別の「うつ傾向にある」は、第4地区が42.2%でその他の地区より高く、一方、第1地区は37.4%でその他の地区より低くなっている。

■うつ傾向【割合】

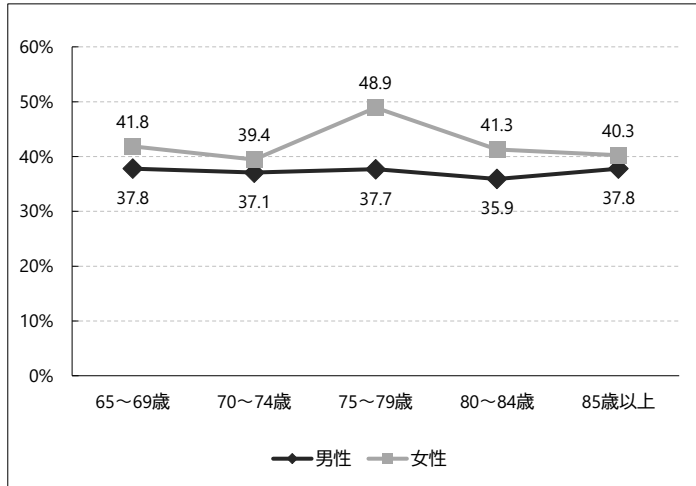


【圏域別割合】



・年齢別の結果を性別で見ると、「うつ傾向にある人」は、すべての年齢で女性が男性より高くなっている。また、女性は「75～79歳」が特に高く50.0%近くになっているが、ほかの年齢は40.0%前後となっている。男性はすべての年齢で40.0%を下回っている。

■「うつ傾向にある」人※【年齢・性別割合】



※問7の(3)、(4)で、いずれか一つでも該当する選択肢(前頁表の網掛けの箇所)に回答した人

【実数】(単位:人)

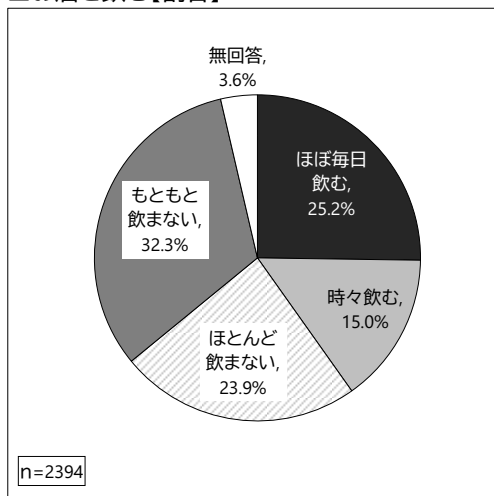
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	113	149	101	74	65
女性	59	84	113	78	93



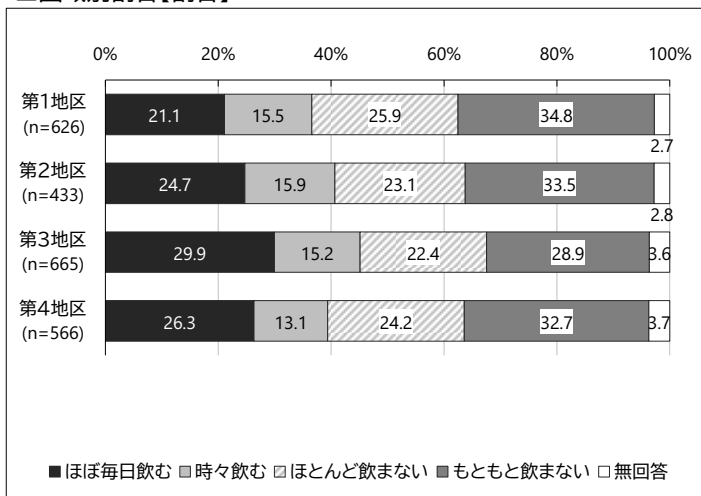
## (5) お酒は飲みますか。(SA)

- ・飲酒の状況について、「もともと飲まない」が32.3%で最も高く、次いで「ほぼ毎日飲む」が25.2%、「ほとんど飲まない」が23.9%となっている。
- ・圏域別の「ほぼ毎日飲む」は、第3地区が29.9%でその他の地区より高く、一方、第1地区は21.1%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別で見ると、「ほぼ毎日飲む」は、すべての年齢で男性の割合が女性の割合よりかなり高くなっている。また、男性は「70～74歳」以降から、女性はすべての年齢で高齢になるほど低くなる傾向がうかがえ、男性は「85歳以上」で30.0%を下回り、女性は「80～84歳」以降で5.0%を下回っている。

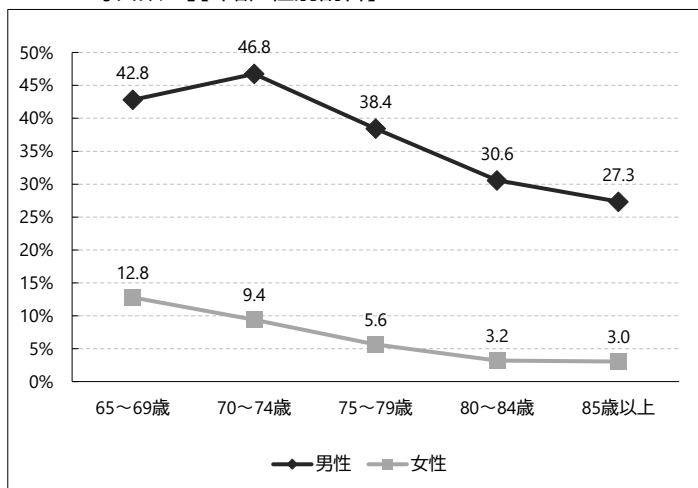
■お酒を飲む【割合】



■圏域別割合【割合】



■「ほぼ毎日飲む」【年齢・性別割合】



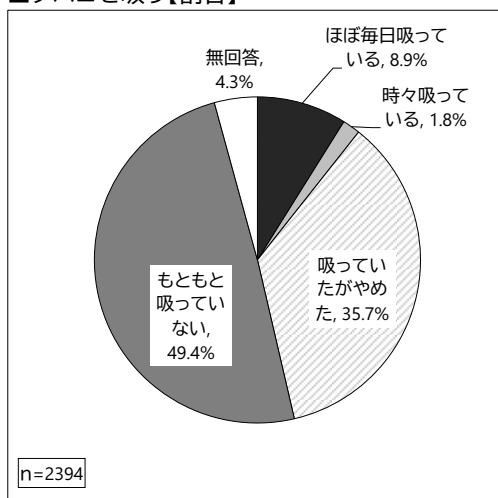
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	128	188	103	63	47
女性	18	20	13	6	7

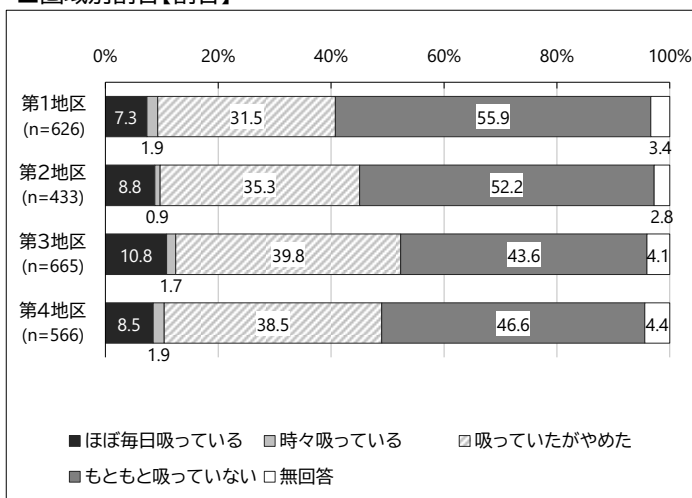
## (6) タバコは吸っていますか。(SA)

- ・喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が49.4%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が35.7%、「ほぼ毎日吸っている」が8.9%となっている。
- ・圏域別の「ほぼ毎日吸っている」は、第3地区が10.8%でその他の地区より高く、一方、第1地区が7.3%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「ほぼ毎日吸っている」は、すべての年齢で男性が女性より高くなっている。また、男性は高齢になるほど低くなる傾向がうかがえ、「65～69歳」では20.0%を超えているが、「80～84歳」では5.0%を下回るほど低くなっている。女性は高くても「70～74歳」が5.0%をわずかに超える程度で、ほかの年齢は5.0%を下回っている。

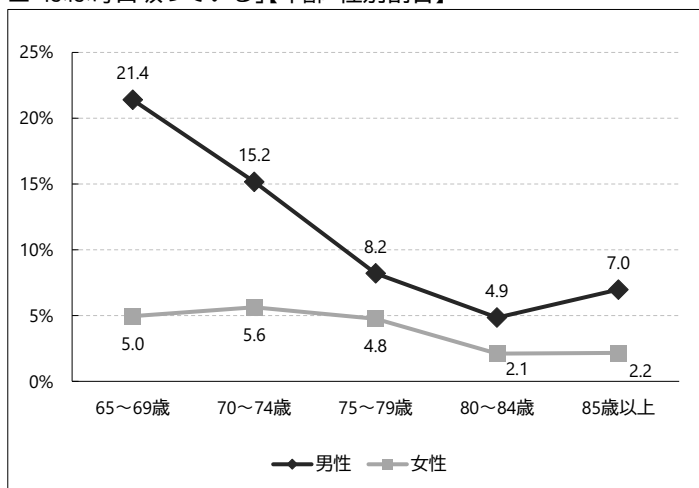
■タバコを吸う【割合】



■圏域別割合【割合】



■「ほぼ毎日吸っている」【年齢・性別割合】



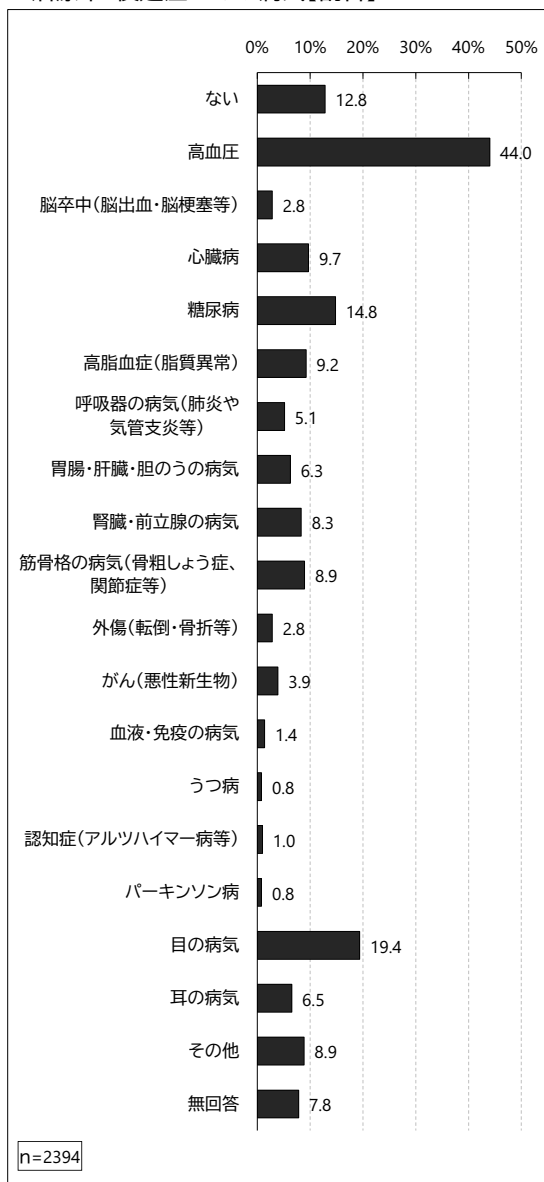
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	64	61	22	10	12
女性	7	12	11	4	5

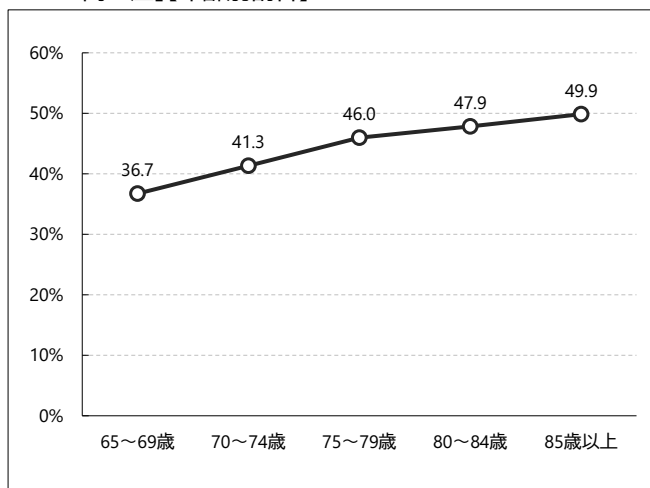
## (7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(MA)

- ・現在治療中、または後遺症のある病気は、「高血圧」が 44.0%で最も高く、次いで「目の病気」が 19.4%、「糖尿病」が 14.8%となっている。
- ・「高血圧」の結果を年齢別にみると、高齢になるほど高くなっており、「65～69 歳」の 40.0%弱から「85 歳以上」では一気に 50.0%近くまで増加している。

■治療中・後遺症のある病気【割合】



■「高血圧」【年齢別割合】



【実数】(単位:人)

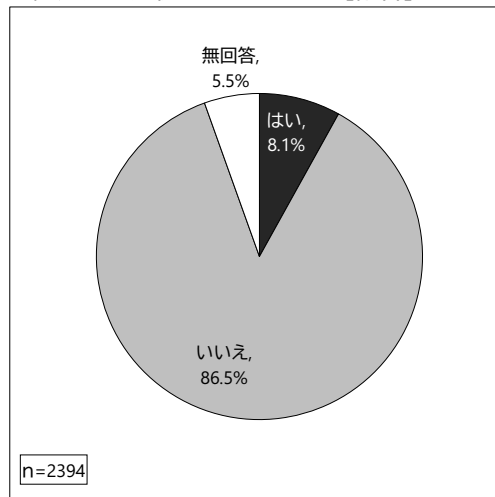
65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
162	255	230	190	203

## 問8 認知症に関する相談窓口などについて

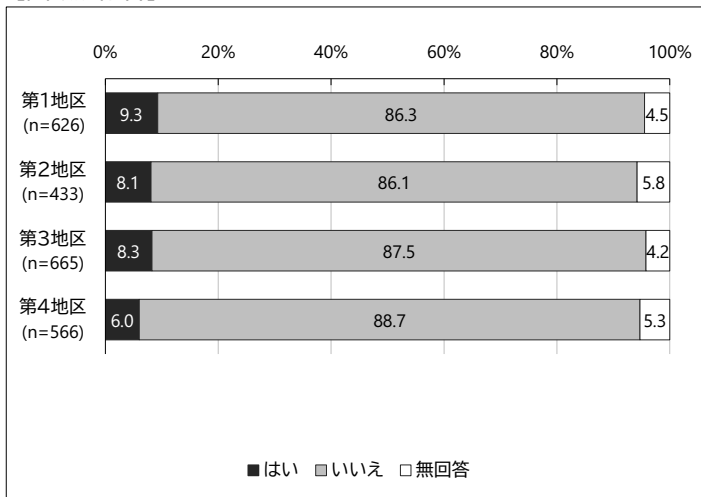
### (1) 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか。(SA)

- ・ 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいるかについて、「はい」が8.1%、「いいえ」が86.5%となっている。
- ・ 圏域別の「はい」は、第1地区が9.3%でその他の地区より高く、一方、第4地区は6.0%でその他の地区より低くなっている
- ・ 年齢別の結果を性別で見ると、「はい（認知症の症状がある人がいる）」は、「85歳以上」をのぞく年齢で、女性が男性より高くなっている。また、男性は「70～74歳」以降は高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「85歳以上」では10.0%を超えている。女性はすべての年齢で10.0%を下回っている。

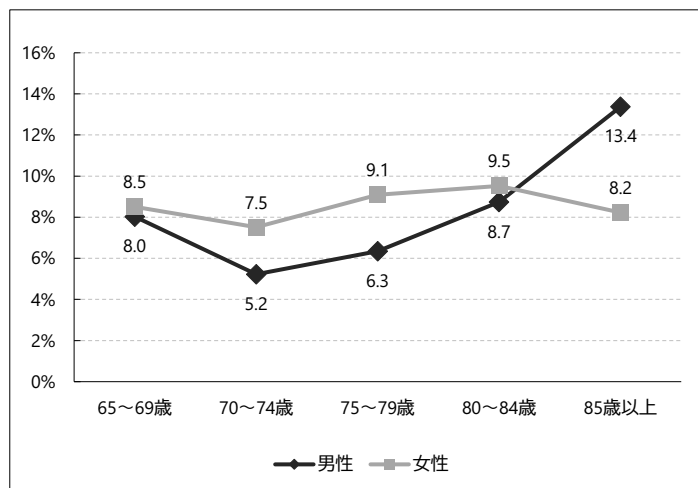
■認知症の症状がある人がいる【割合】



【圏域別割合】



■はい(認知症の症状がある人がいる)【年齢・性別割合】



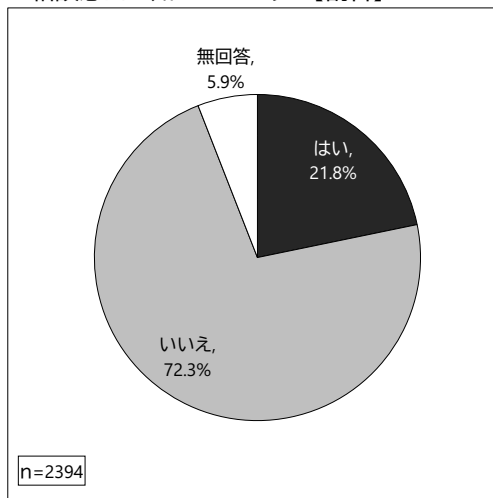
【実数】(単位:人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	24	21	17	18	23
女性	12	16	21	18	19

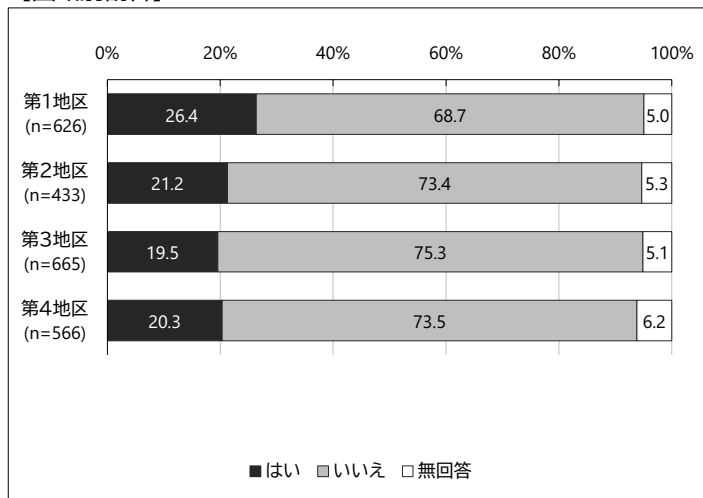
## (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(SA)

- ・ 認知症に関する相談窓口の認知度は、「はい」が21.8%、「いいえ」が72.3%となっている。
- ・ 圏域別の「いいえ」は、第3地区が75.3%でその他の地区より高く、一方、第1地区は68.7%でその他の地区より低くなっている。
- ・ 年齢別の結果を性別でみると、「いいえ（認知症に関する相談窓口を知らない）」は、「85歳以上」をのぞく年齢で、男性が女性より高くなっている。また、男性は「80～84歳」まではおおむね70.0%～80.0%の間だが、「85歳以上」では60.0%を下回っている。女性の「75～79歳」は75.0%を超えて特に高いが、ほかの年齢はおおむね65.0%～70.0%の間となっている。

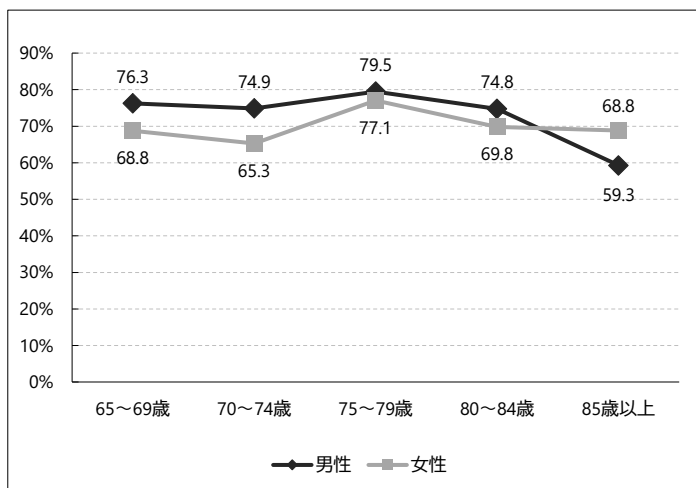
■相談窓口を知っていますか【割合】



【圏域別割合】



■いいえ（認知症に関する相談窓口を知らない人）【年齢・性別割合】



【実数】(単位:人)

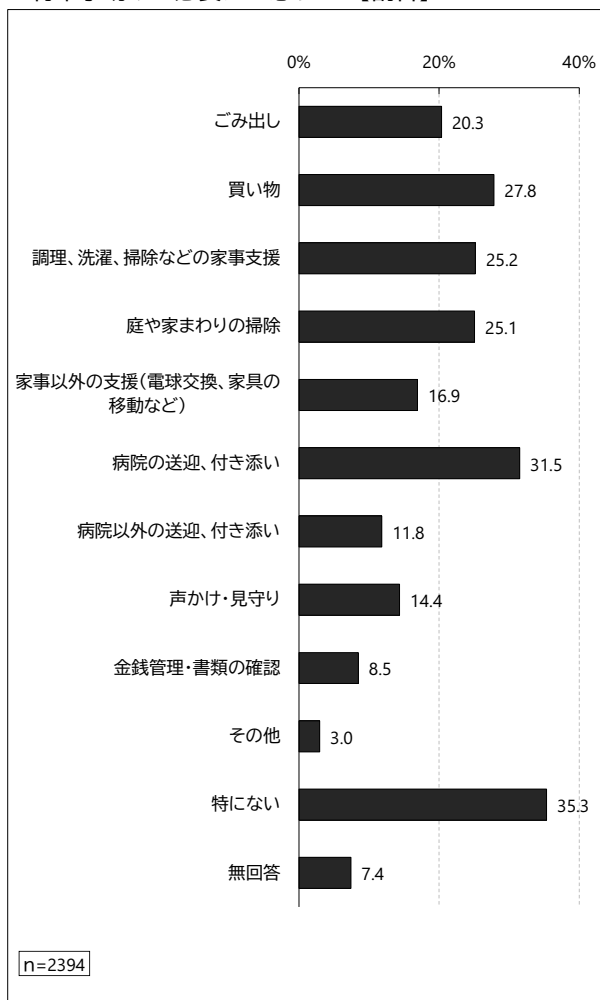
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	228	301	213	154	102
女性	97	139	178	132	159

## 問9 生活支援、見守りについて

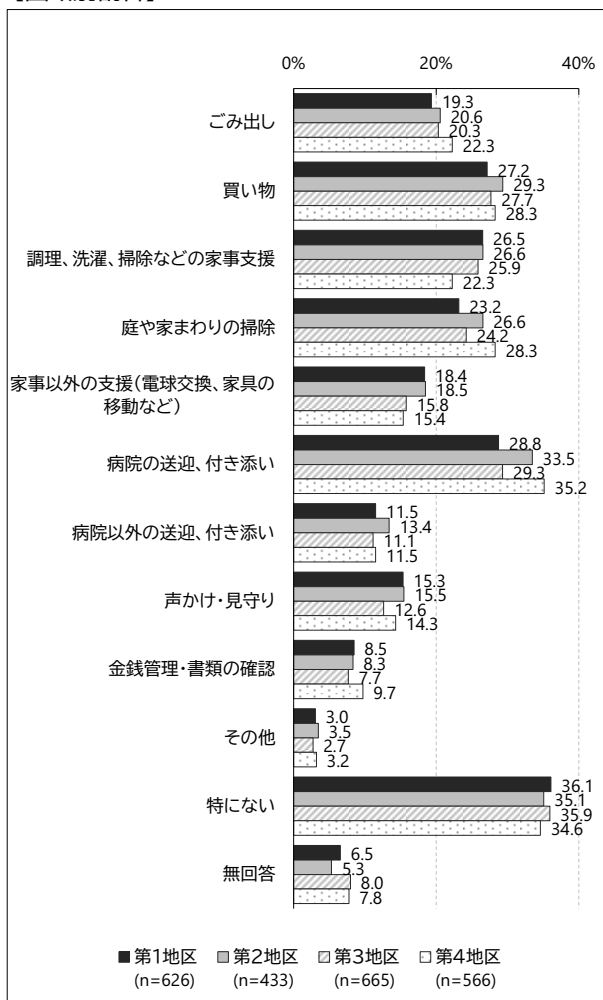
(1) あなたは、普段の生活の中で将来手助けが必要だと思うこと(または手助けをしてほしいこと)は何かありますか。(MA)

- ・ 普段の生活の中で将来手助けが必要(または手助けしてほしい)と思うことはあるかについて、「特にない」が35.3%で最も高く、次いで「病院の送迎、付き添い」が31.5%、「買い物」が27.8%となっている。
- ・ 圏域別の「特にない」は第1地区が36.1%でその他の地区より高く、第4地区は34.6%で唯一35.0%を下回っている。「病院の送迎、付き添い」は、第4地区が35.2%で唯一35.0%を超え、第1地区と第3地区はそれぞれ28.8%と29.3%でいずれも30.0%を下回っている。「買い物」は、第2地区が29.3%でその他の地区より高く、一方、第1地区は27.2%でその他の地区より低くなっている。

■将来手助けが必要だと思うこと【割合】

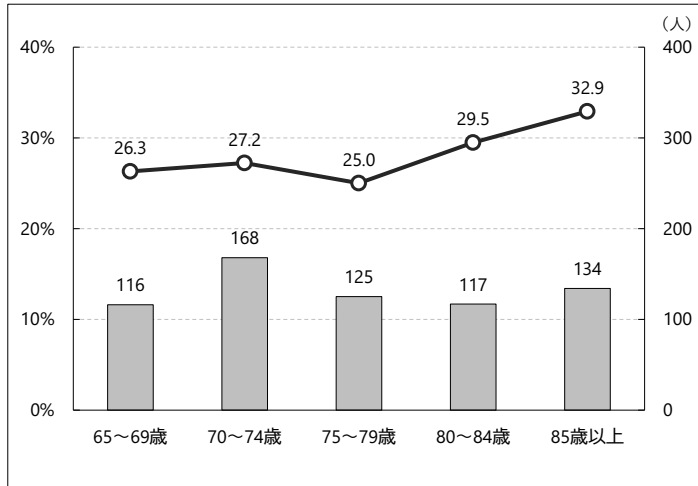


【圏域別割合】



- ・「病院の送迎、付き添い」の結果を年齢別でみると、「75～79歳」で一旦25.0%に下がるものの、その後再び上昇して「85歳以上」で30.0%を超えている。
- ・「買い物」の結果を年齢別でみると、高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「75～79歳」で30.0%を超えている。

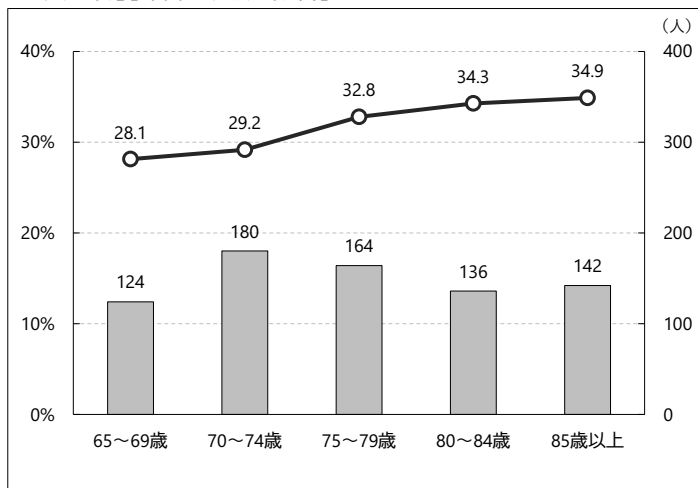
■「病院の送迎、付き添い」【年齢別実数・割合】



【実数】(単位:人)

1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者 65歳以上)
75	78

■「買い物」【年齢別実数・割合】

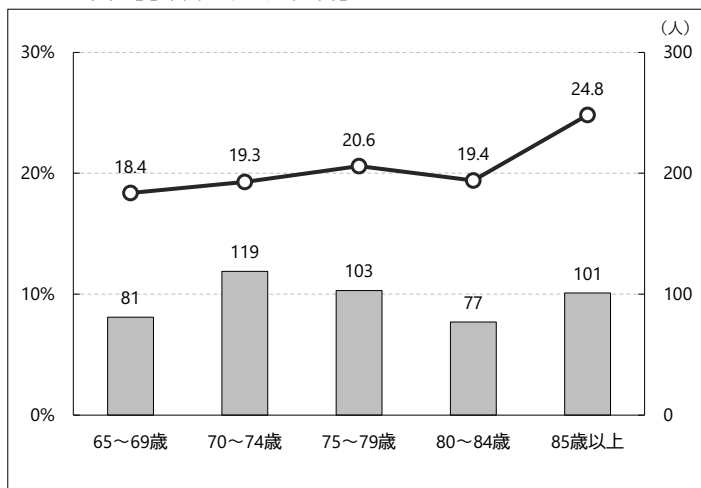


【実数】(単位:人)

1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者 65歳以上)
179	201

- ・「ごみ出し」の結果を年齢別で見ると、「80～84歳」までは20.0%前後だが、「85歳以上」では25.0%近くになっている。
- ・「病院以外の送迎、付き添い」の結果を年齢別で見ると、「75～79歳」で特に低く10.0%を下回り、「85歳以上」で特に高く15.0%を超えるが、ほかの年齢はおおむね10.0%前後となっている。

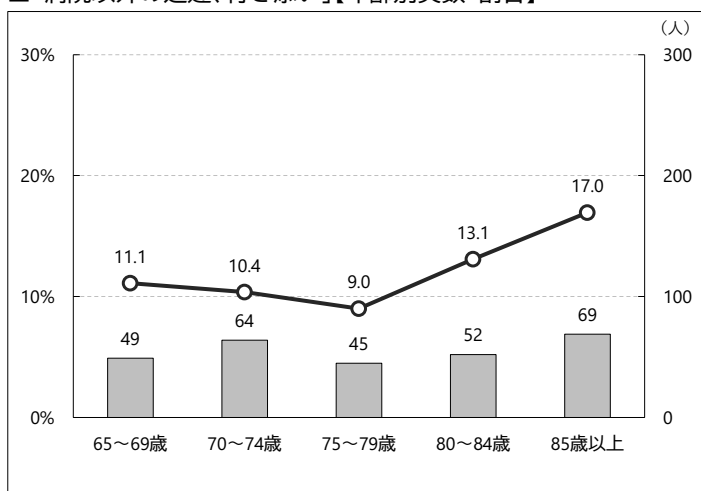
■「ごみ出し」【年齢別実数・割合】



【実数】(単位:人)

1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者 65歳以上)
132	147

■「病院以外の送迎、付き添い」【年齢別実数・割合】



【実数】(単位:人)

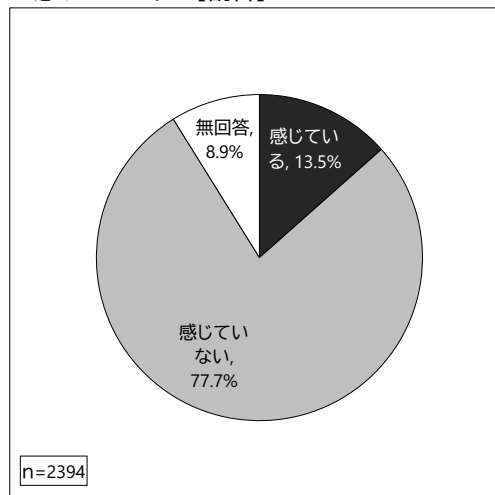
1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者 65歳以上)
75	78



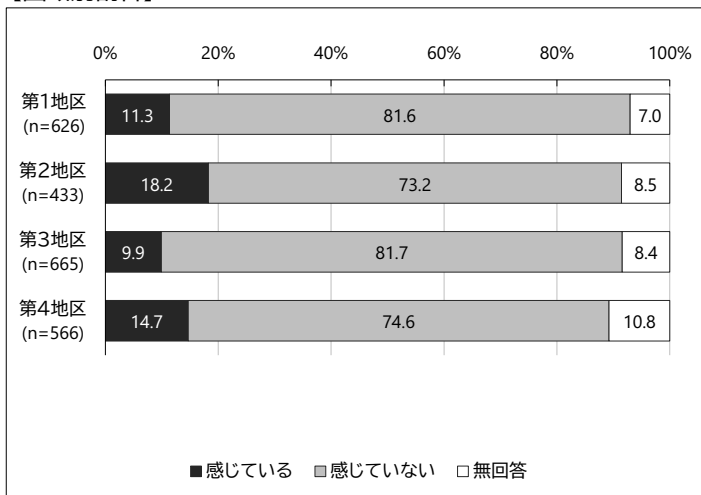
## (2) あなたは、日用品の買い物に不安や不便を感じていますか。(SA)

- ・日用品の買い物に不安や不便を感じているかについて、「感じている」が13.5%、「感じていない」が77.7%となっている。
- ・圏域別の「感じている」は、第2地区が18.2%でその他の地区より高く、一方、第3地区は9.9%でその他の地区より低くなっている。

### ■日用品の買い物に不安と不便を感じていますか【割合】



### 【圏域別割合】

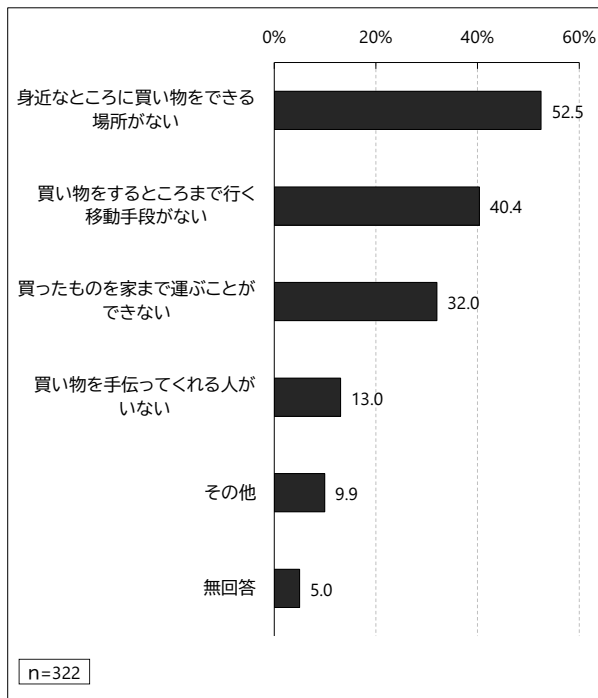


(2)で「感じている」の方のみ

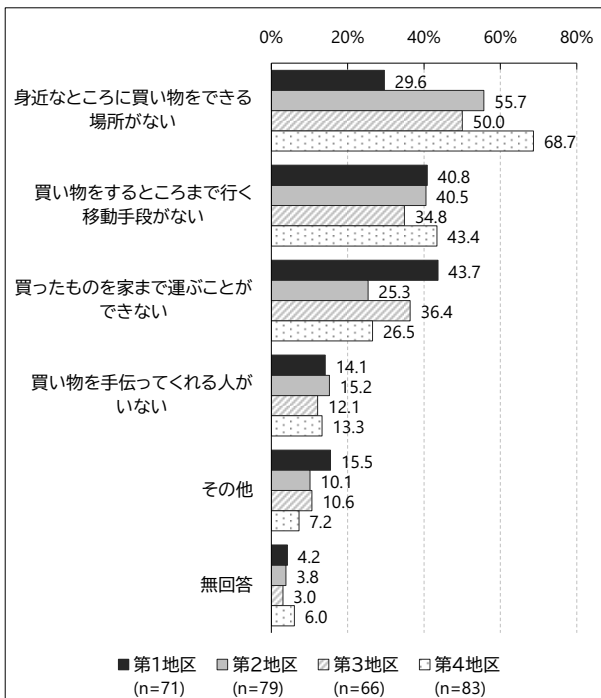
(2)-① 日用品の買い物のどのようなことに不安や不便を感じていますか。(MA)

- ・日用品の買い物で不安や不便を感じている理由は、「身近なところに買い物をできる場所がない」が52.5%で最も高く、次いで「買い物をするところまで行く移動手段がない」が40.4%、「買ったものを家まで運ぶことができない」が32.0%となっている。
- ・圏域別の「身近なところに買い物をできる場所がない」は、第4地区が68.7%で唯一65.0%を超えて高く、第1地区が29.6%で唯一30.0%を下回って低くなっている。「買い物をするところまで行く移動手段がない」は、第1地区、第2地区、第4地区がそれぞれ40.8%、40.5%、43.4%でいずれも40.0%を超えているが、第3地区は34.8%で唯一40.0%を下回っている。「買ったものを家まで運ぶことができない」は、第1地区が43.7%で唯一40.0%を超え、第2地区と第4地区はそれぞれ25.3%と26.5%でいずれも30.0%を下回っている。

■不安や不便を感じている理由【割合】



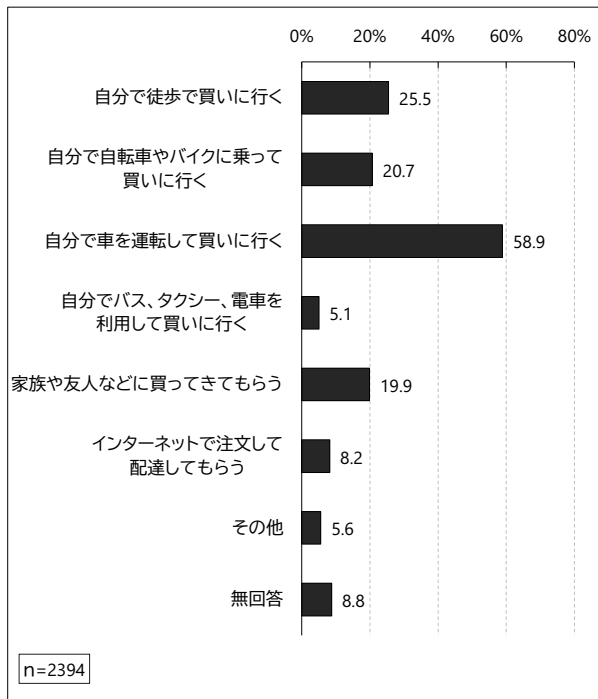
【圏域別割合】



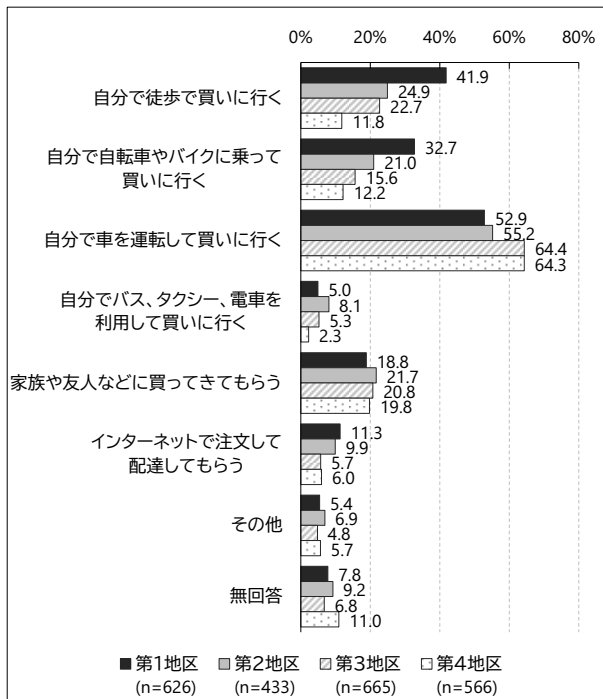
### (3) あなたは生活に必要な買い物をする際、どのような方法で行っていますか。(MA)

- ・生活に必要な買い物をする際の方法について、「自分で車を運転して買いに行く」が58.9%で最も高く、次いで「自分で徒歩で買いに行く」が25.5%、「自分で自転車やバイクに乗って買いに行く」が20.7%となっている。
- ・圏域別の「自分で車を運転して買いに行く」は、第3地区と第4地区がそれぞれ64.4%と64.3%で60.0%を超え、第1地区が52.9%で唯一55.0%を下回っている。「自分で徒歩で買いに行く」は、第1地区が41.9%で唯一40.0%を超えて高く、第4地区が11.8%で唯一15.0%を下回るほど低くなっている。「自分で自転車やバイクに乗って買いに行く」は、第1地区が32.7%で唯一30.0%を超えて高く、第4地区は12.2%で唯一15.0%を下回るほど低くなっている。

■必要な買い物をする方法【割合】



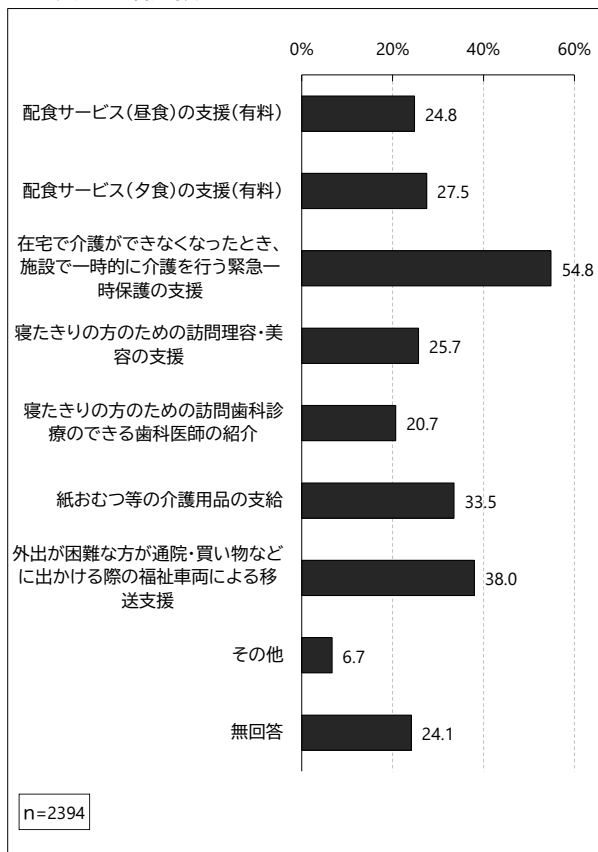
【圏域別割合】



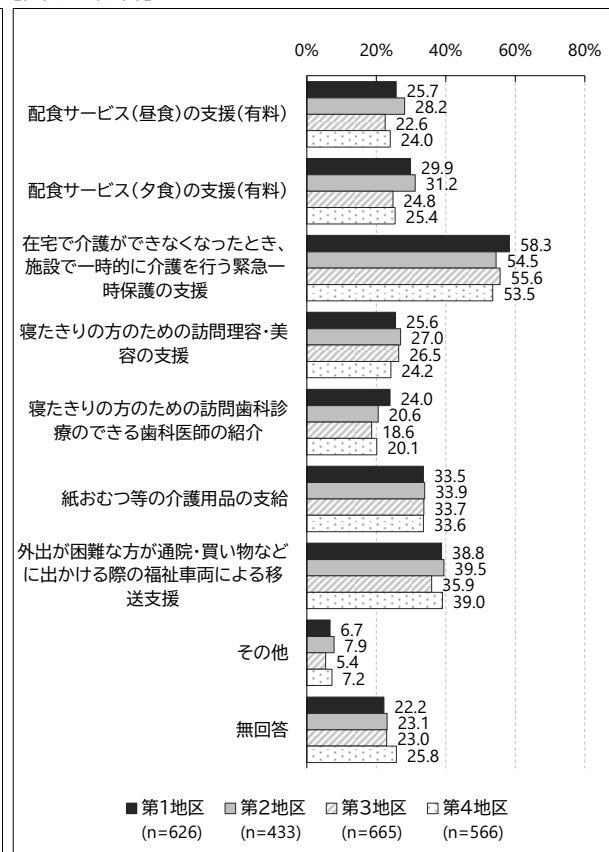
(4) あなたの同居家族が寝たきりの状態で、介護が必要になった(または既に介護を必要としている)場合、生活支援として何が必要ですか。(MA)

- ・同居人に介護が必要になった際に必要だと思う生活支援は、「在宅で介護ができなくなったとき、施設で一時的に介護を行う緊急一時保護の支援」が 54.8%で最も高く、次いで「外出が困難な方が通院・買い物などに出かける際の福祉車両による移送支援」が 38.0%、「紙おむつ等の介護用品の支給」が 33.5%となっている。
- ・圏域別の「在宅で介護ができなくなったとき、施設で一時的に介護を行う緊急一時保護の支援」は、第1地区が 58.3%でその他の地区より高く、一方、第4地区は 53.5%でその他の地区より低くなっている。「外出が困難な方が通院・買い物などに出かける際の福祉車両による移送支援」は、第2地区が 39.5%でその他の地区より高く、一方、第3地区は 35.9%でその他の地区より低くなっている。「紙おむつ等の介護用品の支給」は、いずれも 33.0%台で地区別での差はみられない。

■必要な生活支援



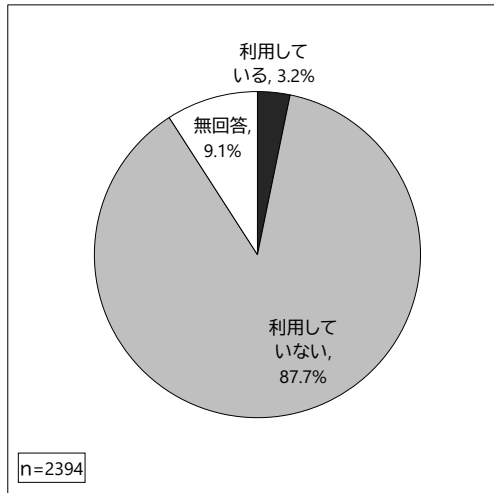
【圏域別割合】



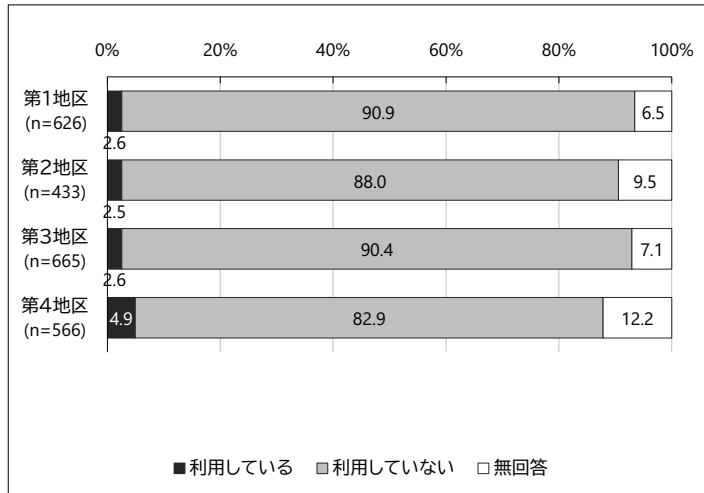
(5) 安否確認のために、自宅に見守り機能がある機器を設置するサービスを利用していますか。  
 (例:感知センサーなどにより異変を検知し、親族等へ連絡するサービスなど)。(SA)

- ・安否確認のための機器設置サービスの利用状況について、「利用している」が3.2%、「利用していない」が87.7%となっている。
- ・圏域別の「利用していない」は、第1地区が90.9%でその他の地区より高く、一方、第4地区は82.9%でその他の地区より低くなっている。

■見守り機器を設置するサービスの利用



【圏域別割合】

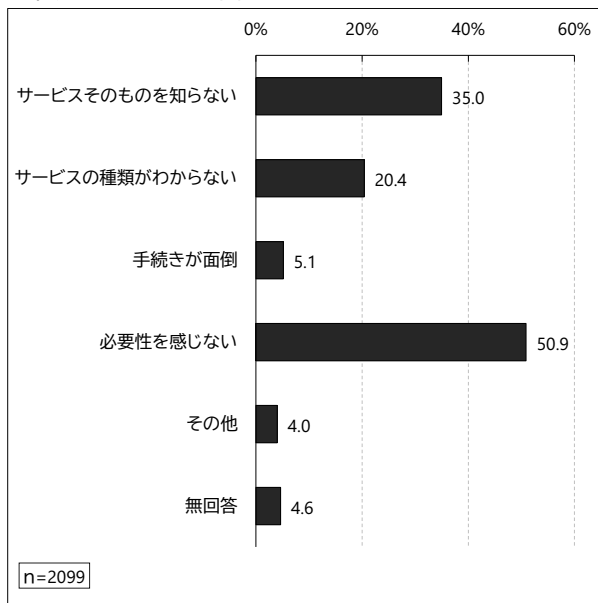


(5)で「利用していない」の方のみ

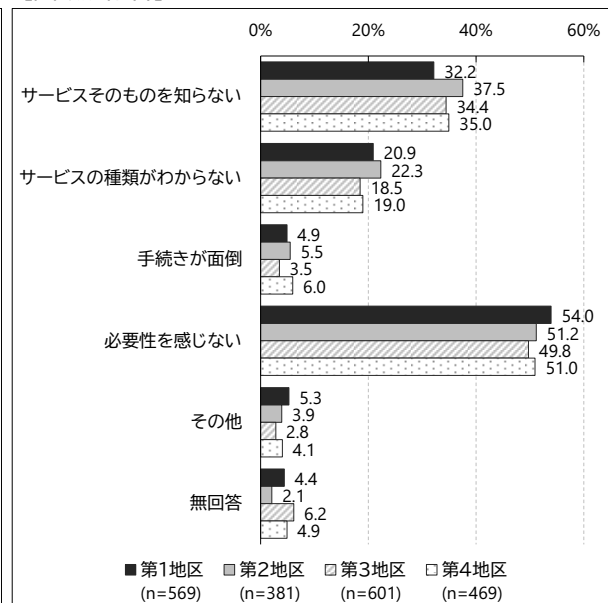
(5)-① 利用していない理由は何ですか。(MA)

- ・安否確認のための機器設置サービスを利用していない理由は、「必要性を感じない」が50.9%で最も高く、次いで「サービスそのものを知らない」が35.0%、「サービスの種類がわからない」が20.4%となっている。
- ・圏域別の「必要性を感じない」は、第1地区が54.0%でその他の地区より高く、第3地区が49.8%で唯一50.0%を下回っている。「サービスそのものを知らない」は、第2地区が37.5%でその他の地区より高く、一方、第1地区は32.2%でその他の地区より低くなっている。「サービスの種類がわからない」は、第2地区が22.3%でその他の地区より高く、一方、第3地区は18.5%でその他の地区より低くなっている。

■利用していない理由



【圏域別割合】

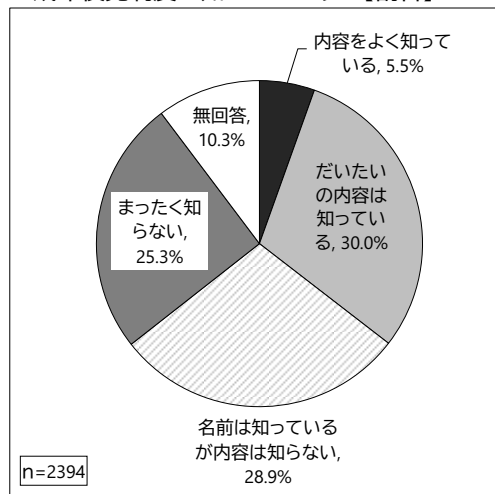


## 問 10 成年後見制度について

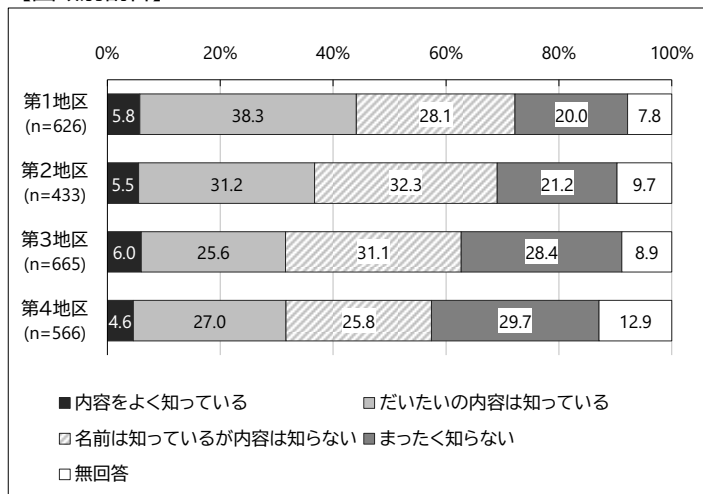
### (1) 成年後見制度を知っていますか。(SA)

- ・成年後見制度の認知度について、「だいたいの内容は知っている」が30.0%で最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らない」が28.9%、「まったく知らない」が25.3%となっている。また、「内容をよく知っている」と「だいたいの内容は知っている」を合わせた『知っている』は35.5%、「名前は知っているが内容は知らない」と「まったく知らない」を合わせた『知らない』は54.2%となっている。
- ・圏域別の『知っている』は、第1地区が44.1%でその他の地区より高く、第3地区と第4地区がそれぞれ31.6%でその他の地区より低くなっている。また、『知らない』は、第3地区が59.5%でその他の地区より高く、一方、第1地区は48.1%でその他の地区より低くなっている。
- ・問8(1)「認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか」の設問で、「はい」と回答した人の成年後見制度の認知度をみると、全体の傾向と大きな差はみられず、『知らない』は58.0%で60.0%近くになっている。

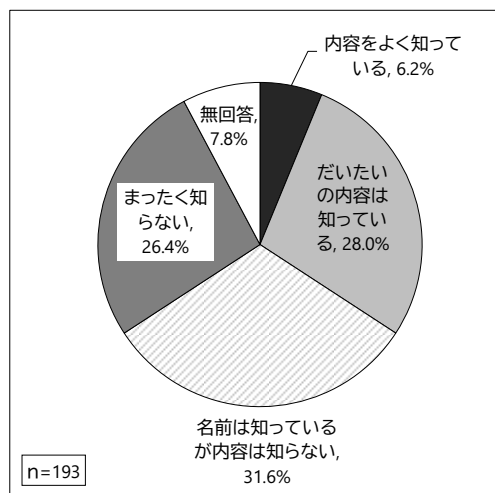
#### ■成年後見制度を知っていますか【割合】



#### 【圏域別割合】



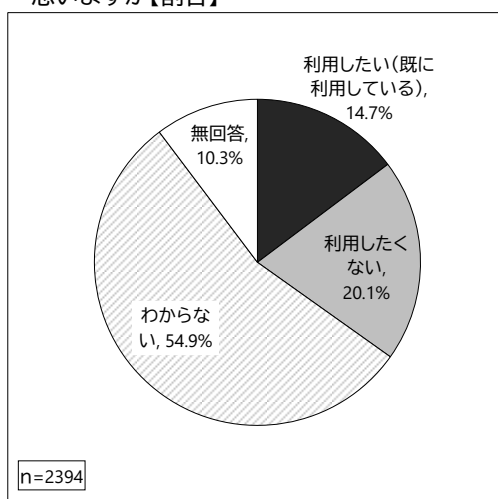
#### ■問8(1)で「はい」(認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいる)と回答した人【割合】



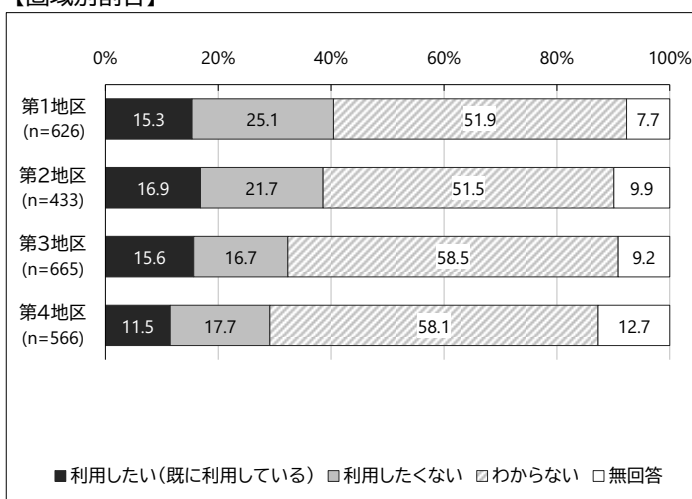
(2) あなたやご家族が認知症などによって物事を判断する能力が十分ではなくなった場合に、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(SA)

- ・ 家族に必要性を感じた際の成年後見制度の利用意向状況について、「わからない」が54.9%で最も高く、次いで「利用したくない」が20.1%、「利用したい（既に利用している）」が14.7%となっている。
- ・ 圏域別の「利用したい（既に利用している）」は、第2地区が16.9%でその他の地区より高く、一方、第4地区は11.5%でその他の地区より低くなっている。また、「利用したくない」は、第1地区が25.1%でその他の地区より高く、一方、第3地区は16.7%でその他の地区より低くなっている。
- ・ 問8（1）「認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか」の設問で、「はい」と回答した人の成年後見制度の利用意向状況をみると、全体の傾向と大きな差はみられず、「利用したい（既に利用している）」は18.1%、「利用したくない」は22.8%となっている。

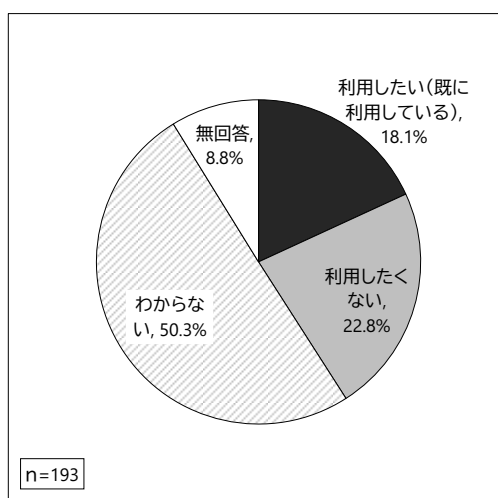
■「成年後見制度」を利用したいと思いますか【割合】



【圏域別割合】



■問8(1)で「はい」(認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいる)と回答した人【割合】



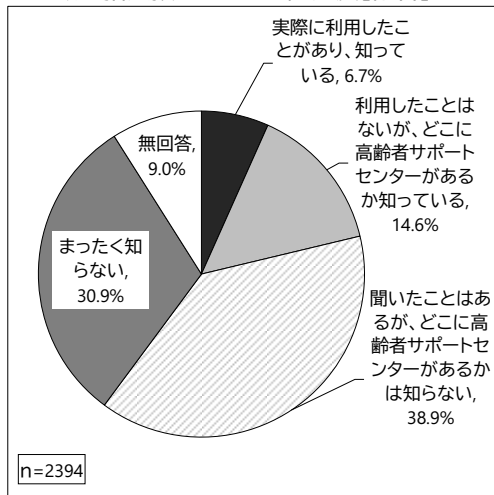


## 問 11 相談サービスについて

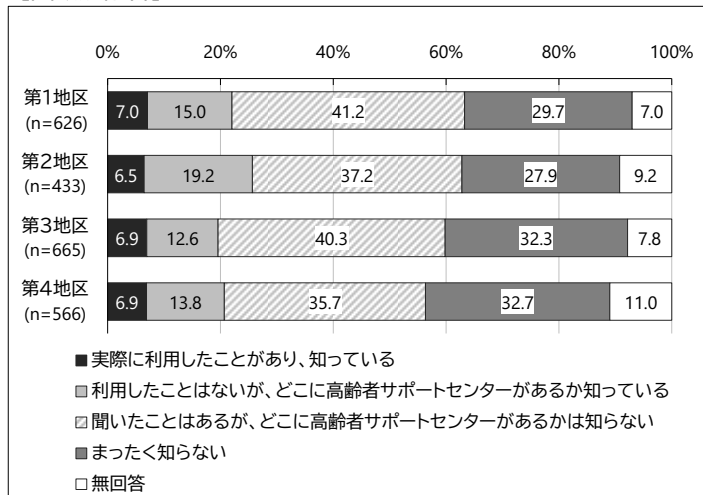
### (1) 高齢者のさまざまな相談を受け付けている高齢者サポートセンター(地域包括支援センター)を知っていますか。(SA)

- ・ 高齢者サポートセンター(地域包括支援センター)の認知度について、「聞いたことはあるが、どこに高齢者サポートセンターがあるかは知らない」が38.9%で最も高く、次いで「まったく知らない」が30.9%、「利用したことはないが、どこに高齢者サポートセンターがあるか知っている」が14.6%となっている。
- ・ 圏域別の「まったく知らない」は、第4地区が32.7%でその他の地区より高く、一方、第2地区は27.9%でその他の地区より低くなっている。
- ・ 年齢別の結果を性別でみると、「まったく知らない」は、男性は高齢になるほど低くなる傾向がうかがえ、「80～84歳」までは30.0%を超えているものの、「85歳以上」では30.0%を下回っている。女性は高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「80～84歳」で30.0%を超えている。

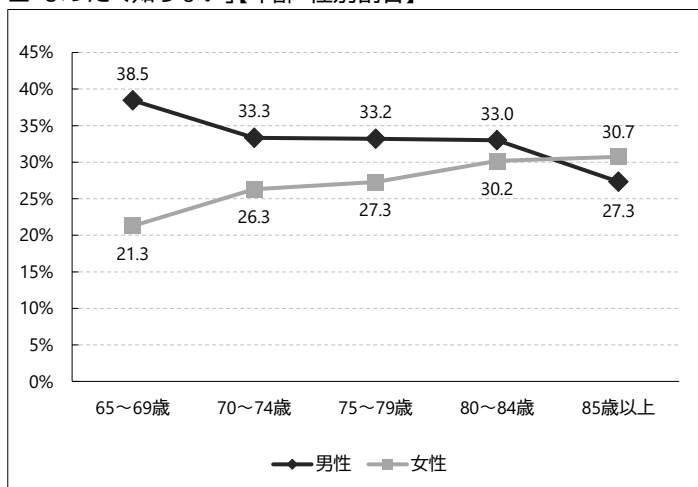
#### ■地域包括支援センターの認知度【割合】



#### 【圏域別割合】



#### ■「まったく知らない」【年齢・性別割合】



#### 【実数】(単位:人)

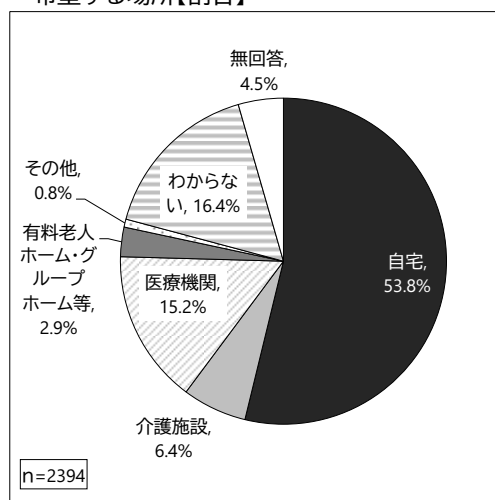
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	115	134	89	68	47
女性	30	56	63	57	71

## 問 12 人生の最期を迎える場所について

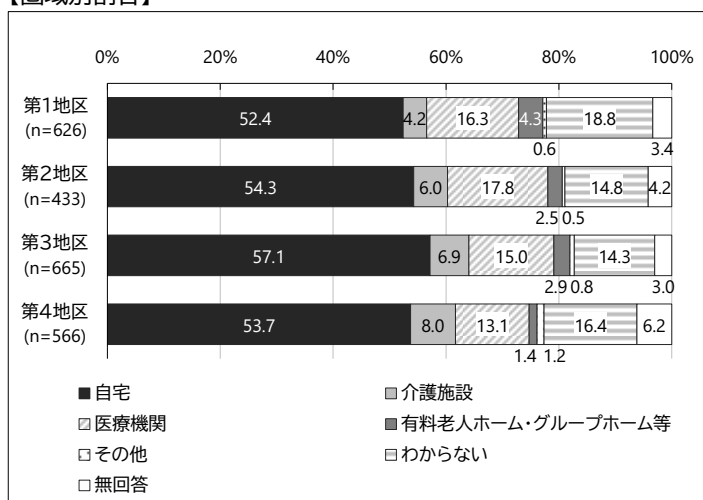
### (1) あなたが将来、人生の最期を迎える場所として、希望する場所を教えてください。(SA)

- ・人生の最期を迎える場所として望む場所は、「自宅」が53.8%で最も高く、次いで「わからない」が16.4%、「医療機関」が15.2%となっている。
- ・圏域別の「自宅」は、第3地区が57.1%でその他の地区より高く、一方、第1地区は52.4%でその他の地区より低くなっている。
- ・年齢別の結果を性別でみると、「自宅」は、すべての年齢で男性が女性より高くなっている。また、男性は「65～69歳」が特に低く50.0%を下回り、「75～79歳」が特に高く60.0%を超えている。女性は高齢になるほど高くなる傾向がうかがえ、「80～84歳」で50.0%を超えている。

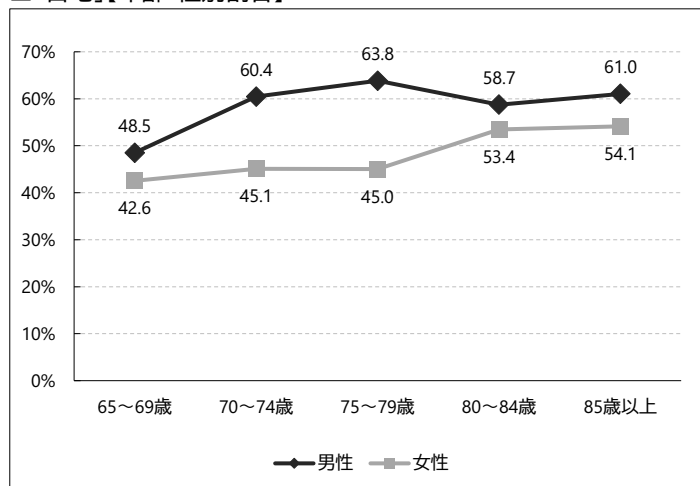
#### ■人生の最期を迎える場所として、希望する場所【割合】



#### 【圏域別割合】



#### ■「自宅」【年齢・性別割合】



#### 【実数】(単位:人)

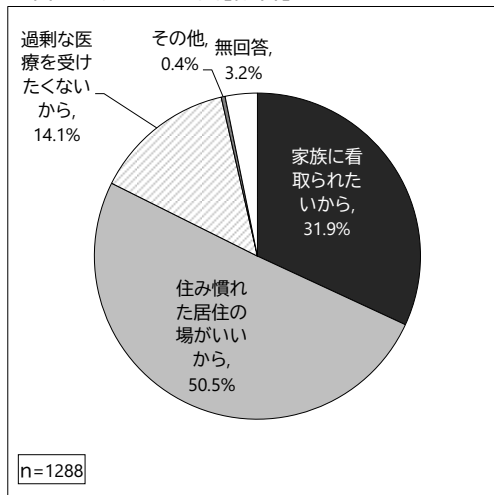
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	145	243	171	121	105
女性	60	96	104	101	125

(1)において「自宅」の方のみ

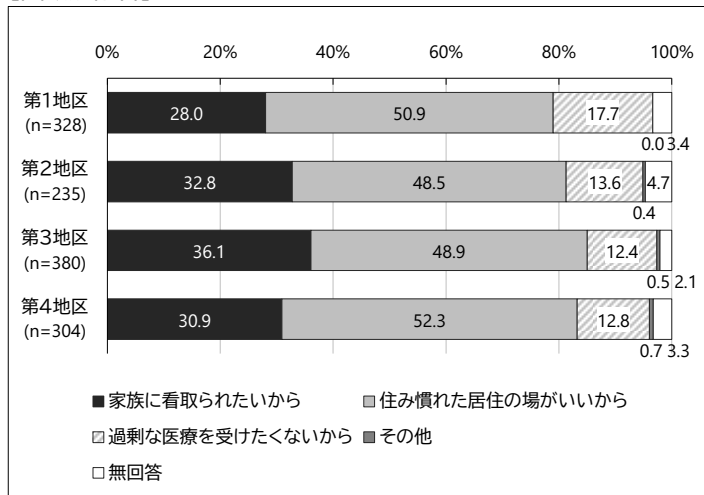
(1)-① 選んだ理由は、何ですか。(SA)

- ・人生の最期を迎える場所として「自宅」を選んだ理由は、「住み慣れた居住の場がいいから」が50.5%で最も高く、次いで「家族に看取られたいから」が31.9%、「過剰な医療を受けたくないから」が14.1%となっている。
- ・圏域別の「住み慣れた居住の場がいいから」は、第4地区が52.3%でその他の地区より高く、一方、第2地区は48.5%でその他の地区より低くなっている。

■自宅を選んだ理由【割合】



【圏域別割合】

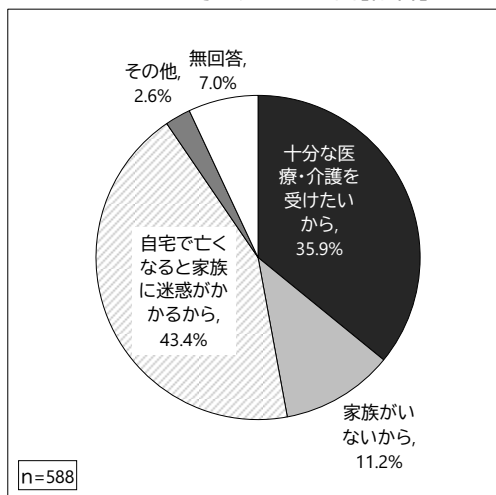


(1)において「介護施設」「医療機関」「有料老人ホーム・グループホーム等」の方のみ

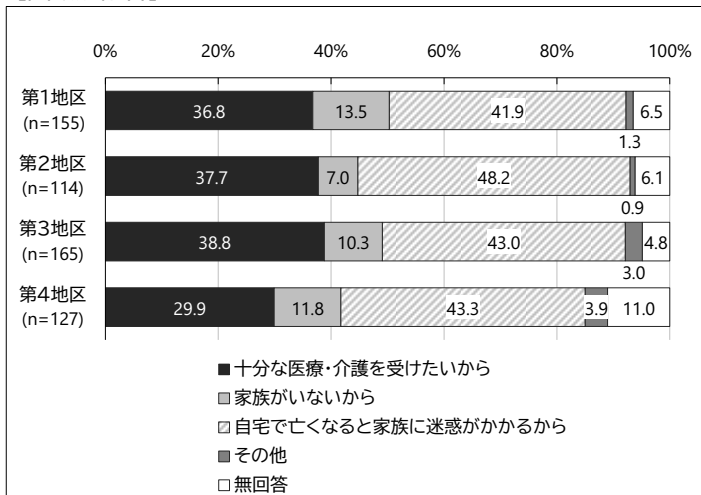
(1)-② 選んだ理由は、何ですか。(SA)

- ・人生の最期を迎える場所として「介護施設」や「医療機関」、「有料老人ホーム・グループホーム等」を選んだ理由は、「自宅で亡くなると家族に迷惑がかかるから」が43.4%で最も高く、次いで「十分な医療・介護を受けたいから」が35.9%、「家族がいないから」が11.2%となっている。
- ・圏域別の「自宅で亡くなると家族に迷惑がかかるから」は、第2地区が48.2%でその他の地区より高く、一方、第1地区は41.9%でその他の地区より低くなっている。

■介護施設、医療機関、有料老人ホーム・グループホーム等を選んだ理由【割合】



【圏域別割合】



### Ⅲ アンケート結果のまとめ

#### 問1 あなたのご家族や生活状況について

---

- ・家族と同居している人が 50.0%を超え、1人暮らしが 20.0%を超えている。第1地区は、1人暮らしの割合が 25.0%を超えて最も高い。
- ・普段の生活でどなたかの介護・介助を必要としている人は、15.0%程度となっている。介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」が 20.0%を超えていて最も高く、「骨折・転倒」と「その他」が 10.0%を超えている。
- ・『経済的に「苦しい」人』は 30.0%を超え、圏域別では第4地区が最も高く 35.0%を超え、すべての年齢で男性が女性より高く、男女ともに高齢になるほど低くなる傾向がうかがえる。
- ・一戸建てに住んでいる人は、85.0%を超え、第3地区と第4地区は 90.0%を超えている。

#### 問2 からだを動かすことについて

---

- ・「①運動器の機能低下」について、機能が低下している人は 15.0%を超えている。その割合は、女性が高く、男女ともに高齢になるほど高くなっており、「85歳以上」では女性が 40.0%、男性が 30.0%を超えている。
- ・『転倒リスクのある人（この1年間で転んだ経験がある人）』は、30.0%を超え、『転倒の不安が大きい人（転倒に不安を感じている人）』は、半数を超えている。
- ・『閉じこもり傾向のある人（週1回の外出かほとんど外出しない人）』は、20.0%程度で、『外出の回数が減っている人（昨年と比べて外出回数が減っている人）』は 30.0%を超えている。また、圏域別の『閉じこもり傾向のある人』は、第3地区と第4地区が 20.0%を超えており、『外出の回数が減っている人』は、第4地区が 35.0%を超えて最も高い。さらに、外出を控えている理由としては、「新型コロナウイルス感染症などにかかることが不安」が 70.0%程度で最も高く、次いで「足腰などの痛み」が 30.0%を超え、「トイレの心配（頻尿・失禁など）」と「交通手段がない」がどちらも 10.0%を超えている。
- ・外出する際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」が 60.0%を超えている。そのうち、男性は「80～84歳」でも 70.0%を超えている。また、「徒歩」は 40.0%、「自転車」はどちらも 25.0%を超えており、圏域別ではどちらも第1地区が最も高くなっている。

#### 問3 食べることについて

---

- ・「②口腔機能低下」について、機能が低下している人は 25.0%を超えている。その割合は、男女ともに高齢になるほど高くなり、女性は 80～84歳以降で 30.0%を超える。
- ・「③低栄養状態」について、低栄養状態にある人（BMIが 18.5以下かつ6か月間で 2～3kg以上の体重減少があった人）は 1.0%程度となっている。
- ・歯磨きを毎日していない人は 10.0%程度で、『入れ歯を利用している人』は 50.0%を超えている。また、『毎日入れ歯を手入れしていない人』は 5.0%を超え、『入れ歯の噛み合わせが良くない人』は 15.0%を超えている。
- ・『誰かと食事をともにする機会がほとんどない人』は 10.0%程度で、男性が女性よりも高く、男性は高齢になるほど高くなり、70～74歳以降は 10.0%を超える。

#### 問4 毎日の生活について

---

- ・『物忘れが多いと感じる人』が40.0%を超え、『今日の月日がわからないときがある人』が20.0%を超え、ともに高齢になるほど高くなっている。
- ・「④認知機能の低下」について、機能が低下している人が10.0%を超えている。圏域別では、第3地区が最も多く、男女ともに高齢になるほど高くなる傾向で、「85歳以上」では20.0%を超えている。
- ・「⑤IADL（手段的日常生活動作で買い物・乗り物・財産の管理等のやや複雑な動作）の評価」について、評価の高い人は75.0%を超えるが、評価の低い人は10.0%未満となっている。圏域別では、評価の低い人は第4地区が最も多く、男女ともに高齢になるほど高くなり、「85歳以上」では男女ともに20.0%を超えている。
- ・新聞を読んでいる人は70.0%を超え、本や雑誌を読んでいる人は60.0%を超えている。一方、新聞を読んでいない人は女性が男性より高く、本や雑誌を読んでいない人は男性が女性より高い。また、健康についての記事や番組に関心がある人は85.0%を超え、女性より男性のほうが、関心が低い。
- ・友人の家を訪ねていない人は50.0%を超え、家族や友人の相談にのっていない人は30.0%程度となっている。
- ・若い人に自分から話しかけることがない人は30.0%程度で、すべての年齢で男性が女性より高くなっている。
- ・趣味がある人は65.0%を超え、生きがいがある人は70.0%を超えている。また、生きがいを感じていることは、「趣味や娯楽」、「友達や仲間とのつきあい」がともに50.0%を超え、「子どもや孫とのつきあい」も50.0%程度となっている。

#### 問5 地域での活動について

---

- ・地域での活動に「参加していない」人は、すべての活動で50.0%を超え、「学習・教養サークル」、「いきいきサロンなど」介護予防のための通いの場、「老人クラブ」は、いずれも70.0%を超えて特に高い。一方、「参加している」では、「町内会・自治会」は30.0%を超えていて特に高くなっている。
- ・地域活動への参加意向について、「参加者」としては50.0%、「企画・運営」としては30.0%を超えている。圏域別の「参加者」では第2地区が55.0%を超え、「企画・運営」では第1地区が35.0%を超えてともに最も高くなっている。

#### 問6 たすけあいについて

---

- ・心配事や愚痴を聞いてくれる人と聞いてあげる人は、「配偶者」がどちらも40.0%を超えているが、男性はどちらも60.0%を超えて最も高くなっている一方、女性はどちらも20.0%程度と低くなっている。また、女性はどちらも「友人」が50.0%を超えて最も高い。
- ・看病や世話をしてくれる人としてあげる人は、「配偶者」がどちらも50.0%を超えているが、男性がどちらも70.0%を超えて最も高くなっている一方、女性は「配偶者」がどちらも25.0%程度と低くなっている。また、女性はどちらも「同居の子ども」と「別居の子ども」の割合が高く、看病や世話をしてくれる人では35.0%、してあげる人では25.0%を超えている。
- ・家族や友人・知人以外の相談相手が「いない」人は、45.0%を超え、男女ともに高齢になるほど低くなっている。
- ・友人・知人と会う頻度は、ほとんどいない人が20.0%程度で、男性が女性より高くなっている。また、よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」が45.0%を超えている。

## 問7 健康について

---

- ・自分を健康だと思う人は75.0%を超える一方、健康ではないと思う人は20.0%を超えている。圏域別の健康ではないと思う人は、第3地区と第4地区が20.0%を超え、男女ともに高齢になるほど高くなっている。
- ・幸福感（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点とした11段階での評価）の平均点は6.85点で、圏域別の『7点以上』は、第1地区が最も高く、年齢別では「65～69歳」が最も高く、男女別では女性が男性より高くなっている。
- ・「⑥うつ傾向」について、「うつ傾向にある」人は40.0%程度で、圏域別では、第2地区と第4地区が40.0%を超え、男女別では女性が男性より高くなっている。
- ・飲酒は25.0%程度、喫煙は5.0%を超える人が、ほぼ毎日飲んでいる（吸っている）。
- ・治療中または後遺症のある病気は、「高血圧」が40.0%を超えて最も高く、次いで「目の病気」が20.0%程度となっている。

## 問8 認知症に関する相談窓口などについて

---

- ・認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいる人は10.0%未満で、圏域別では第1地区が最も高い。
- ・認知症に関する相談窓口の認知度は20.0%を超える程度で、圏域別では第3地区が20.0%未満、年齢別や男女別でも大きな差はみられない。

## 問9 生活支援、見守りについて

---

- ・普段の生活の中で将来手助けが必要だと思うことについて、「特にない」をのぞいて「病院の送迎、付き添い」が30.0%を超え、「買い物」、「調理、洗濯、掃除などの家事支援」、「庭や家まわりの掃除」、「ごみ出し」はいずれも20.0%を超えている。年齢別では、「病院の送迎・付き添い」、「買い物」が高齢になるほど高くなり、「ごみ出し」は80～84歳以降に「病院の送迎、付き添い」は75～79歳以降に増加している。
- ・日用品の買い物に不安と不便を感じている人は10.0%を超える程度で、不安や不便を感じている理由は、「身近なところに買い物をできる場所がない」が50.0%を超え最も高く、圏域別では第4地区が65.0%を超えて最も高い一方、第1地区は30.0%程度と地区間で差が大きくなっている。
- ・生活に必要な買い物をする方法について、「自分で車を運転して買いに行く」が55.0%を超えて最も高く、圏域別では第3地区と第4地区がそれぞれ60.0%を超えている。
- ・同居人に介護が必要になった場合に必要だと思う生活支援について、「在宅で介護ができなくなったとき、施設で一時的に介護を行う緊急一時保護の支援」が55.0%程度で最も高く、「外出が困難な方が通院・買い物などに出かける際の福祉車両による移送支援」と「紙おむつ等の介護用品の支援」がどちらも30.0%を超えている。
- ・自宅に見守り機能がある機器を設置するサービスを利用している人は5.0%未満だが、圏域別では第4地区が5.0%程度と最も高くなっている。また、利用していない理由については、「必要性を感じない」が50.0%程度で、「サービスそのものを知らない」が35.0%となっている。

## 問 10 成年後見制度について

---

- ・成年後見制度の認知度は 35.0%を超えているが、知らない人は 50.0%を超えている。圏域別の知らない人は第 3 地区が 60.0%程度と最も高くなっている。また、認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいる人の中で、成年後見制度を知っている人は 30.0%を超える一方、知らない人は 60.0%程度と全体よりもさらに高くなっている。
- ・成年後見制度を利用したい、既に利用している人は 15.0%程度で、利用したくない人は 20.0%を超えている。また、「わからない」と回答した人は 50.0%程度で、圏域別の「わからない」は、第 3 地区が最も高くなっている。また、認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいる人の中で、成年後見制度を利用したい、既に利用している人は 15.0%を超える程度で全体と大きく変わらない。

## 問 11 相談サービスについて

---

- ・高齢者サポートセンター（地域包括支援センター）の認知度は、「聞いたことがあるが、どこに高齢者サポートセンターがあるかは知らない」と「まったく知らない」と回答した割合は 70.0%程度となっている。また、「まったく知らない」の圏域別での大きな差はみられず、男女別では男性が高齢になるほど低くなる一方、女性は高齢になるほど高くなっている。高齢者サポートセンターの認知度は 20.0%程度にとどまっているが、「聞いたことはあるが、どこに高齢者サポートセンターがあるかは知らない」人の 38.9%を含めると、知名度は 60.0%程度となっている。

## 問 12 人生の最期を迎える場所について

---

- ・人生の最期を迎える場所として、「自宅」を希望する人は 50.0%を超えて最も高く、その理由として「住み慣れた居住の場がいいから」と回答した人が 50.0%程度となっている。また、圏域別では、第 4 地区が最も高くなっている。
- ・「介護施設」、「医療機関」、「有料老人ホーム・グループホーム等」を回答した人は 25.0%程度で、その理由として「自宅で亡くなると家族に迷惑がかかるから」が 40.0%を超えて最も高くなっている。



## IV 参考資料(調査票)

# 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 調査票



調査ご協力をお願い

古河市民の皆さまへ

日頃より福祉事業の推進にあたりまして、多大なるご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

古河市では、令和5年度に「古河市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」の策定を予定しております。この計画策定にあたり、65歳以上の市民の皆さまのご意見を反映するため、この調査を実施するものです。

なお、ご回答いただいた内容は、計画策定のための統計資料として使用し、他に転用はいたしません。また、個人を特定できるような情報の公表は一切いたしませんので、ご安心ください。

ご多用のところお手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。また、本調査票のご返送をもちまして、調査の趣旨にご同意いただいたものとさせていただきます。

令和4年12月

古河市長 針谷 力  
(公印省略)

### はじめにお読みください

- ご回答にあたっては、あて名のご本人がお答えいただけますようお願いいたします。  
ただし、ご本人が病気などで答えることが難しいときは、ご家族の方などがご本人の立場でお答えくださっても結構です。
- お答えは特に説明のない限り、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。  
また、数字を記入する場合は、右詰め(例 kg)でご記入ください。
- 質問によっては、回答いただく方が限られている場合がありますので、質問番号の案内にご注意ください。
- ご記入がすみましたら、誠に恐縮ですが同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、

**令和5年1月5日(木)までに**、ポストへ投函してください。

### この調査に関するご質問・お問い合わせ先

古河市役所 福祉部 高齢介護課

〒306-0221 古河市駒羽根1501番地「健康の駅」

電話:0280-92-4921(直通)

● ● ● 本調査に係る個人情報の取扱いについて ● ● ●

本調査に係る個人情報の取扱いについて、以下の事項を必ずご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものとさせていただきますのでご了承ください。

【個人情報の保護および使用目的】

- 本調査で得られた情報を使用するにあたり、市の管理する被保険者台帳を利用して集計・分析することがありますのでご了承ください。情報は、本市における高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定や高齢者等支援施策の検討、介護予防・生活支援の検討の際の基礎資料とすることを目的に使用させていただきます。本人の許可なく、目的以外の使用はいたしません。また、当該情報については、本市および当市指定の委託先に適切に管理させていただきます。
- 本調査で得られた情報を使用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

参考図 市内中学校区



【この調査で使う用語の意味】

**介護**: 介護保険サービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態

**介助**: ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

質問に該当する答えの番号に○をつけ、数字記入欄は数字を記入してください。

## 問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 調査票を記入されたのはどなたですか。(1つに○)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. あて名のご本人が記入                       |
| 2. ご家族が記入 → あて名のご本人からみた続柄 ( _____ ) |
| 3. その他                              |

(2) 調査票への記入日をお書きください。(右詰めで数字を記入)

【記入日】 令和  年  月  日

(3) あなたの性別を教えてください。(1つに○)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

(4) あなたの年齢を教えてください。(1つに○)

- |            |            |            |            |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 65～69 歳 | 2. 70～74 歳 | 3. 75～79 歳 | 4. 80～84 歳 |
| 5. 85～89 歳 | 6. 90～94 歳 | 7. 95～99 歳 | 8. 100 歳以上 |

(5) あなたは介護認定を受けていますか。(1つに○)

- |         |        |
|---------|--------|
| 1. はい   | 2. いいえ |
| ⇒(5)-①へ | ⇒(6)へ  |

### ▼介護認定を受けている方のみ

(5)-① あなたの介護度はどれですか。(1つに○)

- |          |         |         |            |
|----------|---------|---------|------------|
| 1. 要支援1  | 2. 要支援2 | 3. 要介護1 | 4. 要介護2    |
| 5. 要介護3  | 6. 要介護4 | 7. 要介護5 | 8. 総合事業対象者 |
| 9. わからない |         |         |            |

(6) 家族構成を教えてください。(1つに○)

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 1人暮らし             | 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯         |
| 5. その他               |                      |

(7) あなたのお住まいを、中学校区で教えてください。(1つに○)

- |             |             |            |
|-------------|-------------|------------|
| 1. 古河第一中学校区 | 2. 古河第二中学校区 | 3. 古河第三中学校 |
| 4. 総和中学校区   | 5. 総和北中学校区  | 6. 総和南中学校区 |
| 7. 三和中学校区   | 8. 三和北中学校区  | 9. 三和東中学校区 |

2ページの「参考図 市内中学校区」を参考にしてください。

(8) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

- |   |           |
|---|-----------|
| 1. 介護・介助は必要ない                                       | ⇒(9)へ     |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない                         | ⇒(8)-①へ   |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている<br>(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) | ⇒(8)-①、②へ |

▼(8)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ

(8)-① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも)

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) | 2. 心臓病             |
| 3. がん(悪性新生物)     | 4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等) |
| 5. 関節の病気(リウマチ等)  | 6. 認知症(アルツハイマー病等)  |
| 7. パーキンソン病       | 8. 糖尿病             |
| 9. 腎疾患(透析)       | 10. 視覚・聴覚障害        |
| 11. 骨折・転倒        | 12. 脊椎損傷           |
| 13. 高齢による衰弱      | 14. その他( )         |
| 15. 不明           |                    |

▼(8)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ

(8)-② 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(いくつでも)

- |                |           |          |
|----------------|-----------|----------|
| 1. 配偶者(夫・妻)    | 2. 息子     | 3. 娘     |
| 4. 子の配偶者       | 5. 孫      | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他( ) |          |

(9) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

- |             |             |        |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい    | 2. やや苦しい    | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある |        |



(10) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つに○)

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. 持家（一戸建て）     | 2. 持家（集合住宅）     |
| 3. 公営賃貸住宅       | 4. 民間賃貸住宅（一戸建て） |
| 5. 民間賃貸住宅（集合住宅） | 6. 借家           |
| 7. その他（_____）   |                 |

## 問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)

- |              |               |         |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(2) いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)

- |              |               |         |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(3) 15分位続けて歩いていますか。(1つに○)

- |              |               |         |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)

- |          |         |       |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である |
| 3. あまり不安でない | 4. 不安でない   |

(6) 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)

- |              |          |
|--------------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 2. 週1回   |
| 3. 週2~4回     | 4. 週5回以上 |

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. とても減っている  | 2. 減っている  |
| 3. あまり減っていない | 4. 減っていない |

(8) 外出を控えていますか。(1つに○)

1. はい	2. いいえ
⇒(8)-①へ	⇒(9)へ

▼(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ

(8)-① 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

1. 病気	2. 身体の障がい(脳卒中の後遺症など)
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配(頻尿・失禁など)
5. 耳の障がい(聞こえの問題など)	6. 目の障がい
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない	
10. 新型コロナウイルス感染症などにかかることが不安	
11. その他(_____)	

(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク
4. 自動車(自分で運転)	5. 自動車(人に乗せてもらう)	6. 電車
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす
10. 電動車いす(カート)	11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー
13. ぐるりん号、愛・あい号	14. その他(_____)	

## 問8 食べることについて

(1) 身長・体重を教えてください。(右詰めで数字を記入、小数点以下は不要)

身長 

--	--	--

 cm      体重 

--	--	--

 kg

(2) 1日3食きちんと食べていますか。(1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(4) お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) 口の渇きが気になりますか。(1つに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(6) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(1つに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(7) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(1つに○)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)

- |                                     |                                   |
|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用<br>⇒(7)-①へ | 2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし<br>⇒(8)へ |
| 3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用<br>⇒(7)-①へ | 4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし<br>⇒(8)へ |

▼(7)で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」、「3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ

(7)-① 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(8) 噛み合わせはいいですか。(1つに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(9) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(10) どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つに○)

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある    | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない  |            |





(12) 本や雑誌を読んでいますか。(1つに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(13) 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(14) 友人の家を訪ねていますか。(1つに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(15) 家族や友人の相談にのっていますか。(1つに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか。(1つに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(17) 趣味はありますか。(1つに○、ある場合は趣味を記入)

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 1. 趣味あり ( ) | 2. 思いつかない |
|-------------|-----------|

(18) 生きがいはありますか。(1つに○)

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 生きがいあり<br>⇒(18)-①へ | 2. 思いつかない<br>⇒問5(1)へ |
|-----------------------|----------------------|

▼(18)で「1. 生きがいあり」の方のみ

(18)-① あなたが生きがいを感じていることはどんなことですか。(いくつでも)

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1. 働くこと        | 2. スポーツ・レクリエーション |
| 3. 趣味や娯楽       | 4. ボランティア活動      |
| 5. 老人クラブ活動     | 6. 自治会等活動        |
| 7. 異性との交流      | 8. 家族との団らん       |
| 9. 子どもや孫とのつきあい | 10. 友達や仲間とのつきあい  |
| 11. 隣近所とのつきあい  | 12. 旅行           |
| 13. その他 ( )    |                  |

## 問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(①～⑧それぞれで、あてはまるもの1つに○)

### ① ボランティアのグループ

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

### ② スポーツ関係のグループやクラブ

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

### ③ 趣味関係のグループ

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

### ④ 学習・教養サークル

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

### ⑤ (いきいきサロンなど)介護予防のための通いの場

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

### ⑥ 老人クラブ

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

### ⑦ 町内会・自治会

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

### ⑧ 収入のある仕事

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい  |
| 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |

- (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい  |
| 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |

## 問⑥ たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についてうかがいます

- (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(いくつでも)

- |                  |               |           |
|------------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者           | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫   | 5. 近隣         | 6. 友人     |
| 7. その他 ( _____ ) | 8. そのような人はいない |           |

- (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。(いくつでも)

- |                  |               |           |
|------------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者           | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫   | 5. 近隣         | 6. 友人     |
| 7. その他 ( _____ ) | 8. そのような人はいない |           |

- (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(いくつでも)

- |                  |               |           |
|------------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者           | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫   | 5. 近隣         | 6. 友人     |
| 7. その他 ( _____ ) | 8. そのような人はいない |           |

- (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人。(いくつでも)

- |                  |               |           |
|------------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者           | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫   | 5. 近隣         | 6. 友人     |
| 7. その他 ( _____ ) | 8. そのような人はいない |           |

- (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも)

- |                                |                 |
|--------------------------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ               | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー                     | 4. 医師・歯科医師・看護師  |
| 5. 高齢者サポートセンター(地域包括支援センター)・市役所 |                 |
| 6. その他 ( _____ )               | 7. そのような人はいない   |

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つに○)

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある    | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない  |            |

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つに○)

- |             |          |         |
|-------------|----------|---------|
| 1. 0人 (いない) | 2. 1~2人  | 3. 3~5人 |
| 4. 6~9人     | 5. 10人以上 |         |

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

- |               |               |                   |
|---------------|---------------|-------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人  | 2. 幼なじみ       | 3. 学生時代の友人        |
| 4. 仕事での同僚・元同僚 | 5. 趣味や関心が同じ友人 | 6. ボランティア等の活動での友人 |
| 7. その他 ( )    | 8. いない        |                   |

## 問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

- |          |         |            |         |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数1つに○)



(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

(1つに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) お酒は飲みますか。(1つに○)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日飲む   | 2. 時々飲む     |
| 3. ほとんど飲まない | 4. もともと飲まない |

(6) タバコは吸っていますか。(1つに○)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている    |
| 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない |

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

- |   |   |
|---|---|
| 1. ない   | 2. 高血圧 <small>こうけつあつ</small>  |
| 3. 脳卒中 <small>のうそちゅえう</small> (脳出血 <small>のうしゅつけつ</small> ・脳梗塞 <small>のうこうそく</small> 等) | 4. 心臓病 <small>しんぞうびょう</small>   |
| 5. 糖尿病 <small>とうにょうびょう</small>  | 6. 高脂血症 <small>こうしけっしやう</small> (脂質異常 <small>ししつじやう</small> )   |
| 7. 呼吸器の病気 <small>こきき</small> (肺炎 <small>びやうき</small> や気管支炎 <small>はいえん</small> 等)       | 8. 胃腸 <small>いぢやう</small> ・肝臓 <small>かんぞう</small> ・胆のう <small>たん</small> の病気 <small>びやうき</small>            |
| 9. 腎臓 <small>じんぞう</small> ・前立腺 <small>ぜんりつせん</small> の病気 <small>びやうき</small>            | 10. 筋骨格 <small>きんこつかく</small> の病気 <small>びやうき</small> (骨粗しょう症 <small>こつそ</small> 、関節症 <small>しやう</small> 等) |
| 11. 外傷 <small>がいしやう</small> (転倒 <small>てんたう</small> ・骨折 <small>こっせつ</small> 等)          | 12. がん <small>あくせいしんせいぶつ</small> (悪性新生物)  |
| 13. 血液 <small>けつえき</small> ・免疫 <small>めんえき</small> の病気 <small>びやうき</small>              | 14. うつ病 <small>うつびやう</small>  |
| 15. 認知症 <small>にんちしやう</small> (アルツハイマー病 <small>あるとはいまーびやう</small> 等)                    | 16. パーキンソン病 <small>ぱーきんそんびやう</small>  |
| 17. 目の病気 <small>め</small>   | 18. 耳の病気 <small>みみ</small>  |
| 19. その他 ( _____ )   |   |

## 問8 認知症に関する相談窓口などについて

(1) 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

## 問9 生活支援、見守りについて

(1) あなたは、普段の生活の中で将来手助けが必要だと思うこと(または手助けをしてほしいこと)は何かありますか。(いくつでも)

- |                           |                   |
|---------------------------|-------------------|
| 1. ごみ出し                   | 2. 買い物            |
| 3. 調理、洗濯、掃除などの家事支援        | 4. 庭や家まわりの掃除      |
| 5. 家事以外の支援 (電球交換、家具の移動など) | 6. 病院の送迎、付き添い     |
| 7. 病院以外の送迎、付き添い           | 8. 声かけ・見守り        |
| 9. 金銭管理・書類の確認             | 10. その他 ( _____ ) |
| 11. 特になし                  |                   |



(2) あなたは、日用品の買い物に不安や不便を感じていますか。(1つに○)

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1. 感じている<br>⇒(2)-①へ | 2. 感じていない<br>⇒(3)へ |
|---------------------|--------------------|

▼(2)で「1. 感じている」の方のみ

(2)-① 日用品の買い物のどのようなことに不安や不便を感じていますか。(いくつでも)

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 身近なところに買い物をできる場所がない</li><li>2. 買い物をするところまで行く移動手段がない</li><li>3. 買ったものを家まで運ぶことができない</li><li>4. 買い物を手伝ってくれる人がいない</li><li>5. その他 ( _____ )</li></ol> |
|---|

(3) あなたは生活に必要な買い物をする際、どのような方法で行っていますか。  
(いくつでも)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 自分で徒歩で買いに行く</li><li>2. 自分で自転車やバイクに乗って買いに行く</li><li>3. 自分で車を運転して買いに行く</li><li>4. 自分でバス、タクシー、電車を利用して買いに行く</li><li>5. 家族や友人などに買ってきてもらう</li><li>6. インターネットで注文して配達してもらう</li><li>7. その他 ( _____ )</li></ol> |
|--|

(4) あなたの同居家族が寝たきりの状態で、介護が必要になった(または既に介護を必要としている)場合、生活支援として何が必要ですか。(いくつでも)

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 配食サービス(昼食)の支援(有料)</li><li>2. 配食サービス(夕食)の支援(有料)</li><li>3. 在宅で介護ができなくなったとき、施設で一時的に介護を行う緊急一時保護の支援</li><li>4. 寝たきりの方のための訪問理容・美容の支援</li><li>5. 寝たきりの方のための訪問歯科診療のできる歯科医師の紹介</li><li>6. 紙おむつ等の介護用品の支給</li><li>7. 外出が困難な方が通院・買い物などに出かける際の福祉車両による移送支援</li><li>8. その他 ( _____ )</li></ol> |
|---|

- (5) 安否確認のために、自宅に見守り機能がある機器を設置するサービスを利用していますか。(例: 感知センサーなどにより異変を検知し、親族等へ連絡するサービスなど)。

(1つに○)

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 利用している<br>⇒問 10(1)へ | 2. 利用していない<br>⇒(5)-①へ |
|------------------------|-----------------------|

▼(5)で「2. 利用していない」の方のみ

- (5)-① 利用していない理由は何ですか。(いくつでも)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. サービスそのものを知らない | 2. サービスの種類がわからない |
| 3. 手続きが面倒        | 4. 必要性を感じない      |
| 5. その他 ( _____ ) |                  |

## 問 10 成年後見制度について

- (1) 成年後見制度(※)を知っていますか。(1つに○)

- |                     |                  |
|---------------------|------------------|
| 1. 内容をよく知っている       | 2. だいたいの内容は知っている |
| 3. 名前は知っているが内容は知らない | 4. まったく知らない      |

※認知症、知的障がい、精神障がいなどによって物事を判断する能力が不十分な方を、代理人(成年後見人等)が、本人に代わって財産や権利を守り、法的に生活を支援する制度です。

- (2) あなたやご家族が認知症などによって物事を判断する能力が十分ではなくなった場合に、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(1つに○)

- |                    |            |
|--------------------|------------|
| 1. 利用したい(既に利用している) | 2. 利用したくない |
| 3. わからない           |            |

## 問 11 相談サービスについて

- (1) 高齢者のさまざまな相談を受け付けている高齢者サポートセンター(地域包括支援センター)を知っていますか。(1つに○)

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 実際に利用したことがあり、知っている                 |
| 2. 利用したことはないが、どこに高齢者サポートセンターがあるか知っている |
| 3. 聞いたことはあるが、どこに高齢者サポートセンターがあるかは知らない  |
| 4. まったく知らない                           |

## 問12 人生の最期を迎える場所について

- (1) あなたが将来、人生の最期を迎える場所として、希望する場所を教えてください。  
(1つに○)

1. 自宅	→	「1. 」に○をつけた方 ⇒(1)-①へ
2. 介護施設	3. 医療機関	} 「2. 」 「3. 」 「4. 」に○をつけた方 ⇒(1)-②へ
4. 有料老人ホーム・グループホーム等		
5. その他 ( )		} 「5. 」 「6. 」に○をつけた方 ⇒質問は以上です
6. わからない		

### ▼(1)において「1. 自宅」の方のみ

- (1)-① 選んだ理由は、何ですか。(1つに○)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 家族に看取られたいから    | 2. 住み慣れた居住の場がいいから |
| 3. 過剰な医療を受けたくないから | 4. その他 ( )        |

### ▼(1)において「2. 介護施設」「3. 医療機関」「4. 有料老人ホーム・グループホーム等」の方のみ

- (1)-② 選んだ理由は、何ですか。(1つに○)

- |                        |             |
|------------------------|-------------|
| 1. 十分な医療・介護を受けたいから     | 2. 家族がいないから |
| 3. 自宅で亡くなると家族に迷惑がかかるから |             |
| 4. その他 ( )             |             |

以上で質問は終了です。ご協力、ありがとうございました。



記入もれがないか、今一度お確かめください。  
記入いただいた調査票を切り離すことなく、送付されたもの全てを3つ折り  
にして、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、  
令和5年1月5日(木)までにポストへ投函してください。



介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 報告書

古河市 福祉部 高齢介護課

〒306-0221 茨城県古河市駒羽根 1501 番地「健康の駅」

Tel:0280-92-4921(高齢介護課)